HiME-Mania

姫マニア vol.36

画・尾山泰永



みはねに全部出して♡
カマキリ

おねだり娘
木上蘭子

女子校に男一人!?
さかぐちしずか

ヴァージンあげちゃう
栗本重治

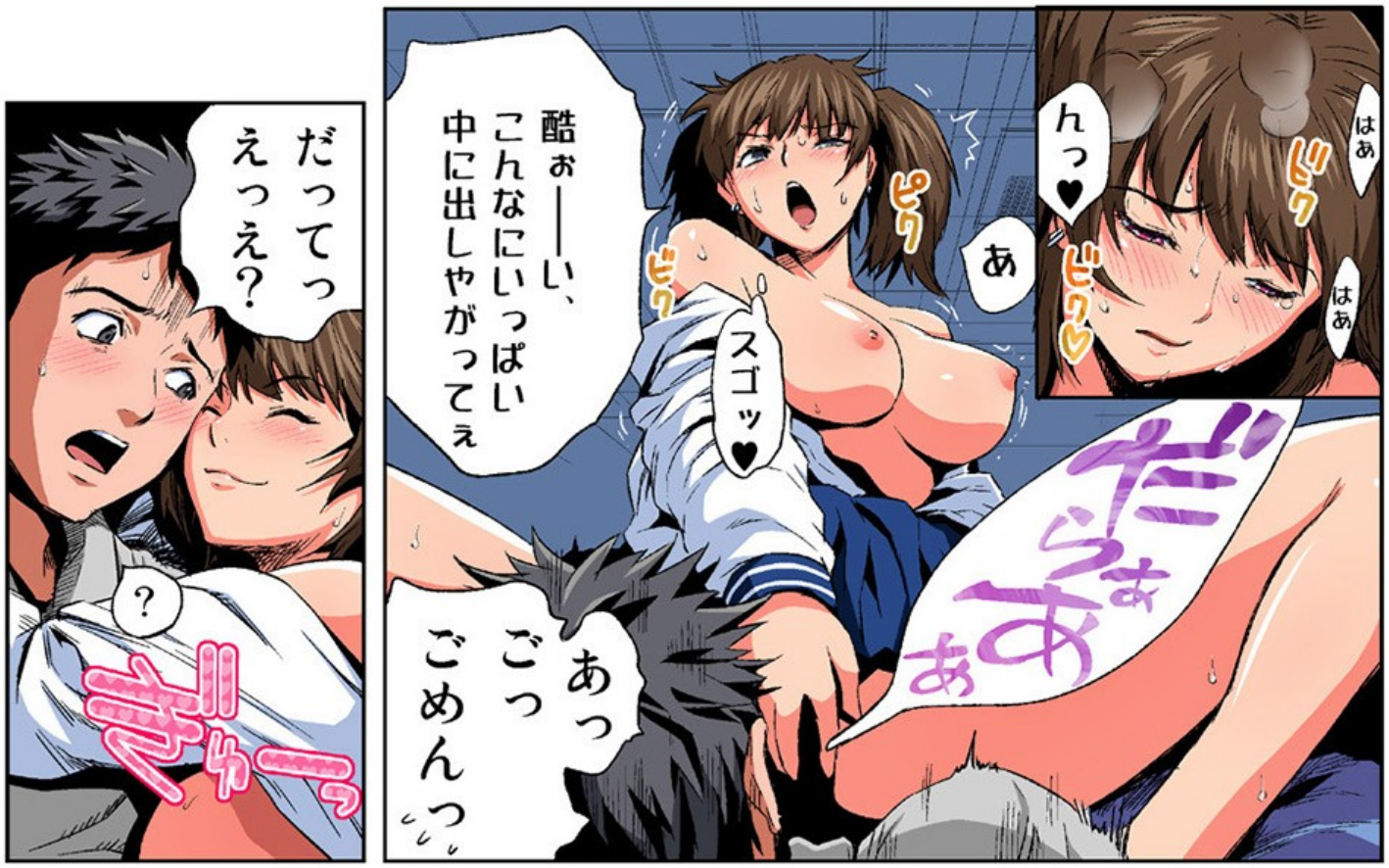
イケない初体験
尾山泰永

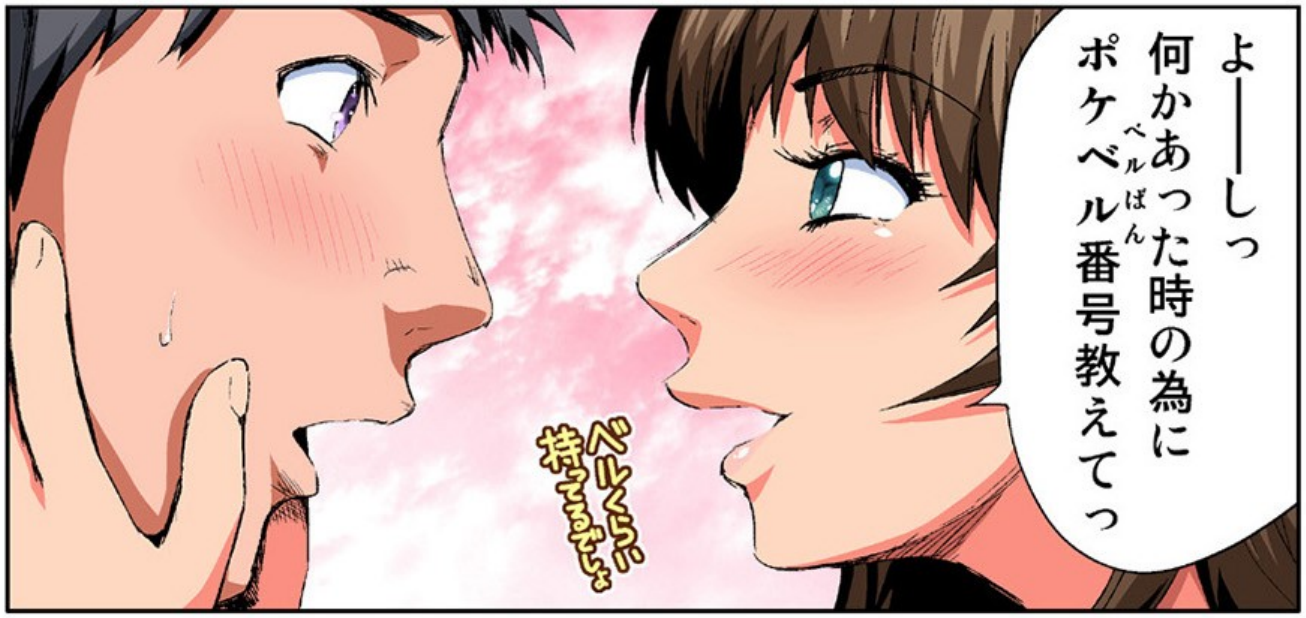
みはねに全部出して♡



カマキリ

ACT71


はぁ
ビク
はぁ
んっ♥
ビクン
あ
ピク
ビク
スゴッ♥
酷ぉ——い、
こんなにいっぱい
中に出しやがってぇ
だらぁあ
あっ
ごっ
ごめんっ
だってっ
えっえ？
？
きゃっ


よ——しっ
何かあった時の為に
ポケベル番号教えてっ
ベルくらい
持ってるでしょ


う…
うん
ゴソ
ゴソ
あっ
別に1回くらい
中に出したって
大丈夫だよ
は
は
は
そ、
そうなの？
ほらっ一緒に
お風呂入ろっ
えっうっ
うん


あっそうだ！
ははははっ
忘れてたっ
ジョボボボボ

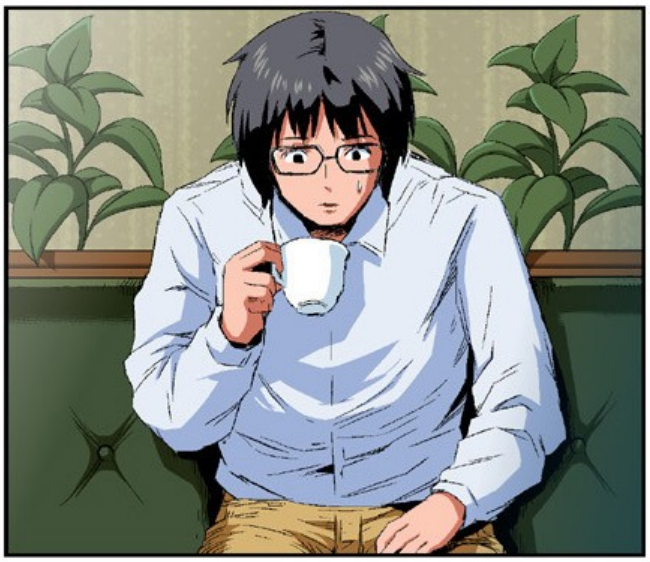

名前なんて言うの？
私は
田山涼花
(たやまりょうか)
あ、僕は
福成(ふくなり)・・・善晴(よしはる)
ヨッシーね
ビシッビシ
あっ
やめてっ


数十日後
PIRIRIRI

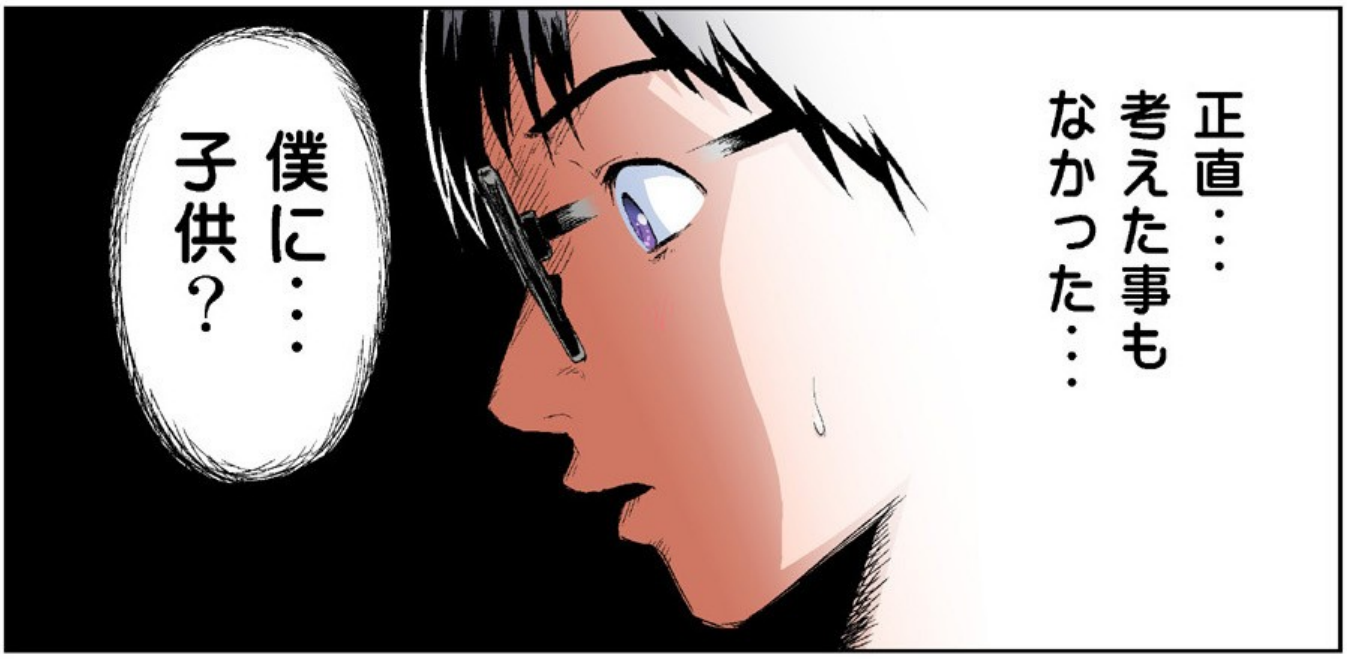

あのった 田山さん？
福成ですけど
何か？
……
ヨッシ――？
…ごめん。
やっぱ……
出来ちゃったみたい。
ポツ
ポツ
…えっ？


ザァァァ
ACT71
善晴の決断
――出来たって…








正直…
考えた事も
なかった…
僕に…
子供？




チラッ


この…涼花さんとの…


でも…
逃げんなよ！
普晴う!!
キャッ
キャッ
やめっ
キャッ
ケッコン！
ケッコン！
ベタ
ベタ
いーコねえ
福成君♡
おい
福成ぃ
相手して
やるから
こっち
来な！
はあ
はあ
上手い
じゃんかっ
うー
うぷっ


うっ
うっ
がはっ
がはっ

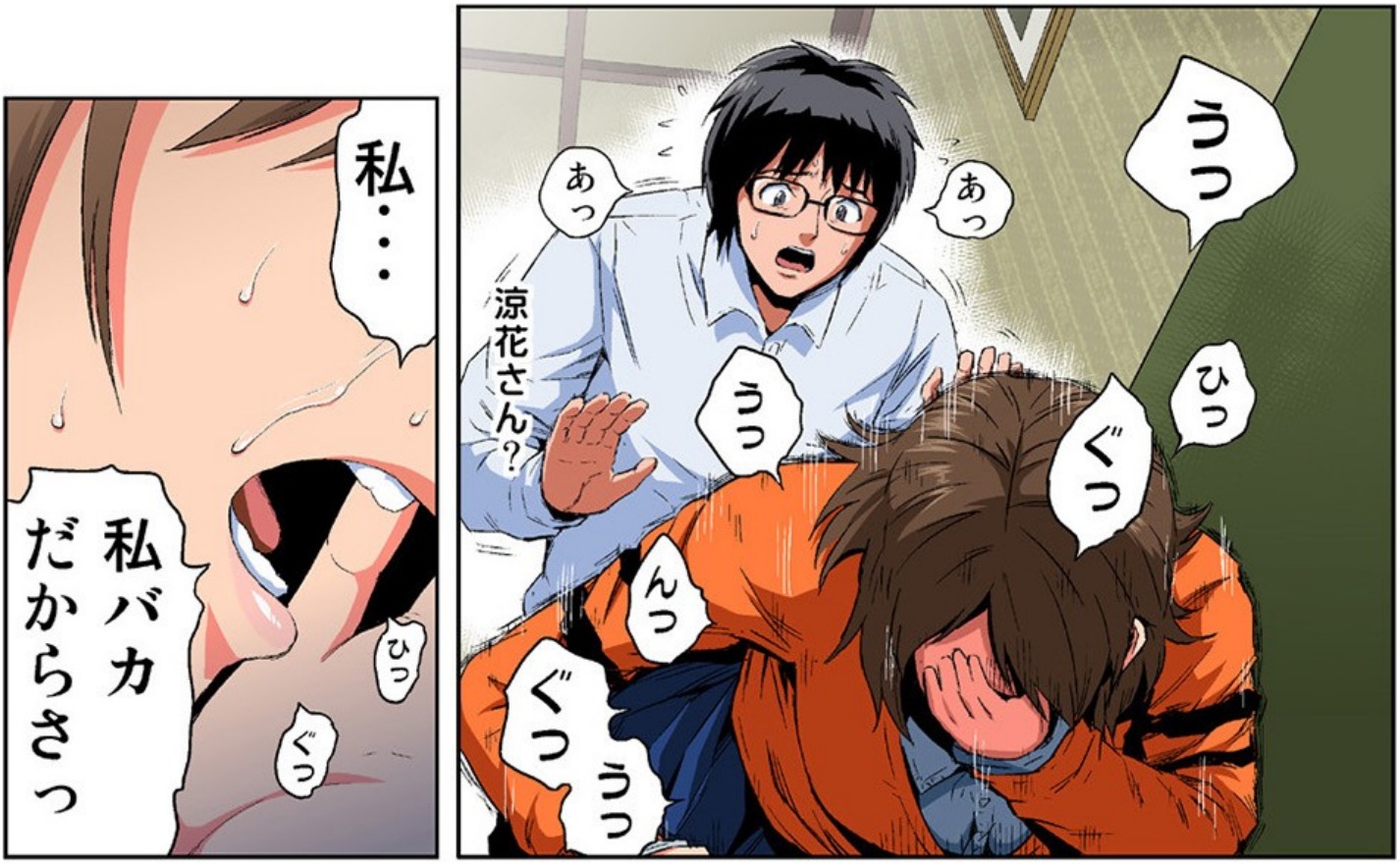

女の子は
はあ
はあ


怖い


リアルな
女の子は
怖い!!


チラ
ギリッッ
!!!
いいよっ
やっぱ迷惑
だよね
たいして
お互いの事
知らないのに
こんな事に
なっちゃってさ・・
・・・
わかってるよ
産めないのは
堕ろ・・・

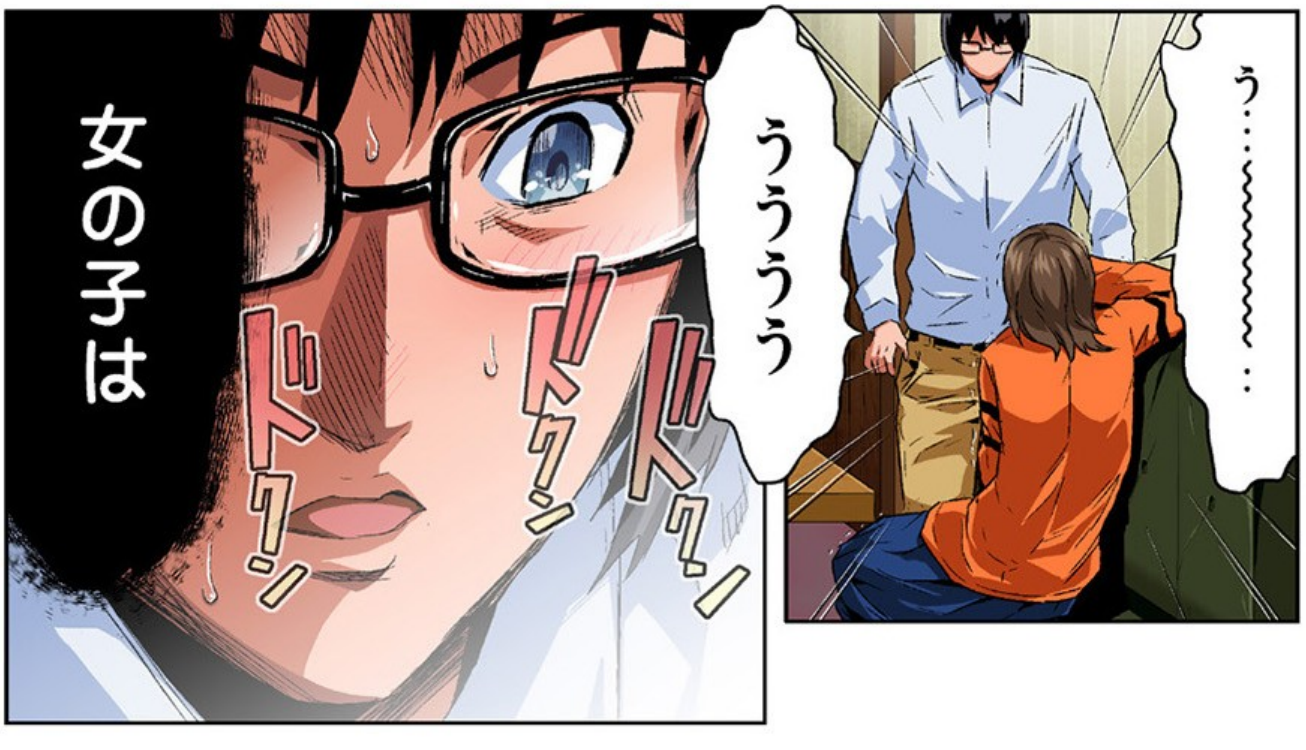

堕・・・
りーくっ
えっ!?
や・・
お・・・
・・・・・・・・・・・・ぐ・・・
ぽろ
ぽろ
うっ
あっ
大丈夫!?


うっ
あっ
あっ
涼花さん？
ひっ
ぐっ
うっ
んっ
ぐっ
うっ
私・・・
私バカ
だからさっ
ひっ
ぐっ


何も考えて
なくてっ
ふっ
うぐ
ズ
ズ
う
万が一
子供が出来ても
堕ろせばいいやって
今回の事も


ズ
う
簡単に
考えて・・・
ズ
ぐ
でも・・・
いざ
そうなったら
・・・・
ふっ
う
う
そんな事っ

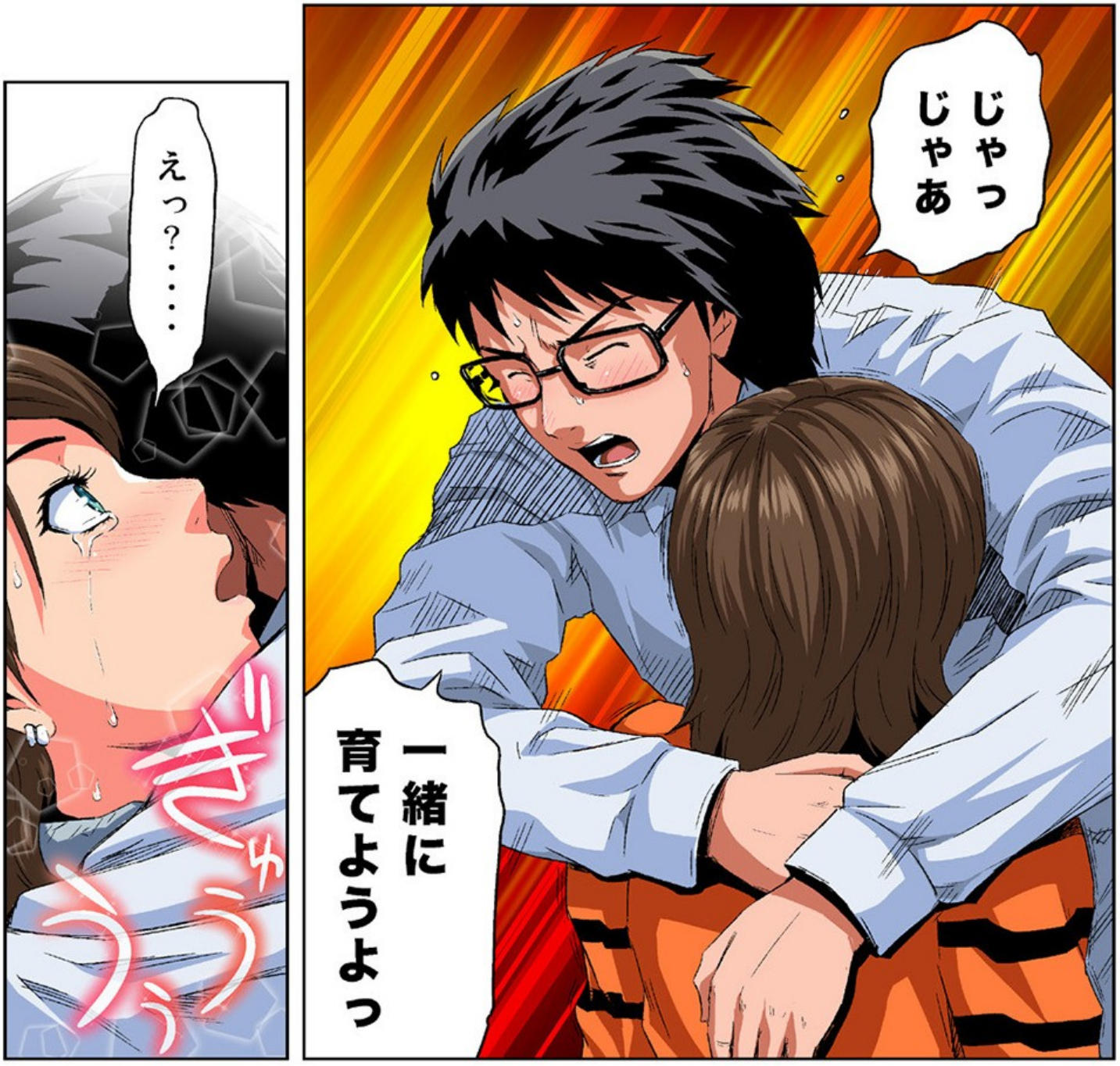

そんな事
出来ないよっ


う……
ううううう
女の子は
ドクン
ドクン
ドクン


怖い…
ドキン
ドキン
女の子は
…怖い…
ドキン
ドキン
けど


どうしよう…っ




じゃっ
じゃあ
一緒に
育てようよっ
えっ？・・・・
ぎゅう


うん・・・





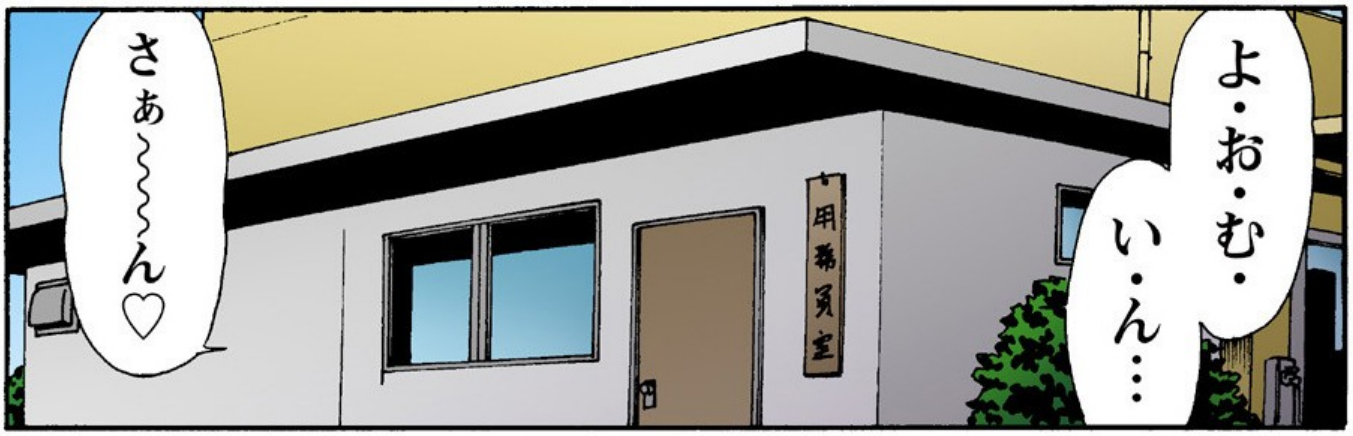


女子校に男一人!?



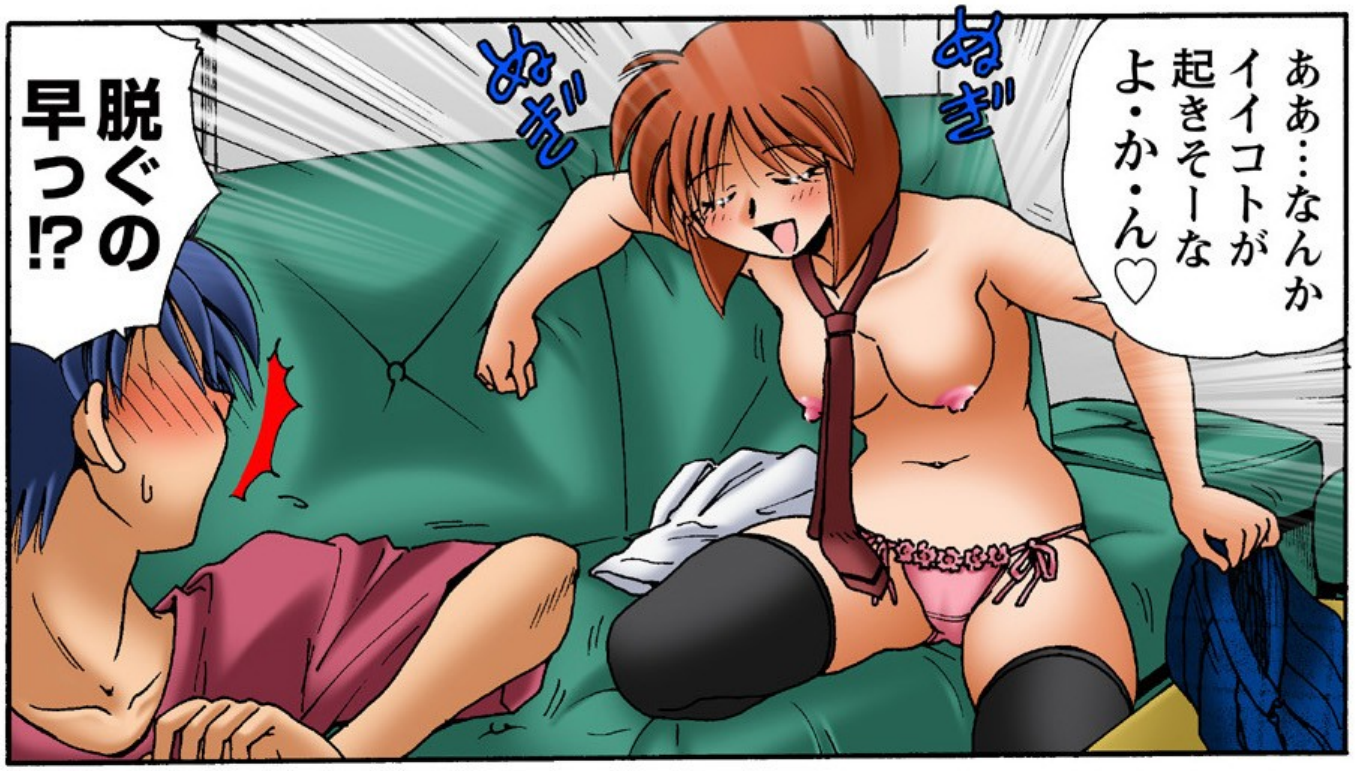
第71話

さかぐちしずか

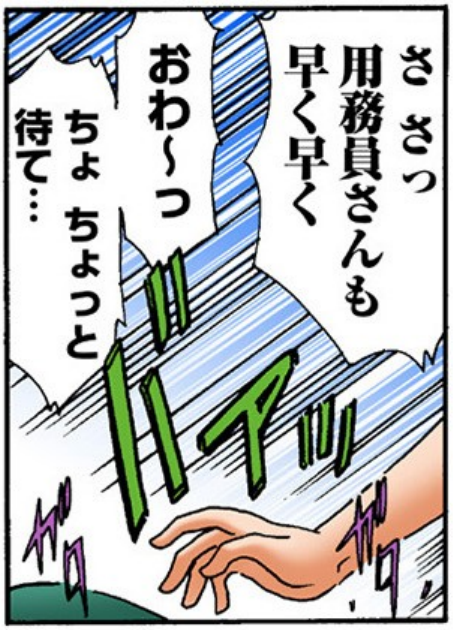

用務員室
よ・お・む・い・ん…
さぁ～～～ん♡


やっと二人きりになれたね♡
……今回 初じゃね？
皆出かけててここにいるのが俺達二人だけだなんて…


これからこーいった時間をダークスポットという事にしよう…
また また～♡
「お熱い二人のホットスポット」が本音のクセに～♡


ああ…なんかイイコトが起きそーなよ・か・ん♡
ぬぎ
ぬぎ
脱ぐの早っ!?

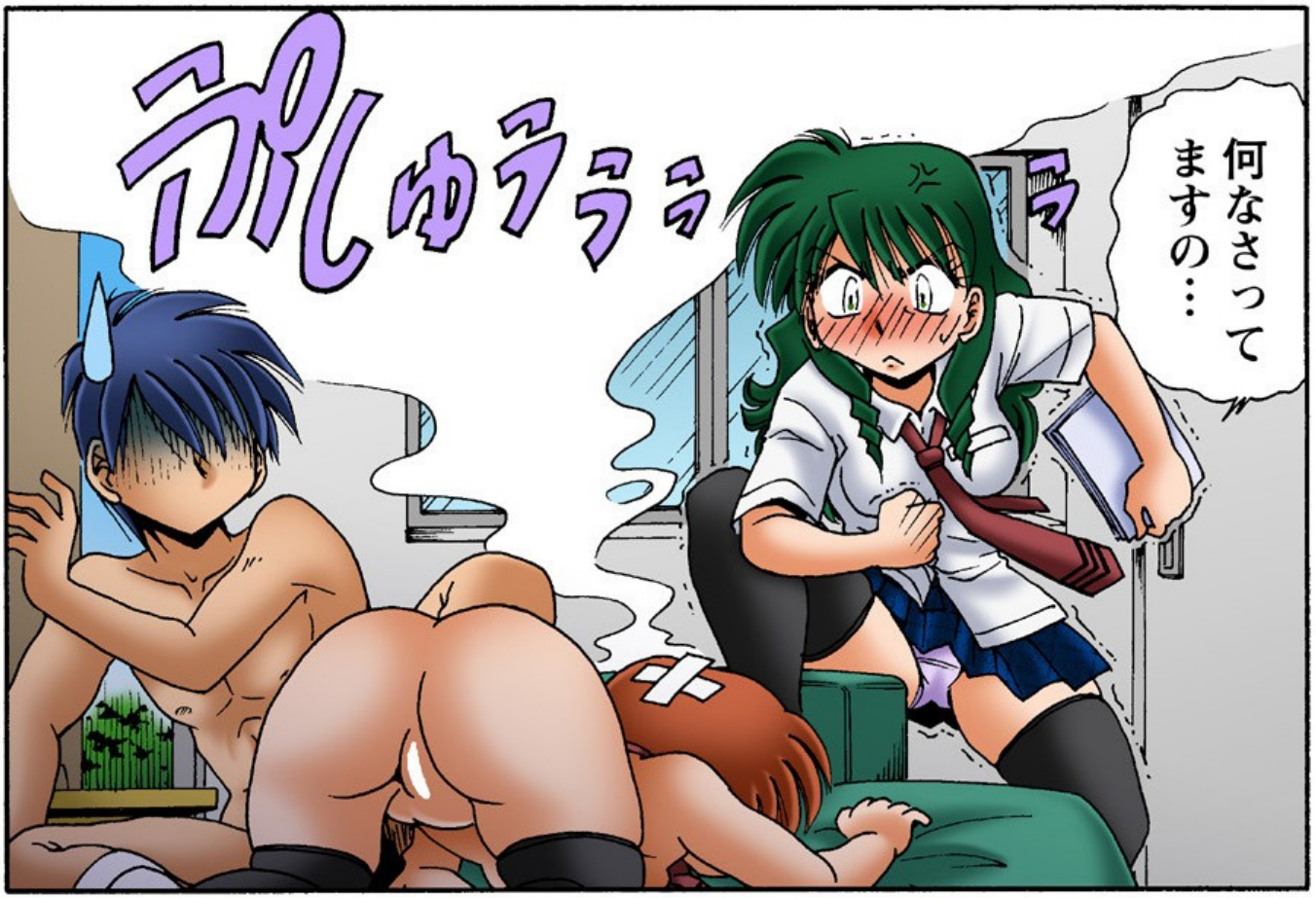

まさか
この学校
授業で
教えてんのか？
早く
脱ぐの？
やだ
なぁ
愛のなせる
技じゃない♡


さ さっ
用務員さんも
早く早く
おわ～っ
ちょ ちょっと
待て…


ラスト一枚っ!!
おおお
いつの間に？
むぽぉ


愛のなせる
技も極めれば
ここまでに…
じりっ…
ひいいっ…
イカンっ
敵ながら
隙がないっ
……

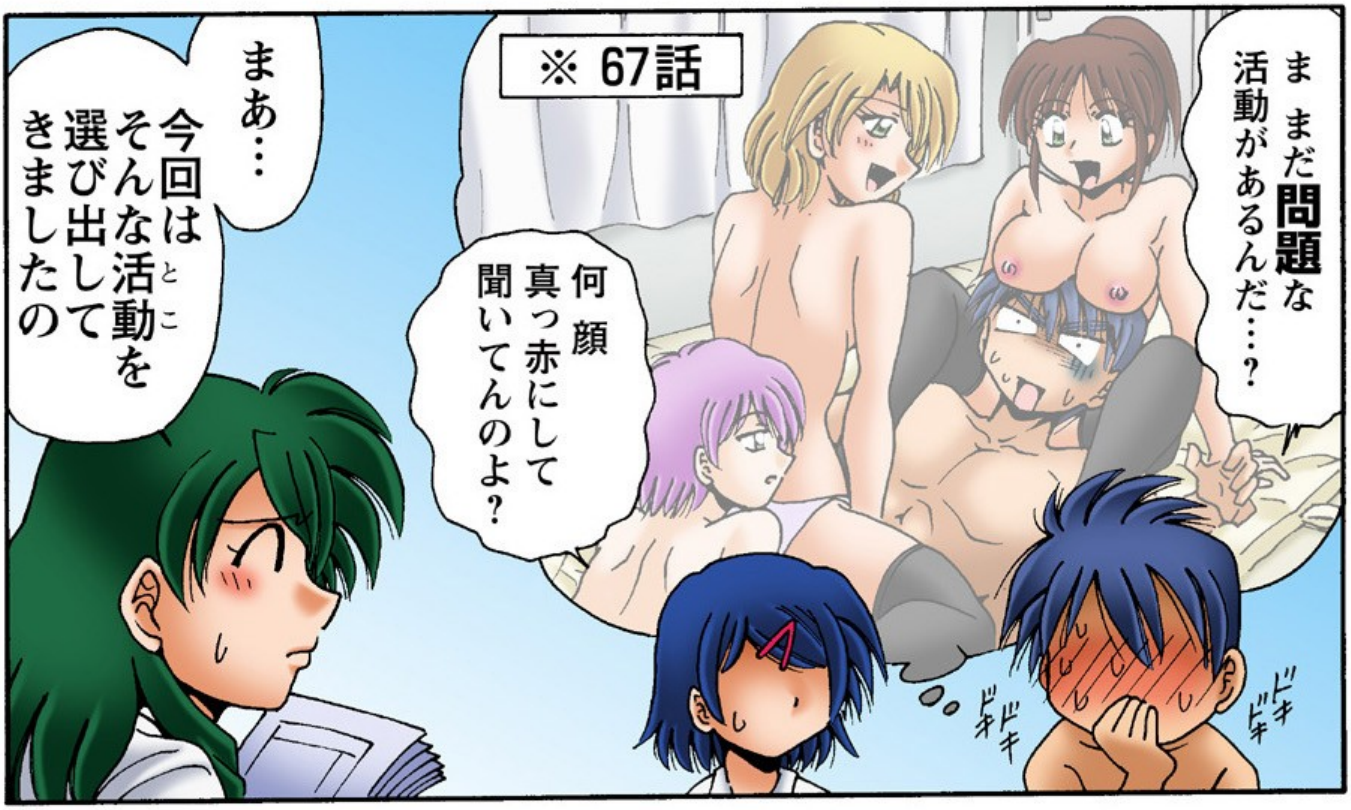

誰か来るまでに早く済ませないとね
協力してあげる♡
!?
おっ？
お!?
どどどどこでこの娘こんなテクを…!?
ああ…スゴイ♡
これがウワサの用務員さんの♡
ええっ!?
俺のココが一体世間でどんな噂を…!?
さぁ用務員さん
以前の新しい体位の実験ってヤツ…
私の体で思う存分…
えっ？
あっ…
第12話 参照
——まだその件引きずってたか～…!?

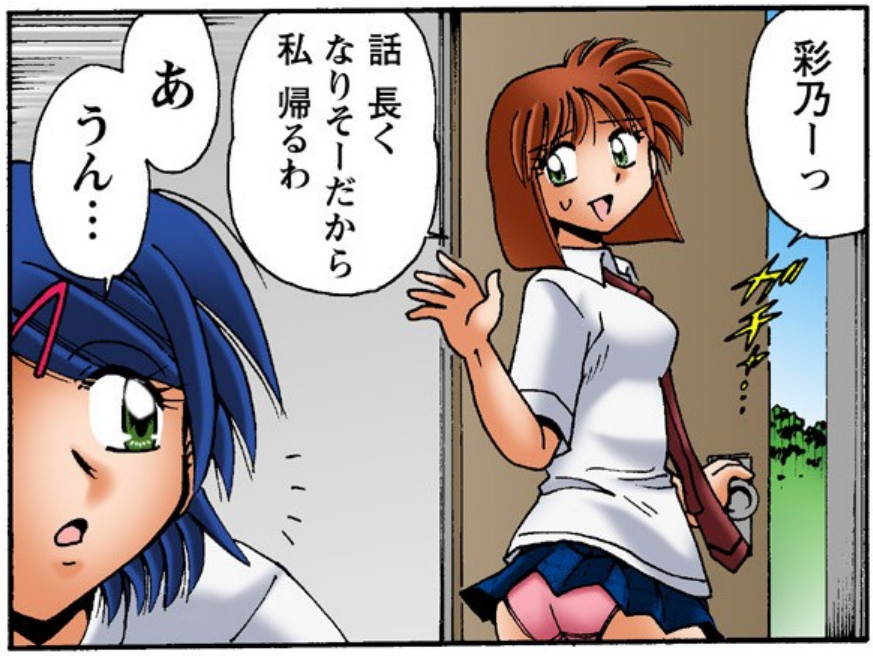

何なさってますの…


あ 彩乃(あやの)っ お前も一緒に？
すぐそこで会長に会ってね…
ホント アナタは少し目を離すとろくなコトを…
ああ…
せっかくのチャンスが…

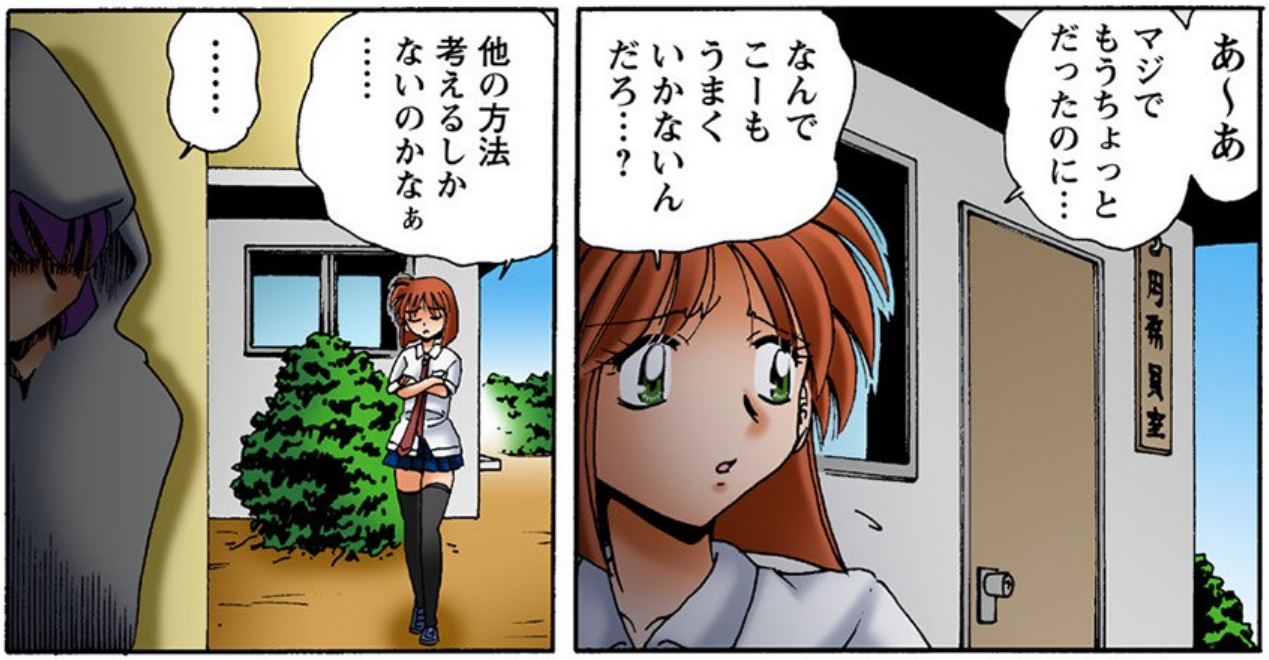

よかったっ…
場を止めたのお前で本当によかったっ…
あ
あら♡
ちょっと…
チュッ

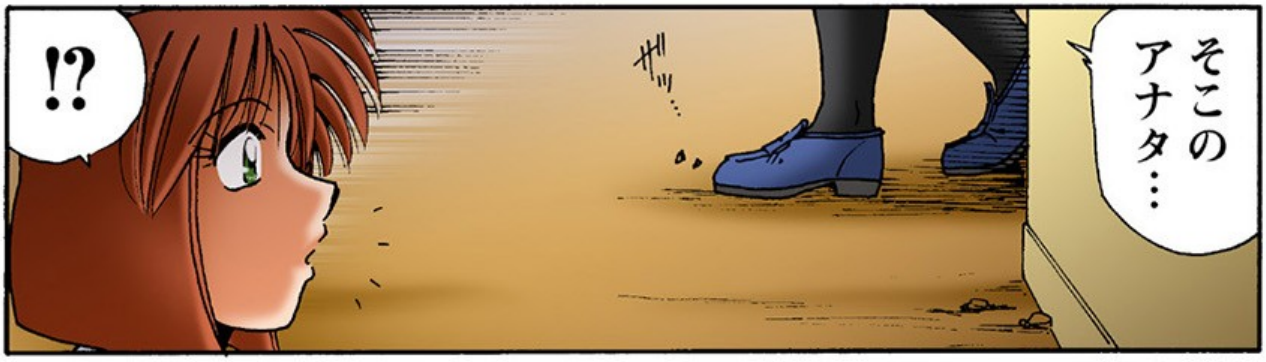

――で 会長
今日はなんの
用事で？
あ
そう
そう
例の部への
昇格届に
まつわる件
なんですケド…
!?


※ 67話
ま まだ問題な
活動があるんだ…？
何 顔
真っ赤にして
聞いてんのよ？
まあ…
今回は
そんな活動を
選び出して
きましたの
ドキドキ
ドキドキ


彩乃ーっ
ガチャ…
話 長く
なりそーだから
私 帰るわ
あ
うん…


用務員室
ピタン…
……


あ～あ
マジで
もうちょっと
だったのに…
なんで
こーも
うまく
いかないん
だろ…？
他の方法
考えるしか
ないのかなぁ
……
……

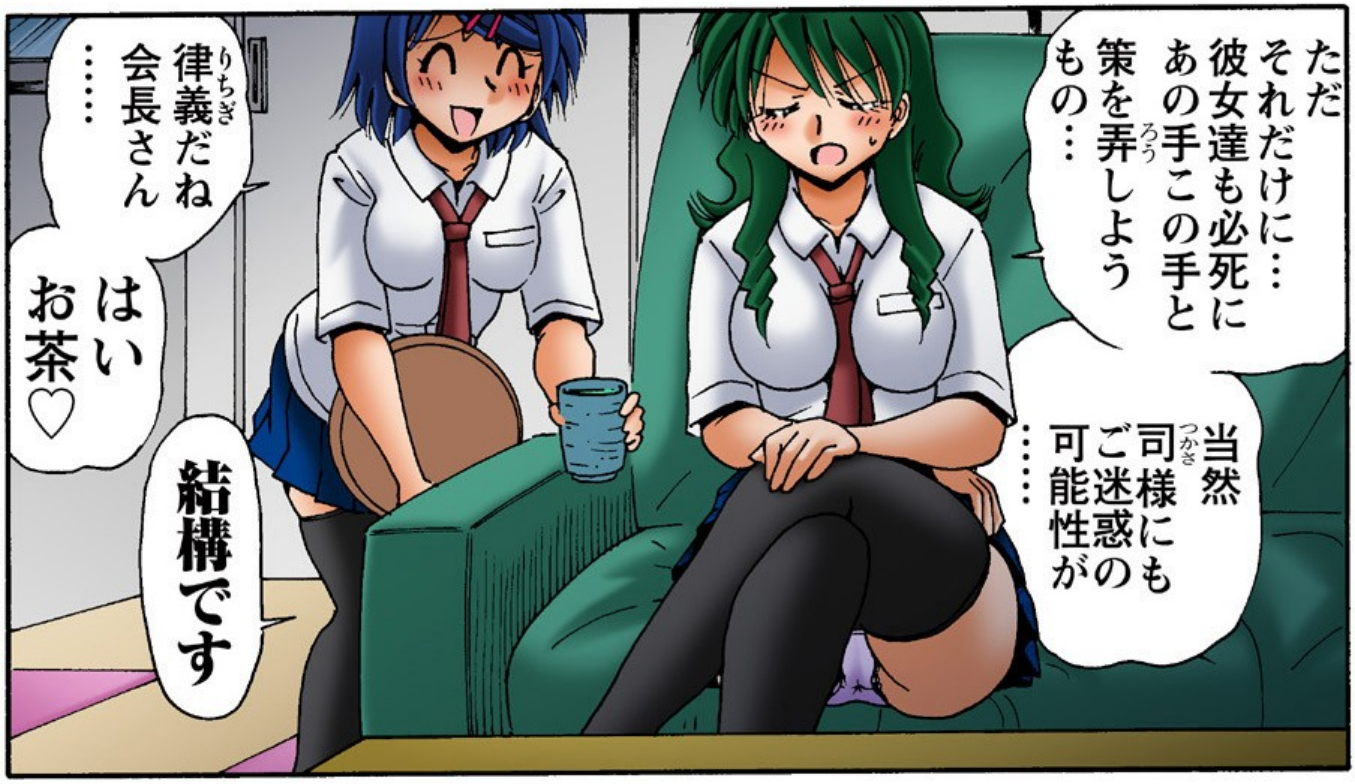

そこの
アナタ…
!?

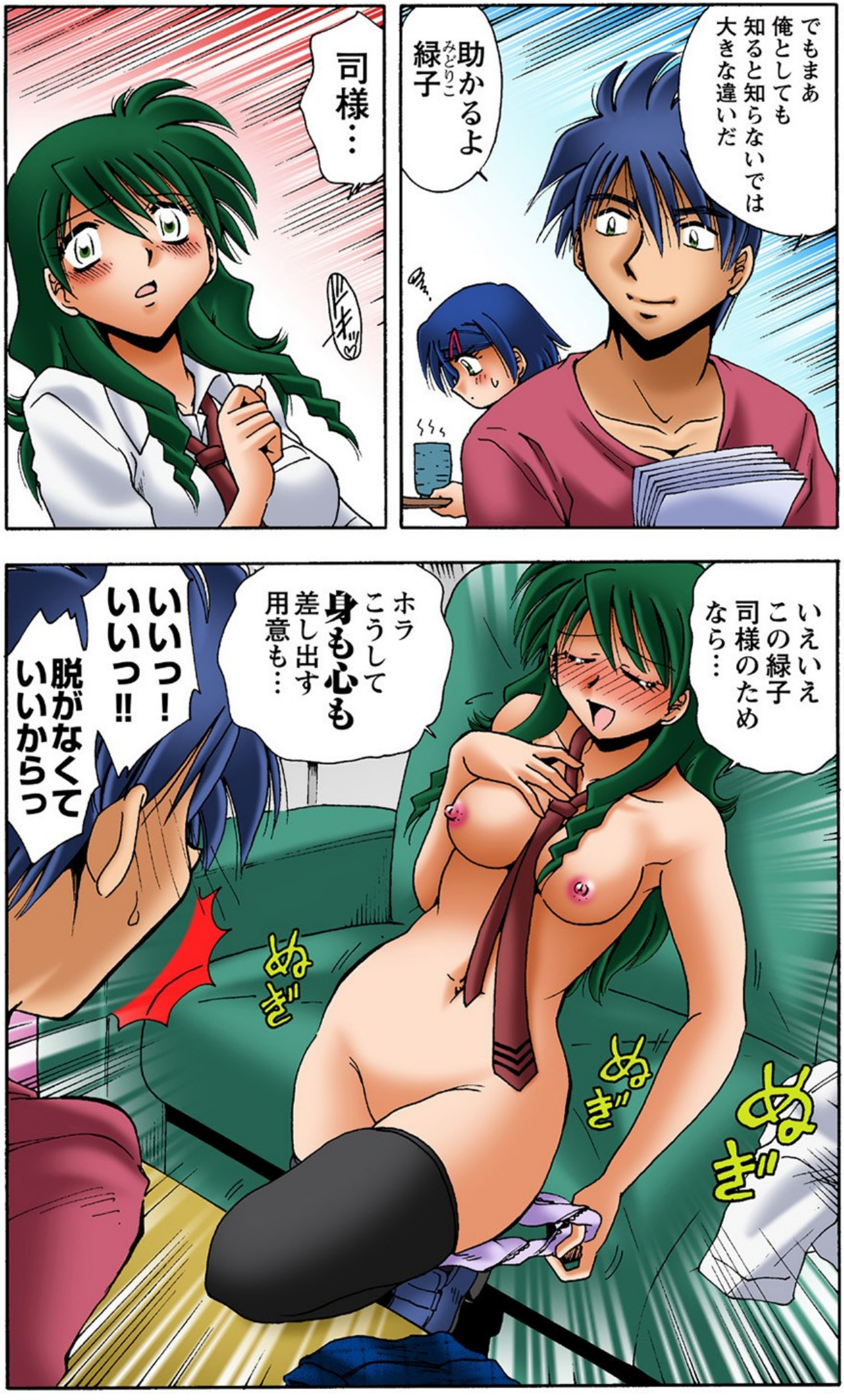

見るにどうやら
かなり深刻な
ご様子…
なんなら
この私が
アナタのお悩み
解決して
さし上げ
ましょう…
!?

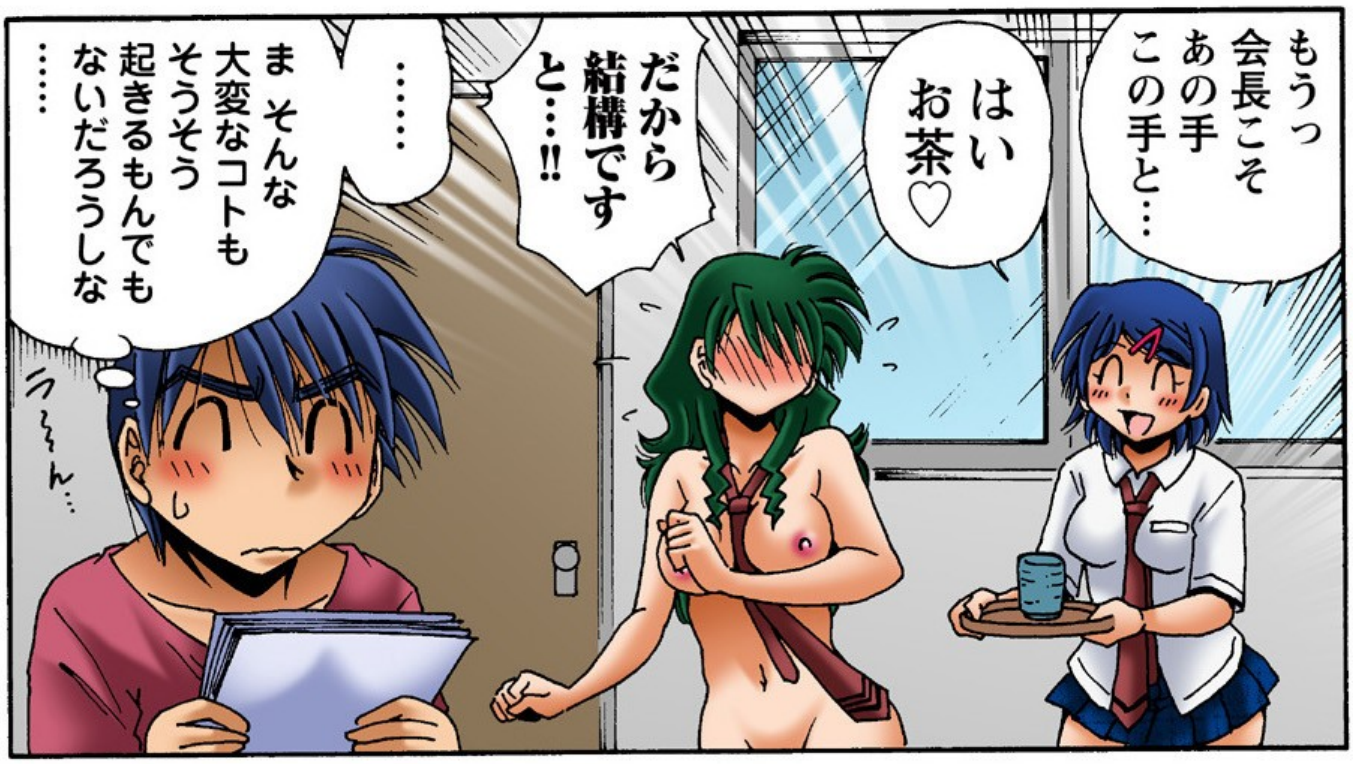

や
八百万(やおよろず)魔術同好会～？
生徒会室


こ こんなのもあるんだ…
こちらとしては非常に不可解極まりないんですが…
こんなのに限って本人達は真剣なんだろーけどね……

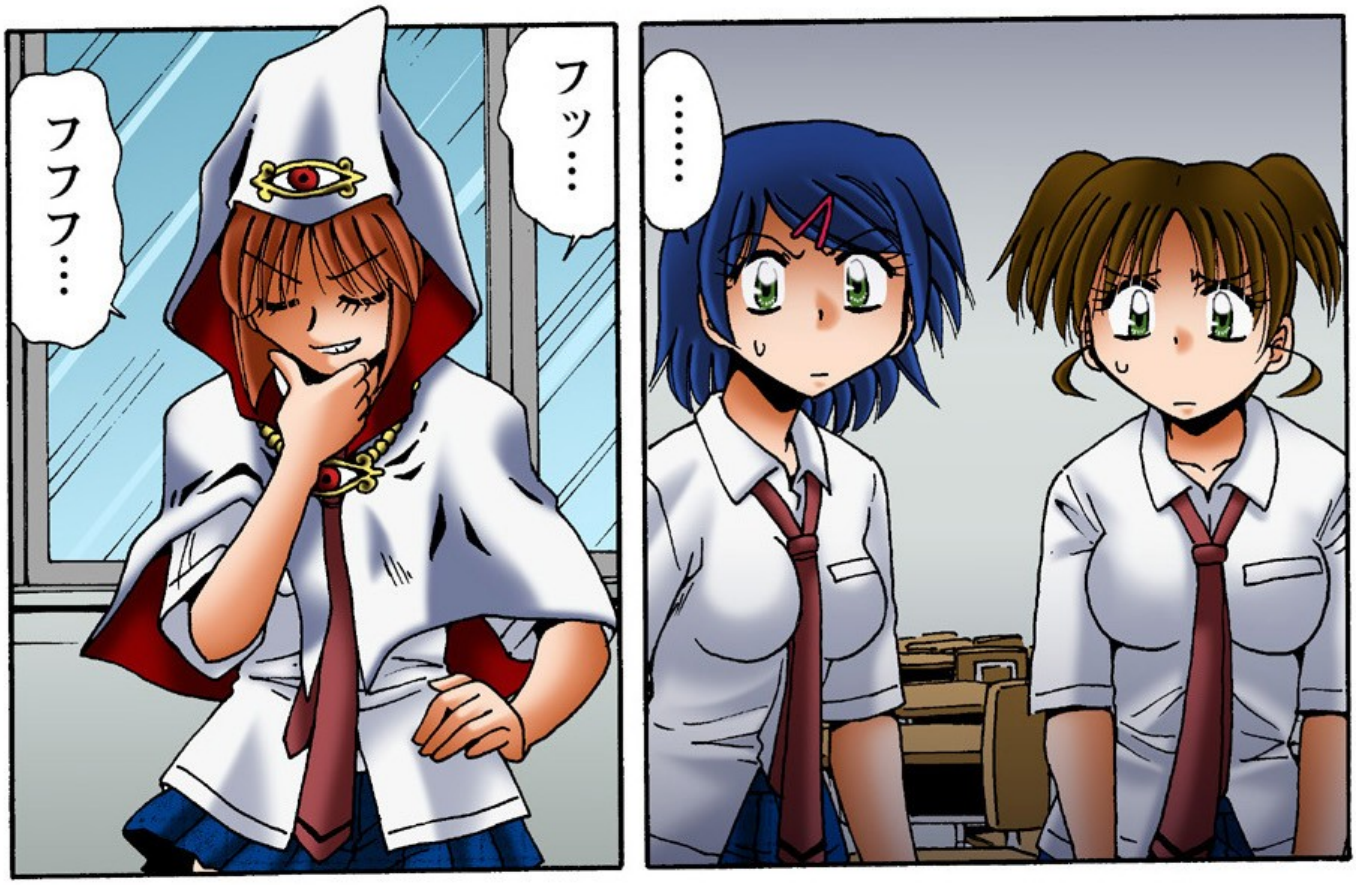

生徒会としてはこんな怪しげな活動に
きっぱり
限りある予算を与えるワケにはまいりません！
立場的にも正論だな


ただそれだけに…彼女達も必死にあの手この手と策を弄(ろう)しようもの…
当然司様(つかさ)にもご迷惑の可能性が……
律義(りちぎ)だね会長さん……
はいお茶♡
結構です


でもまあ
俺としても
知ると知らないでは
大きな違いだ
助かるよ
緑子(みどりこ)
司様…
いえいえ
この緑子
司様のため
なら…
ホラ
こうして
身も心も
差し出す
用意も…
いいっ！
いいっ!!
脱がなくて
いいからっ
ぬぎ
ぬぎ
ぬぎ


もうっ
会長こそ
あの手
この手と…
はい
お茶♡
だから
結構です
と…!!
……
ま そんな
大変なコトも
そうそう
起きるもんでも
ないだろうしな
……
ふ〜ん…


次の日…


……
フッ…
フフフ…

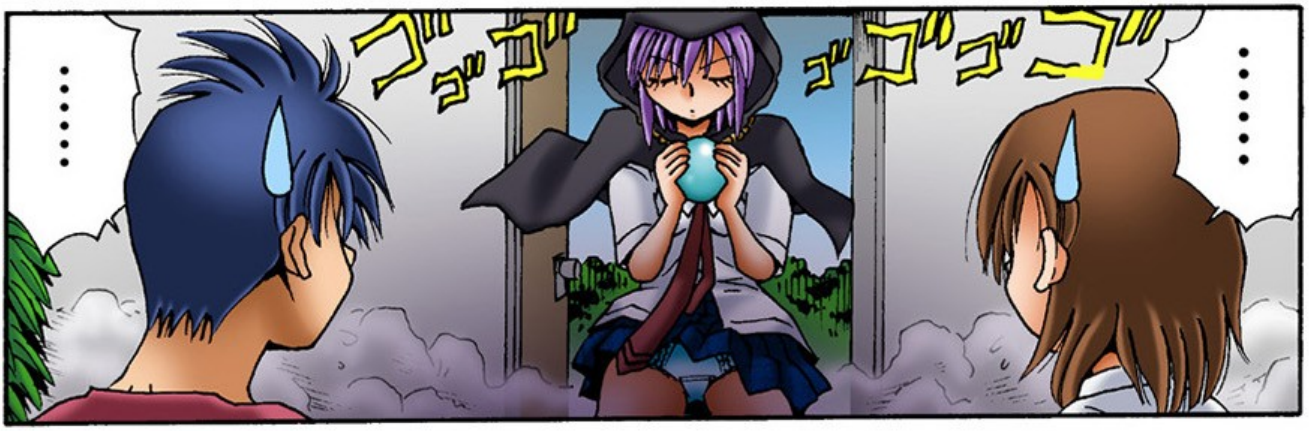

どどうしたの羽衣(うい)っ？
何か悪いモノでも食べて…？
食べてない食べてない…
だからあれ程駅前のラーメン屋のギョーザは食べちゃダメだと…
食べてないっ
つーか今初めて聞いたその話っ!!


皆には悪いケド実は私…気付いちゃったのよ…
気付いた？
この自分の中に眠る…
——そう！未知なる力に!!
ほ～～～ほほほ
た 確かに…その発言 私達には未知の思考パターンだけど…
な 何かあったの？羽衣？


この度「八百万魔術同好会」——ってトコに入る事になってね…
!?
軽～い気持ちで悩み相談してたらなんと私に魔術の才能があるとかなっちゃって…
いや～まいったねどーも…
……
……
練習すればすぐ私もコスモパワー使えるようになるとかいうのよ!!
これぞコスモパワ～
ホントにすごいよ!
ミカンが宙に浮くんだよ～♡
おおっ
こコスモパワぁ～!?
じゃ私これから同好会の集りあるから…
あっ羽衣っ
ほほーい
あ彩乃…
うん…
限りなく心配だねコレ…
うわぁぁぁ
まるで身内から新興宗教者が出たみたいに…


ゴゴゴ…
用務員室


きてますっ!!
ドス黒い不幸の影が……!!
まるで暗雲が立ち込めるかの如く…!!


……
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
……


※第26話参照
司は彼女のこの姿しか知らない…
いつぞやのスッポンポン少女っ!!
いいや…あの時のは…その違…
ああっ…
——以下次号!

女子校に男一人!?



第72話

さかぐちしずか

危惧しなければなりませんっ！

このまま何もしなければその不幸は確実におとずれますっ！

再び私がここに来たのもこの件に対し早急に手を打つ事を勧めるためです!!

ハァハァ

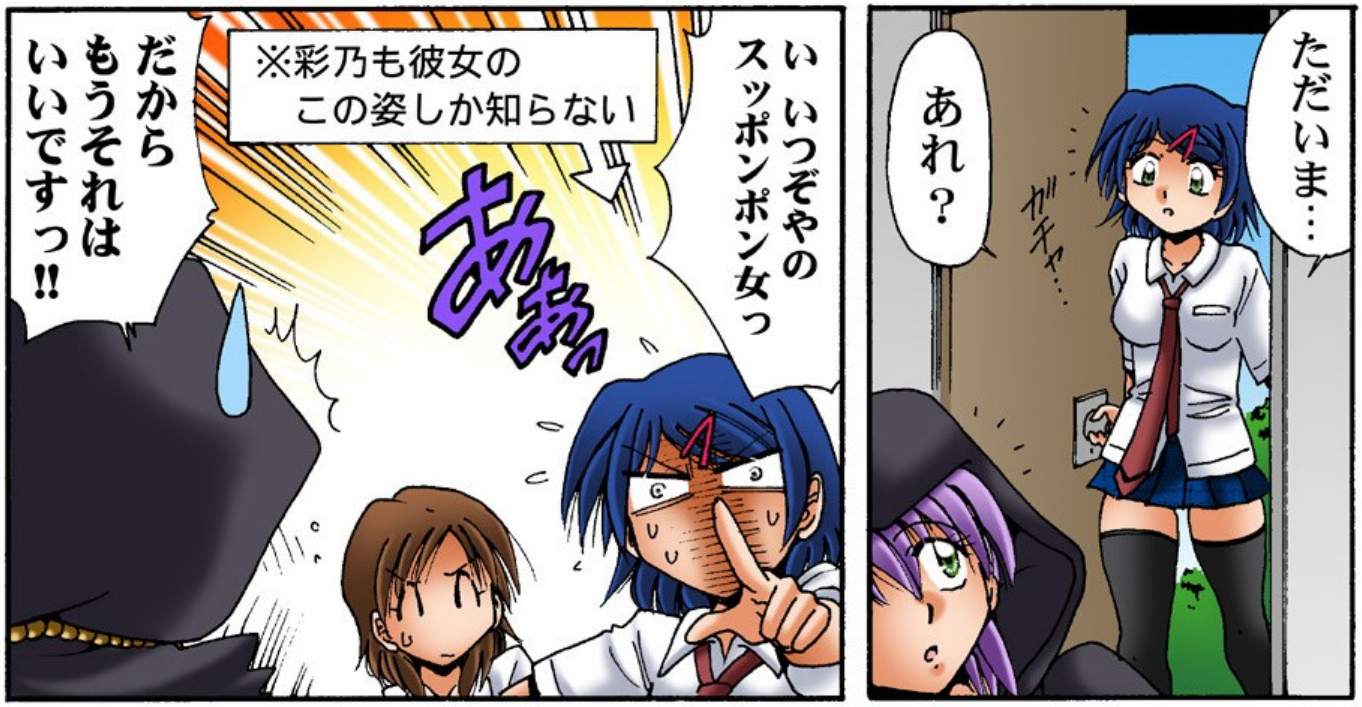
だからといってまたここでスッポンポンになられてもなぁ…

司の知る彼女の姿

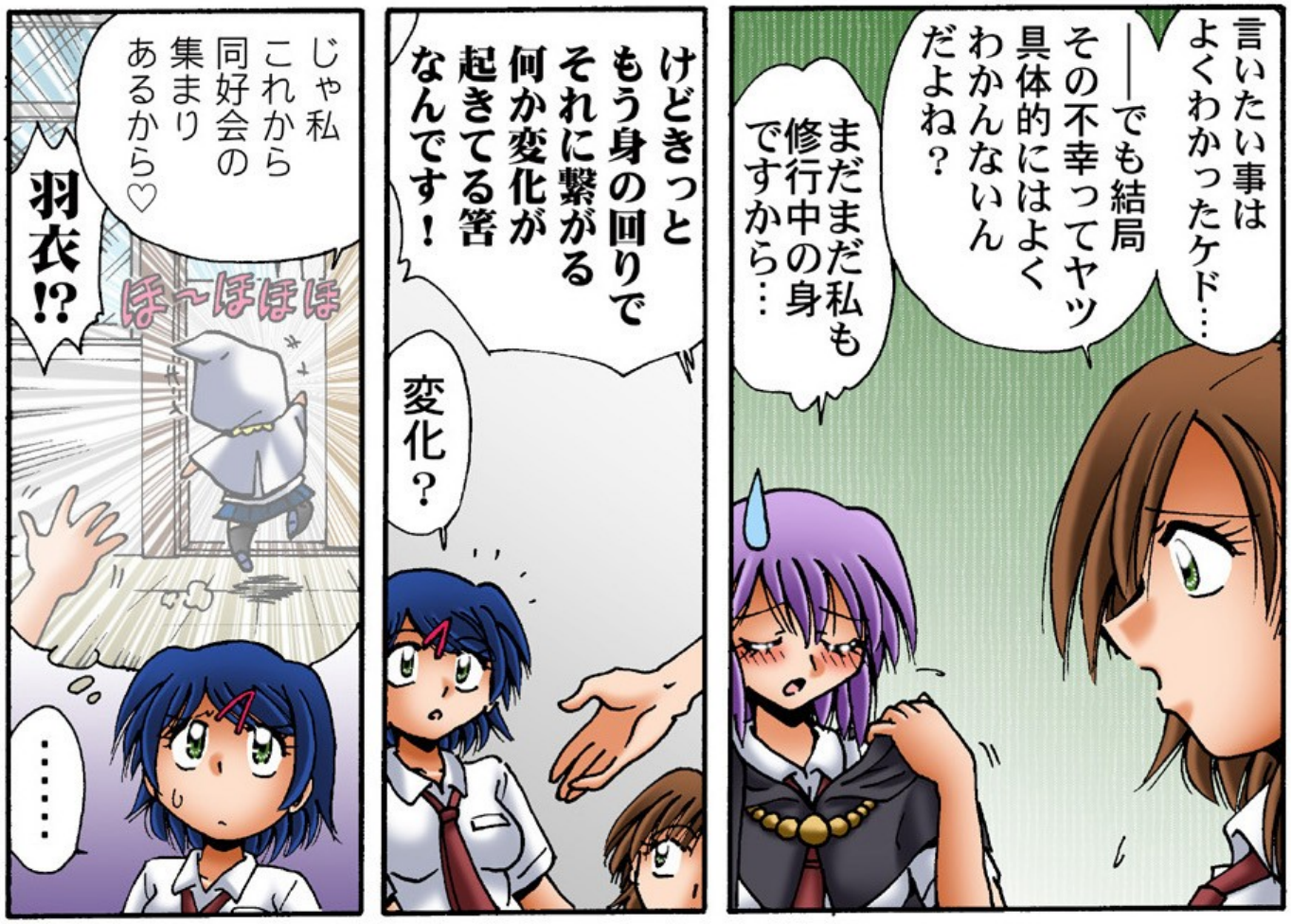
くて～っ

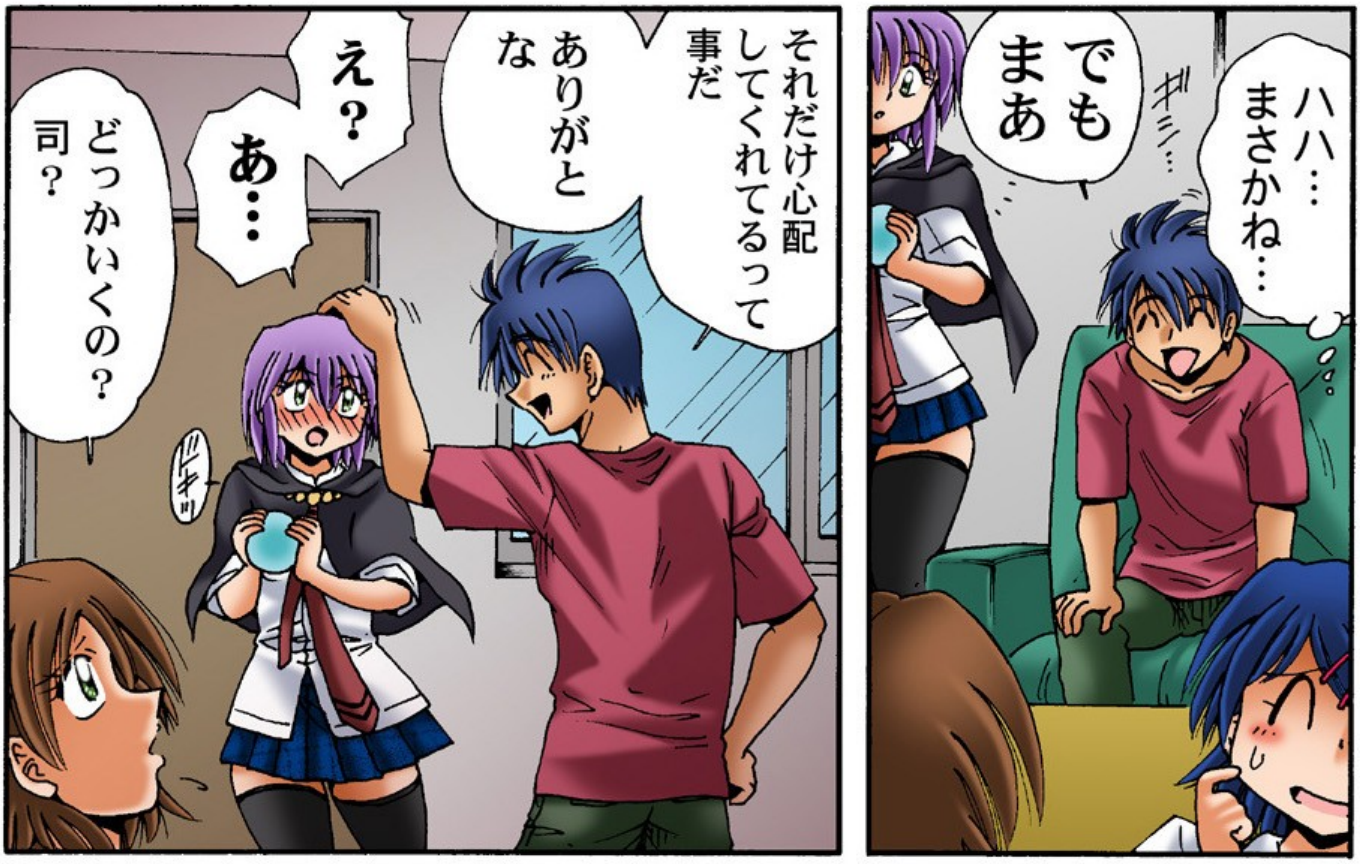
いいやだからあの時はそれなりの意味と流れがあって…

ああ…うまく説明し辛い…


ただいま…
ガチャ…
あれ？
※彩乃も彼女の
この姿しか知らない
あぁっ
いいつぞやの
スッポンポン女っ
だから
もうそれは
いいですっ!!

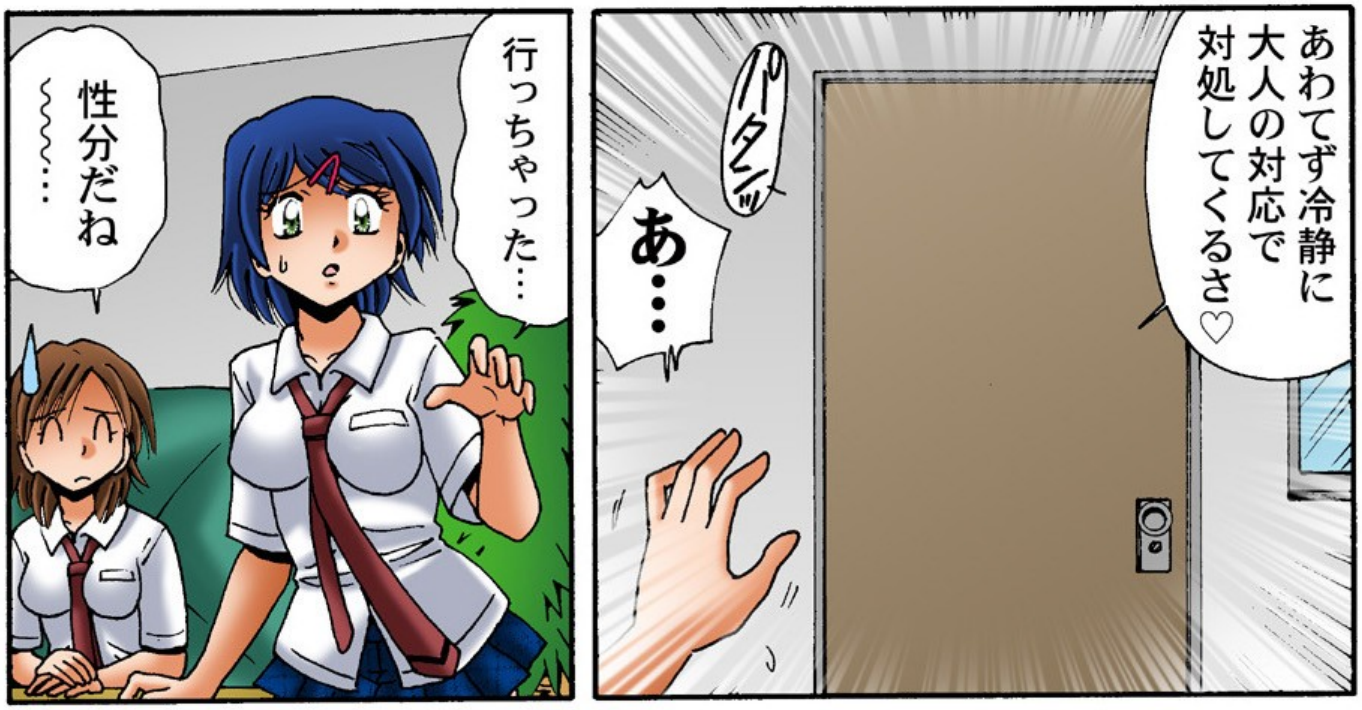



言いたい事は
よくわかったケド…
——でも結局
その不幸ってヤツ
具体的にはよく
わかんないん
だよね？
まだまだ私も
修行中の身
ですから…
けどきっと
もう身の回りで
それに繋がる
何か変化が
起きてる筈
なんです！
変化？
じゃ私
これから
同好会の
集まり
あるから♡
羽衣!?
ほ～ほほほ
……


ハハ…
まさかね…
でも
まあ
それだけ心配
してくれてるって
事だ
ありがと
な
え？
あ…
どっかいくの？
司？

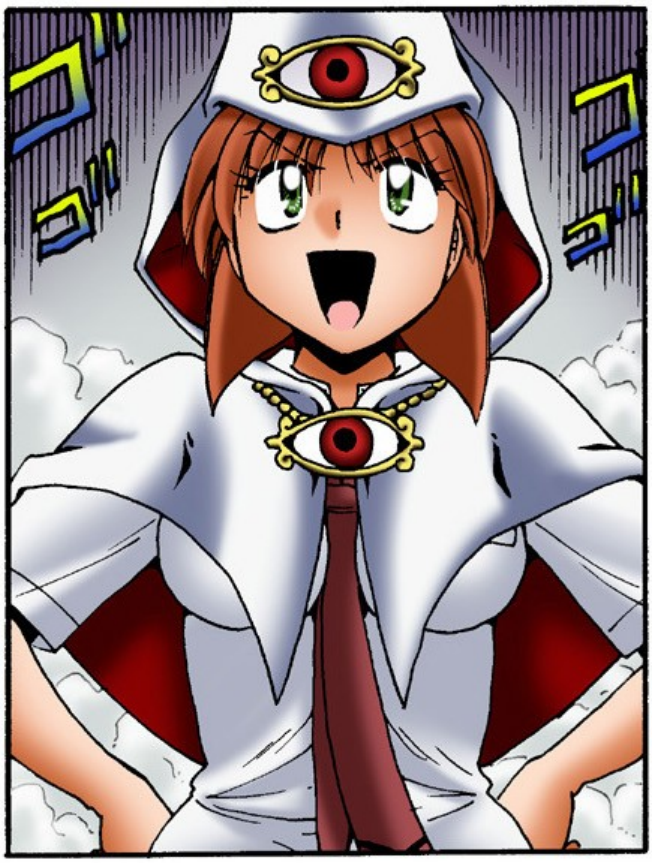

いつもの
相談依頼
ぜひ
仮部室まで
来ててさ
相談願い
田澤員さま
!?


あんなコト
言われたアトだよ？
出てって
大丈夫？
きっと部への
昇格がらみだろ？
——なら相手が
どんな策練った
ところで
最終判断は緑子(みどりこ)だ
あんなコト…
そりゃ
そーだろう
ケド…

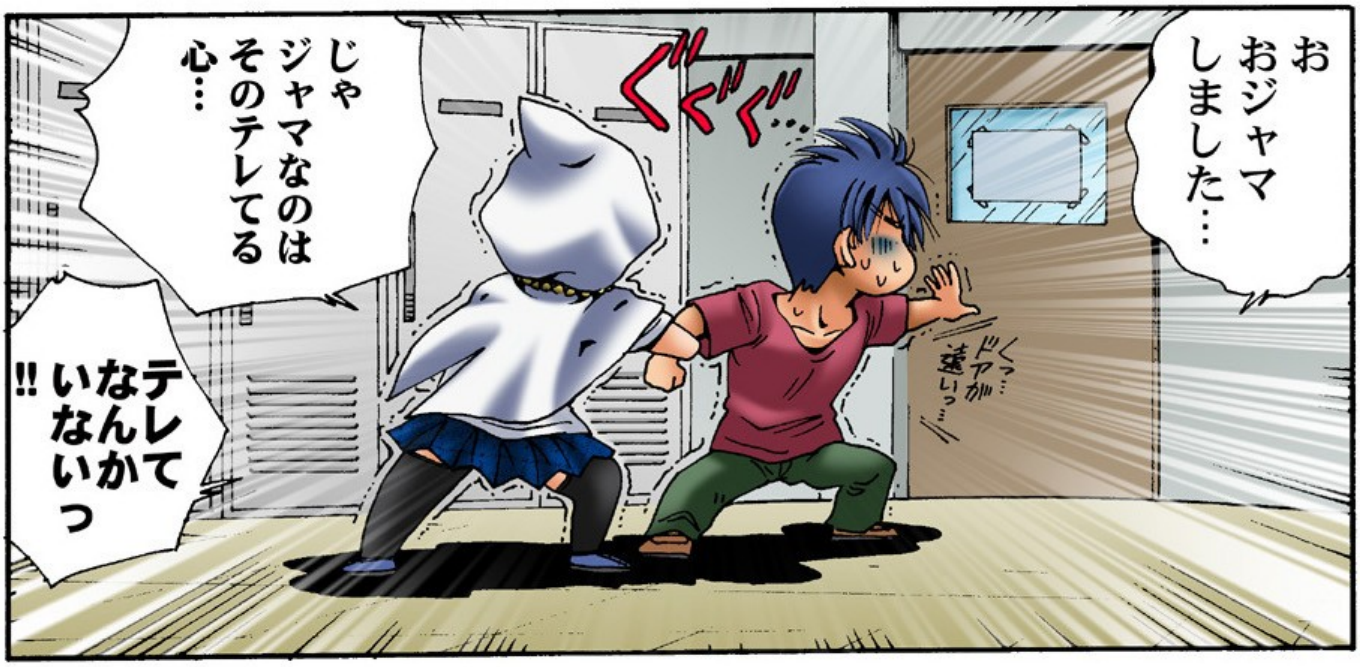

あわてず冷静に
大人の対応で
対処してくるさ♡
パタン!!
あ…
行っちゃった…
性分だね
〜〜〜…


実はそう
のん気な事も
言ってられま
せん…
!?
彼が出て
いってから
水晶玉が
どんどん
暗く…
これ
ビンゴ
です
ゴゴゴ
ゴゴゴ
どこ
行くって
言ってた?
ダメ!
聞いてないっ!!


ゴゴゴゴゴゴ
八百万(やおよろず)
庁術同好会


ゴゴゴゴゴ


ゴゴゴゴゴ


お
おジャマ
しました…
じゃ
ジャマなのは
そのテレてる
心…
テレて
なんか
いない
!!
ぐぐぐ
くっ…ドアが遠いっ…


少しでもドア開けたら大声出してやるから…
よよよ…
あいかわらず脱ぐの早ーっ!!

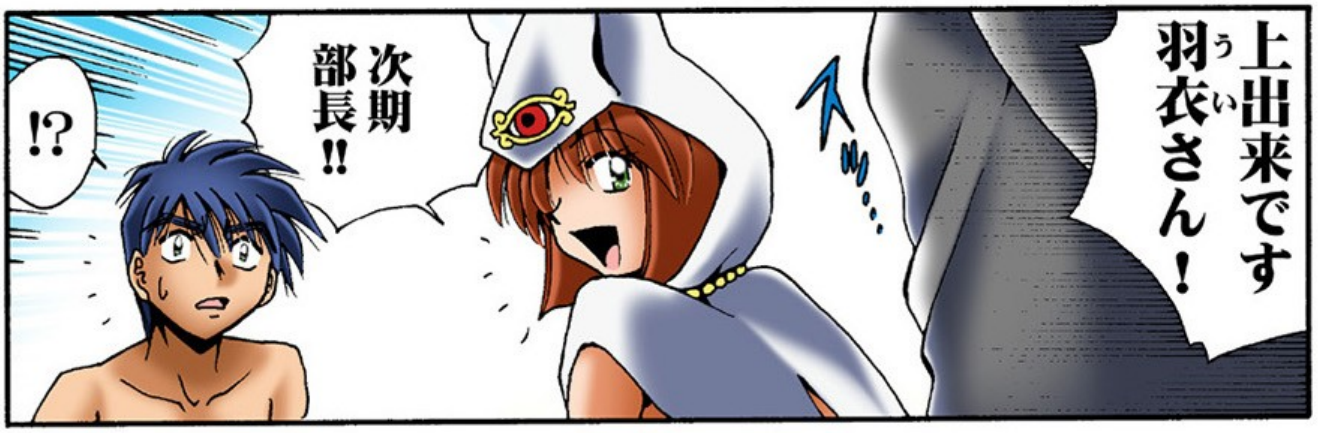

そしてこれでもう大声すらあげられまいて…
そ そして脱がすのも早つ!?


ち 畜生っキサマっ何が望みだっ!!
いや…そんな…追いつめられた主人公が犯人に真の目的聞き出すよーな返しされても…


大体 何で君がここに…？
この度新たにここに入ってね
じゃあ俺をここに呼び出したのも…？
当然 その次期部長の命令よ
!?

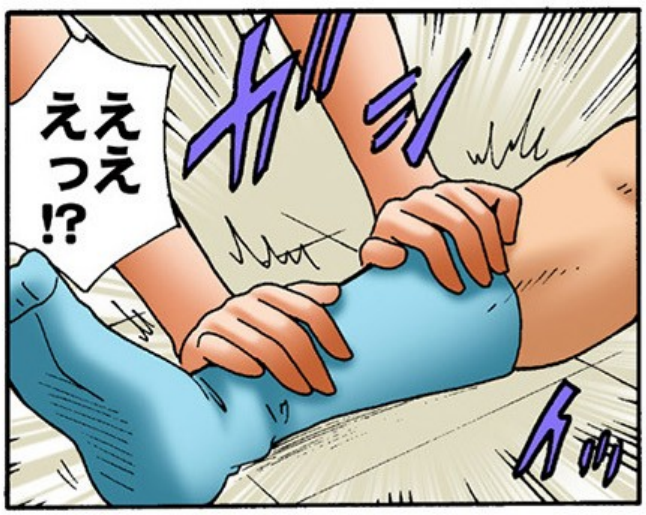

それもこれも全てはこの同好会の部活動昇格のため!!

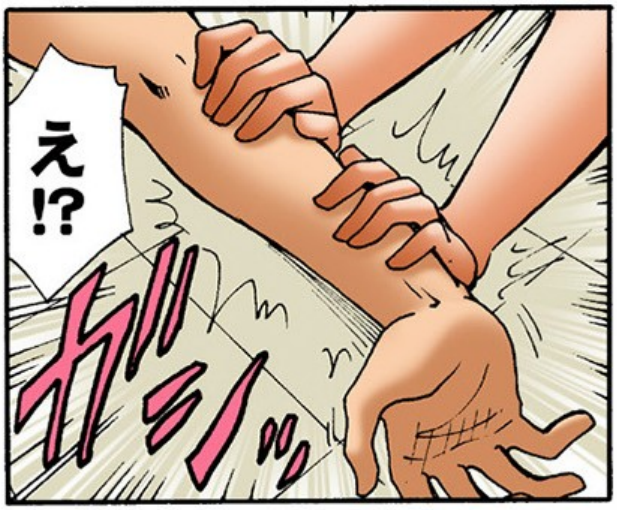

それが延いては全部 私のためになるの…
……なんのコトやらてんでだが…
どーやら俺はとんでもない事に首を突っ込んじまったみたいだな……

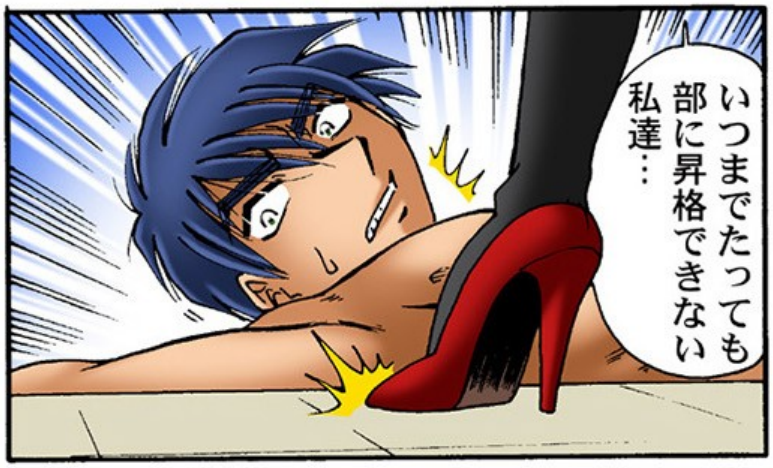

上出来です
羽衣(ういう)さん！
次期
部長!!
!?

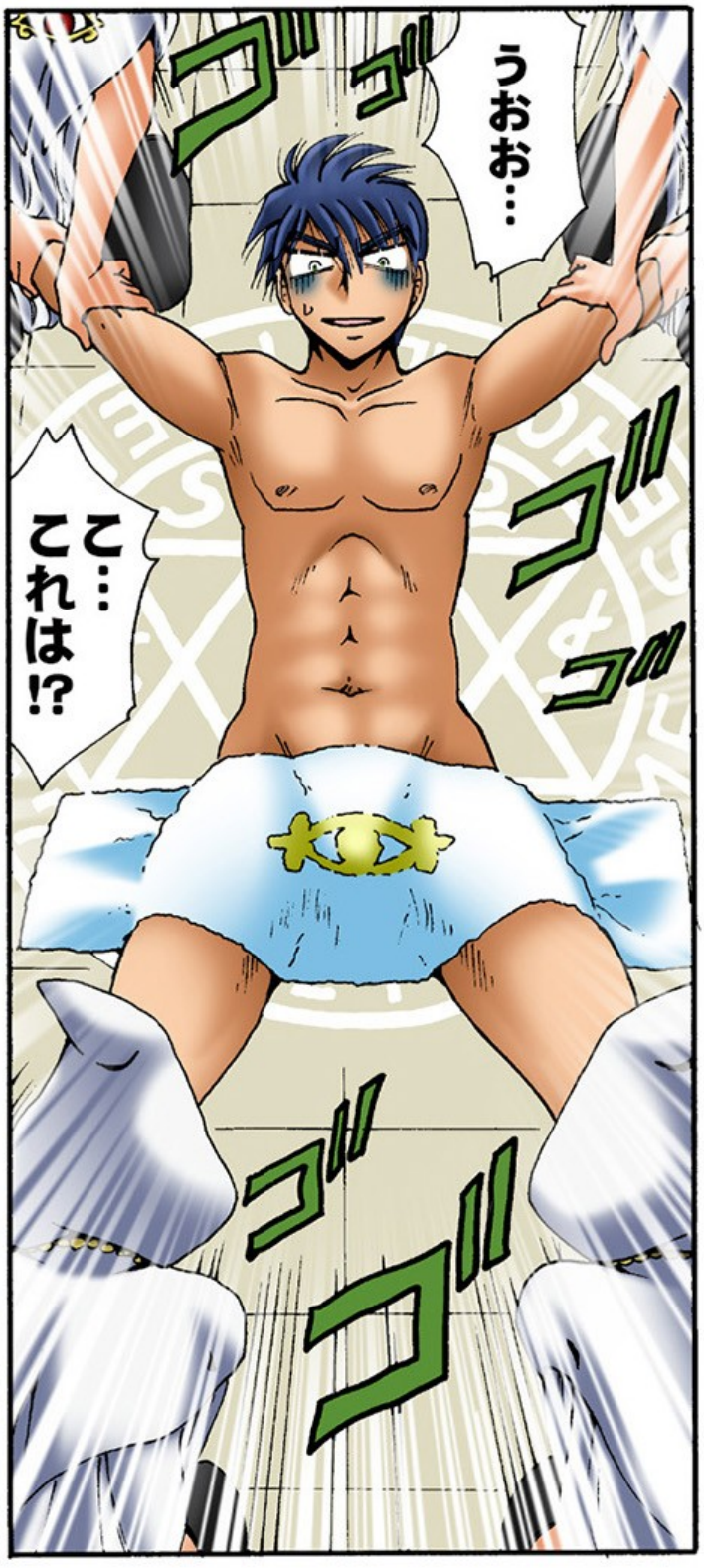

女子校が故に
手に入らなかった
最後のピース…
これで
私達の悲願も
見事達成できる
でしょう
!?


皆さん！
早速 儀式の
用意を!!
は――い♡
へ？
儀式？

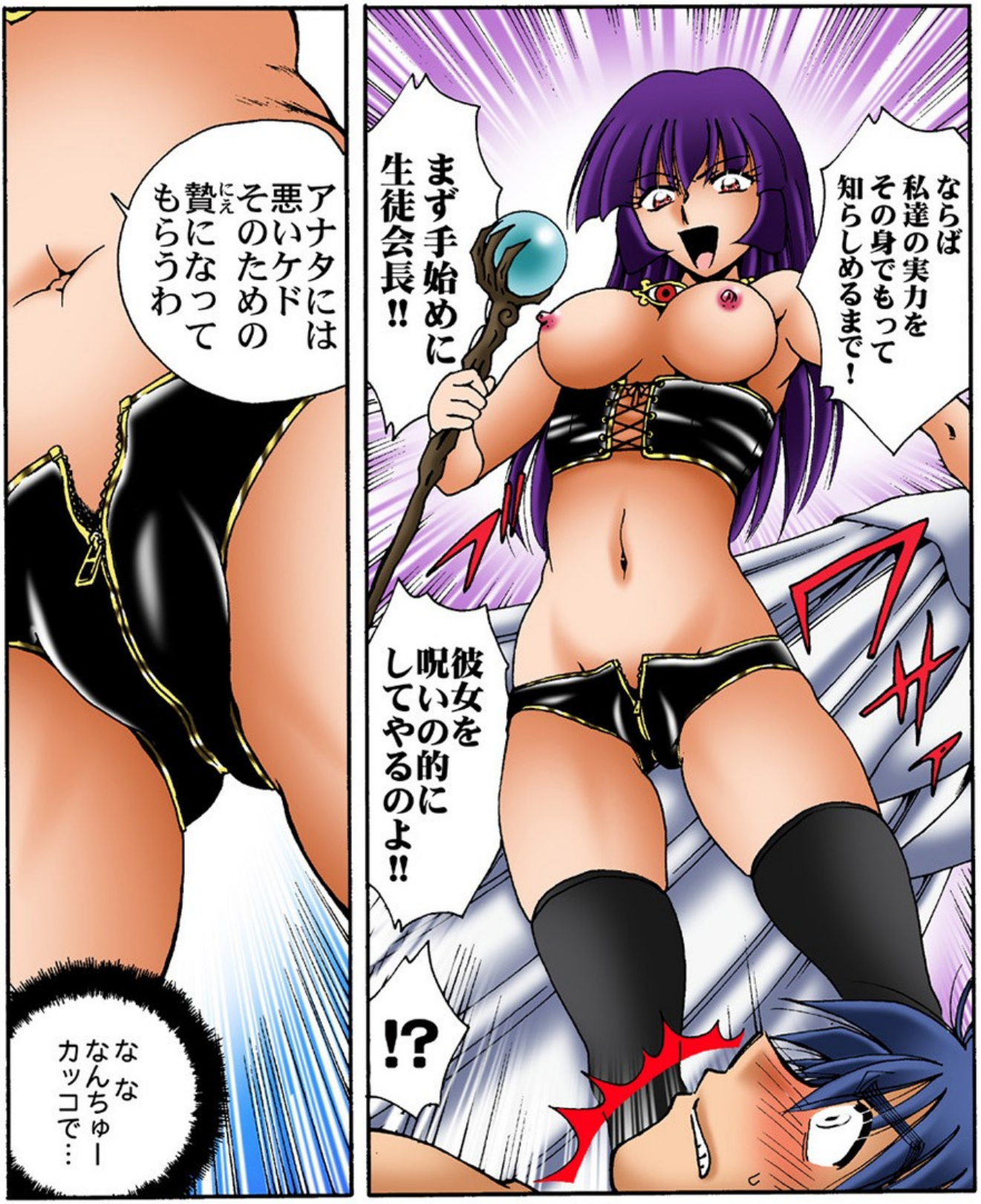

ええええっ!?

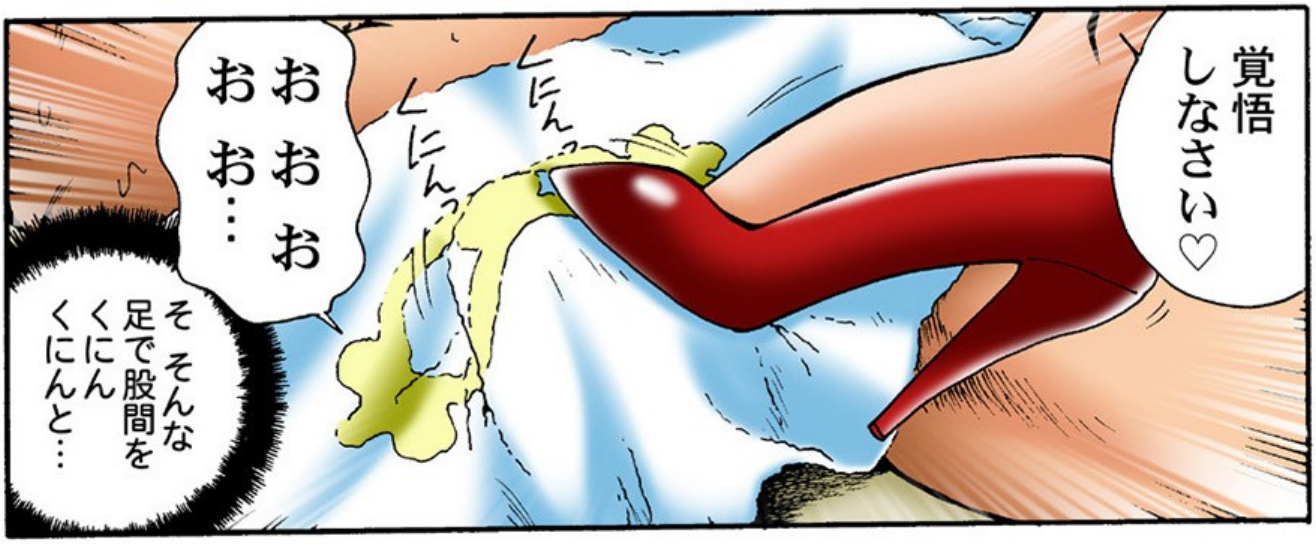

え!?

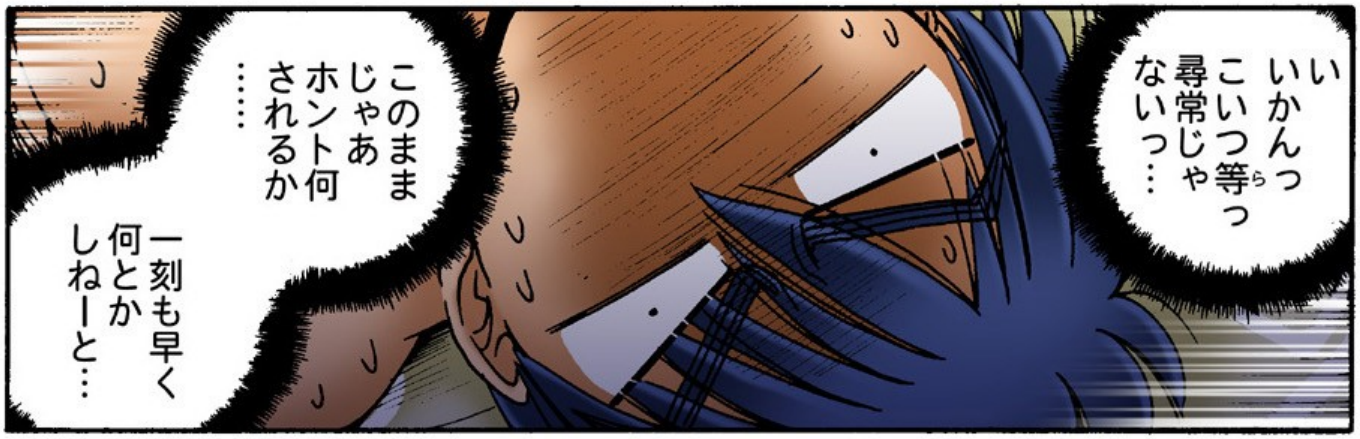

いつまでたっても部に昇格できない私達…


うおお…
こ…これは!?


理由を聞けばどうやら生徒会は私達の活動を理解しかねるからという…

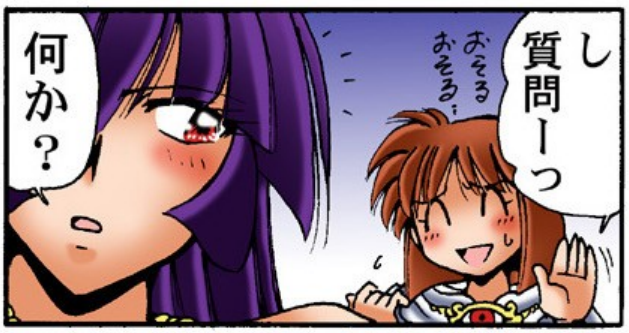

ならば
私達の実力を
その身でもって
知らしめるまで！
まず手始めに
生徒会長!!
彼女を
呪いの的に
してやるのよ!!
!?
アナタには
悪いケド
そのための
贄(にえ)になって
もらうわ
な
な
なんちゅー
カッコで…


覚悟
しなさい♡
くにっ
くにっ
おおお
おお…
そ そんな
足で股間を
くにん
くにんと…


いいかんっ
こいつ等っ
尋常じゃ
ないっ…
このまま
じゃあ
ホント何
されるか
……
一刻も早く
何とか
しねーと…


海は
きいろだ!
きいろい!
花は
死んでる!!
死んでる!!
メチャ
クチャか
!?
うわぁあ…


呪文
詠唱!!
べんとら
べんとら
ナムァミ
ダブツ…
ナウマク
サンマン…
ほーれんげっきょ
!?


し
質問ーっ
何か?
おそるおそる…


ああ…
だんだん
満ちてくる
……
皆の
パワーが
情熱が…
♡
♡
♡
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ひいい…
ひどく
興奮して
いらっしゃる…

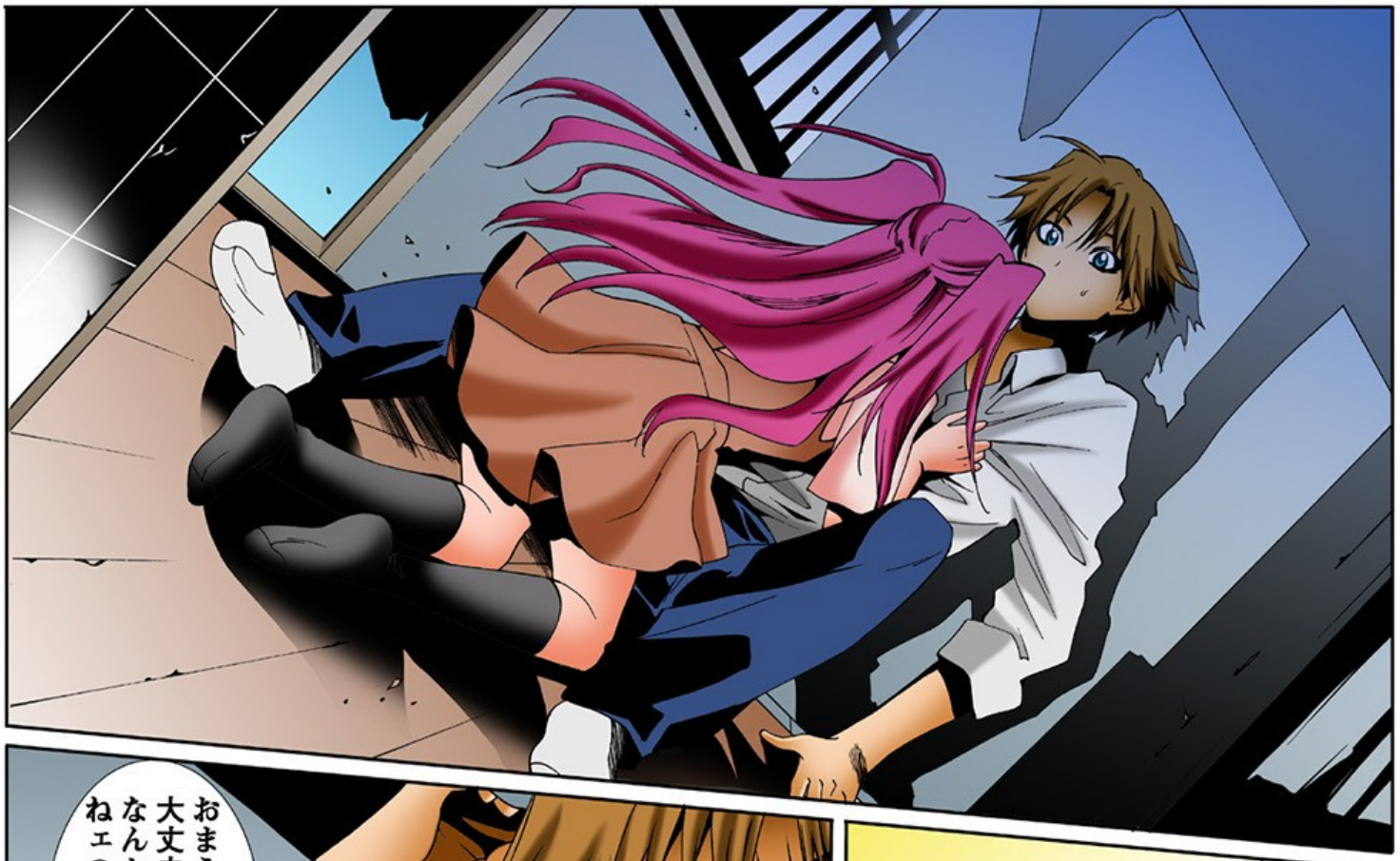

ひょっとして…
贄という事は
もしかして
用務員さんと
ここで一発
ヤッちゃうって
コト…?
下品な
言い方を
なさらない!!


これは
ここから
彼の気を
吸収し…
私の魔力を
より高めるために
必要な行為なの
です!!
!?
さぁ!
始めます
わよ!
ええ~
~~っ!!
オ
オ
オ
ど~なる
よ
俺~!?

——その頃——

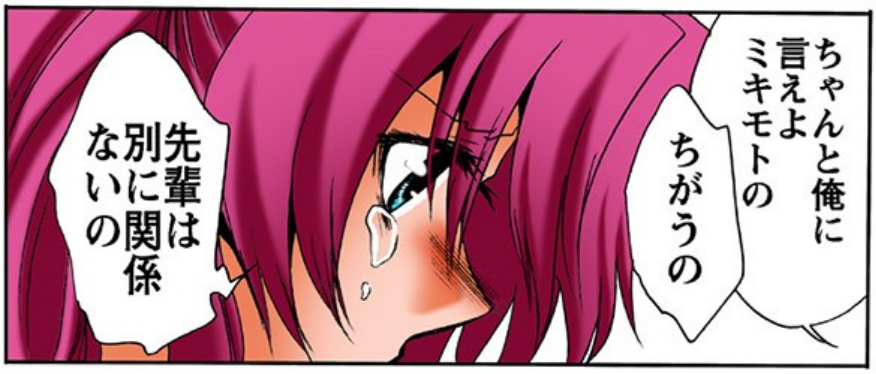

——で結局
お兄ちゃん
どこにいるの?
もう少し
……
もう少しで
この水晶玉
に…
……
しらみつぶしで
各部室
あたった方が
早いんじゃね?
ホント
どーなる
司!?


おねだり
姐
おすめ
第2話
木上蘭子

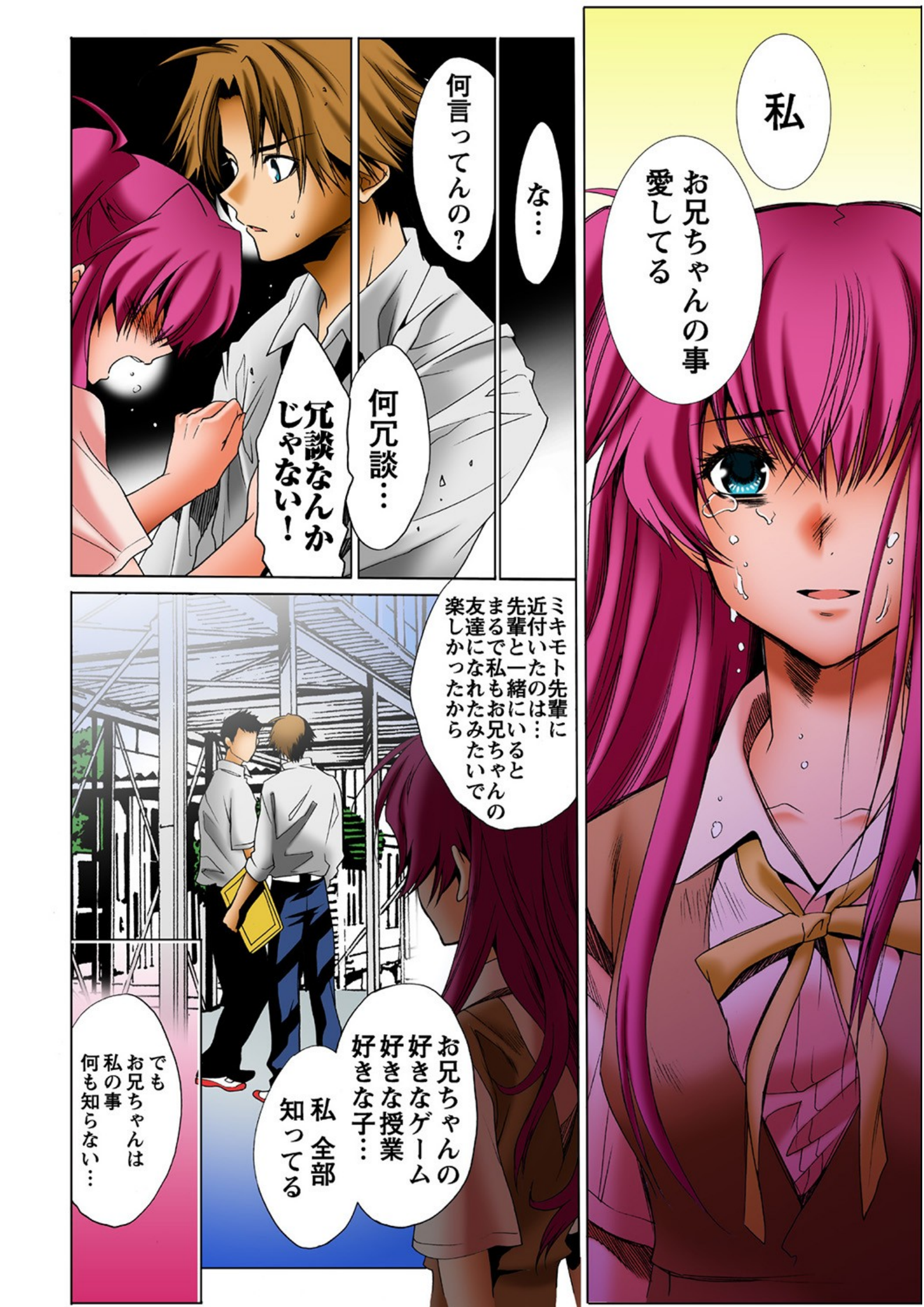


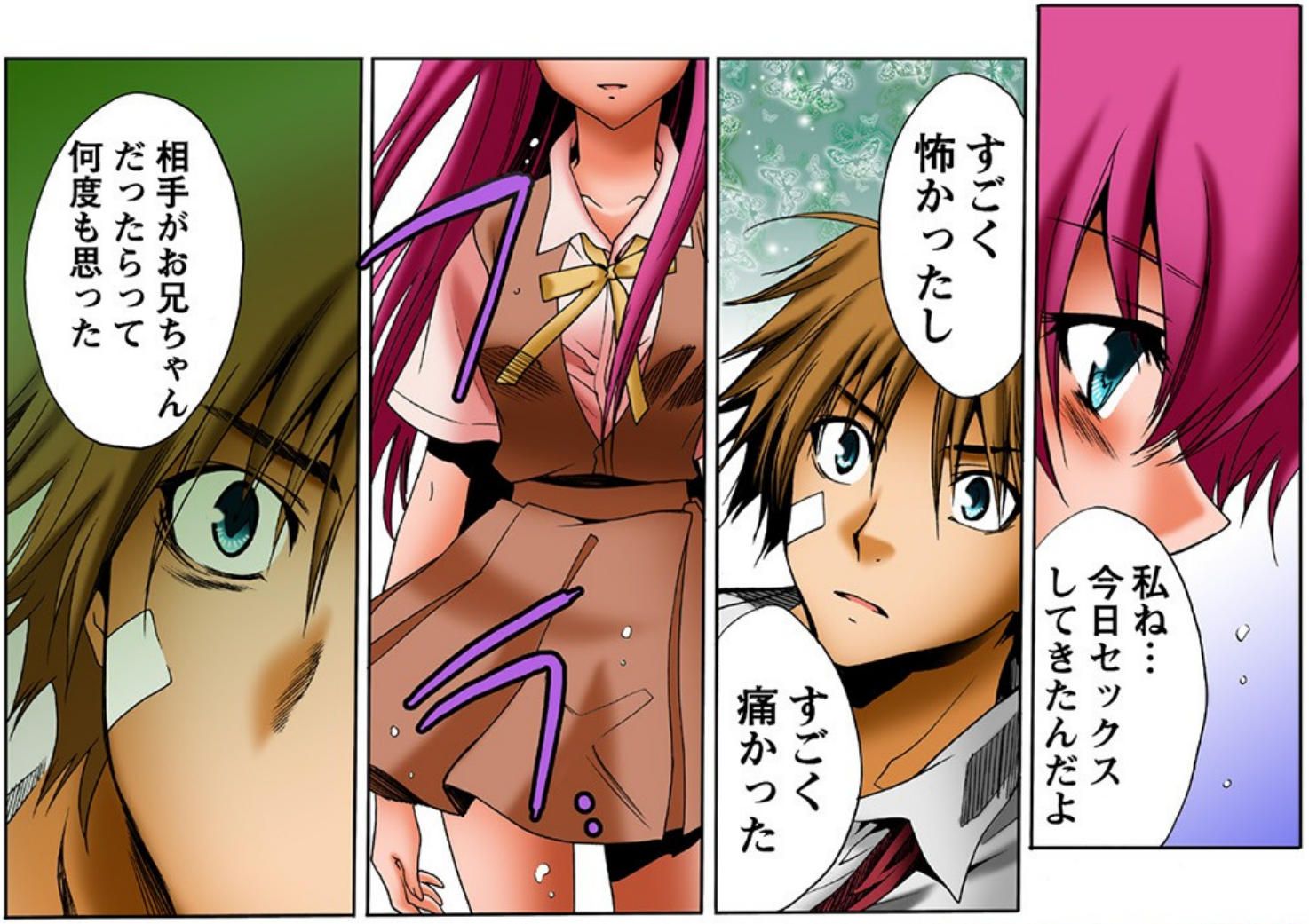

おまえ本当に
大丈夫なのか？
なんかあったんじゃ
ねェの？

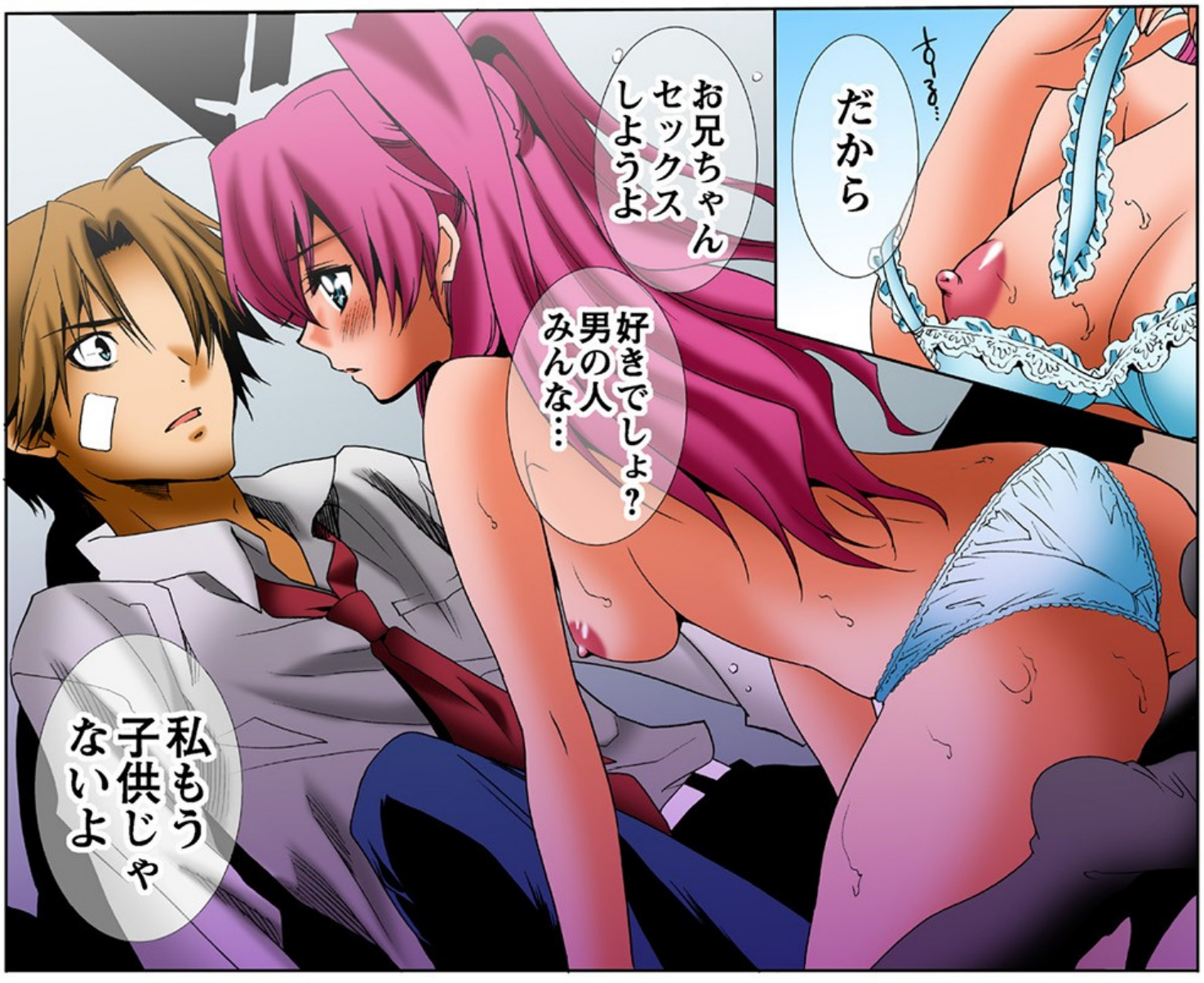

もう大丈夫
……
ごめんね
お兄ちゃん…


ちゃんと俺に
言えよ
ミキモトの
ちがうの
先輩は
別に関係
ないの


私 何も
わかってない
ままで
だって…
本当に
本当は
きっと先輩の
気持ち
踏みにじってる…

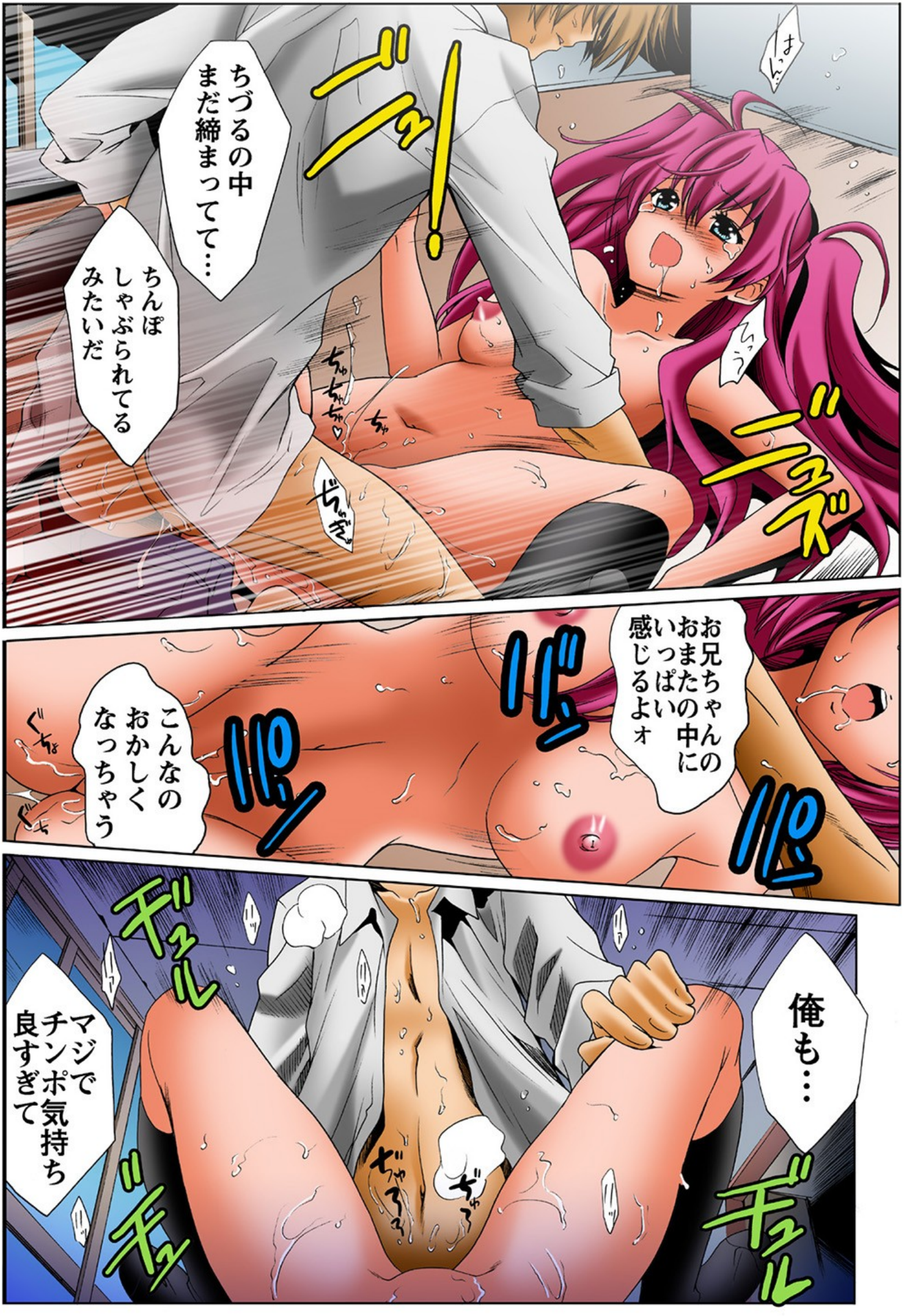

私
お兄ちゃんの事
愛してる
な…
何言ってんの？
何冗談…
冗談なんか
じゃない！
ミキモト先輩に
近付いたのは…
先輩と一緒にいると
まるで私もお兄ちゃんの
友達になれたみたいで
楽しかったから
お兄ちゃんの
好きなゲーム
好きな授業
好きな子…
私 全部
知ってる
でも
お兄ちゃんは
私の事
何も知らない…


私ね…
今日セックス
してきたんだよ
すごく
怖かったし
すごく
痛かった
相手がお兄ちゃん
だったらって
何度も思った


だから
お兄ちゃん
セックス
しようよ
好きでしょ？
男の人
みんな…
私もう
子供じゃ
ないよ

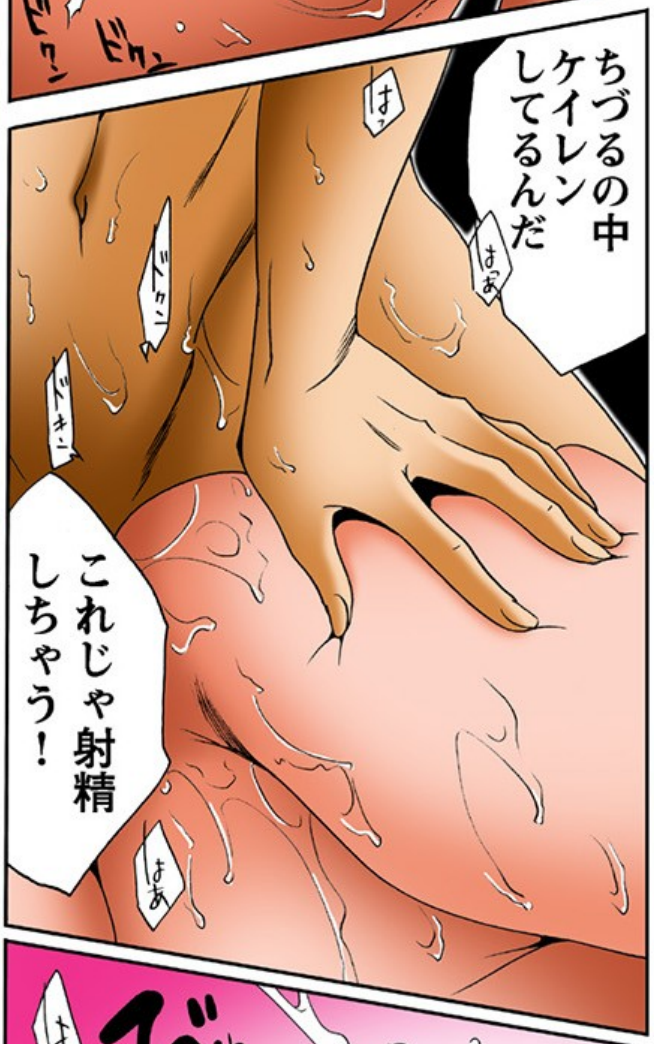

ドキン
ドキン
ドキン
むにっ
クク
一つだけ言っとくけどな
はぁ…
男ってやつは好きじゃない女とも全然平気でセックスできちゃうんだからな
ちづるの事は妹として好きなだけでそれ以上の感情は――
お兄ちゃんの馬鹿
うん
そんなのいちいち口に出さなくてもわかってるよ
わかった


うあ…♡
お兄ちゃんの
くっついたァ…
はぁ…
ゴルル…
本当に
入れちゃって
いいんだよな？
ズリ…
ズ…
ヒク
ヒク
ゆっくり…
してェ
まだちょっと
痛いよォ…
ドクン
ドクン


はぁん
ちづるの中
まだ締まってて…
ちんぽ
しゃぶられてる
みたいだ
ぢゅぢゅ
ちゅ
ちゅぢゅ♡
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ


ふにゃ…ぁ♡
ビクン…
お兄ちゃんのせーしがビュービュー♡ってゆってるぅ♡
ビクン…
びゅるっ…
びゅるっ…
びゅるっ…♡


お兄ちゃんのが奥に来るたんびに
おまん○がビクビク変なの…
ビクン
ビクン
ビクン
カクン


ちづるの中ケイレンしてるんだ
はぁ
はっ
ビクン
ビクン
これじゃ射精しちゃう！
はぁ


はぁ
びゅる…


中に全部出しちゃった…ごめんな
はぁ
はぁぁ
俺やっちゃったんだ…
いいのお兄ちゃんのだもん
妹(ちづる)と…
結局最後までいっちゃったけど…
けど…もう俺
こんなの二度とごめんだから

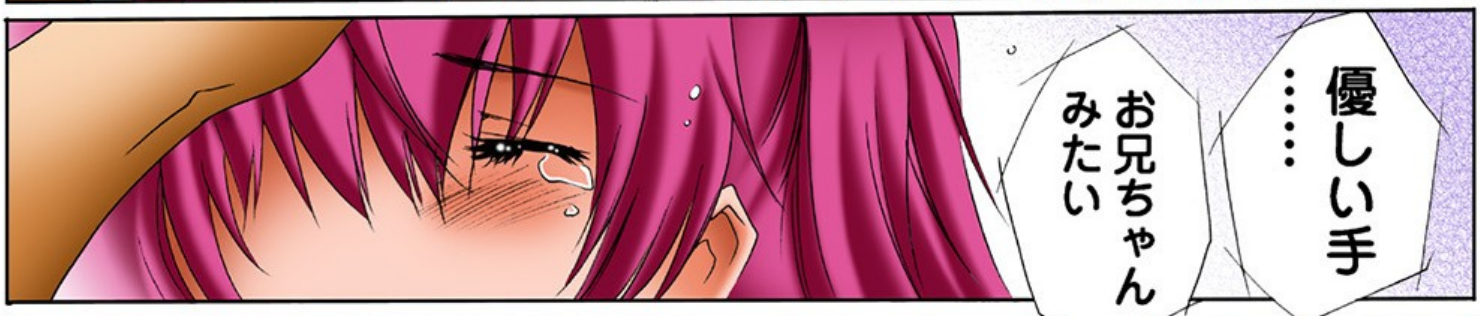

もう何もかも元に戻れない
何もかも壊しちゃったの？
誰か助けて
ごめんなさい先輩…
私…
その


別れて欲しい
――え？
やっぱりな～～～
この前イキナリあんな事しちゃったし
嫌われるよなやっぱ


それにさちづるちゃんたぶん俺の事あんま好きじゃないんじゃないかなって…
なんとなく思ってたし
でも付き合ってくうちにラブラブになれたらいいなって思ってたケド
無理だったね


ごめんなさい私から告白したのに…
私バカだから…私最低な奴なの
ちょちょっ…泣かれたら余計俺がみじめって言うか



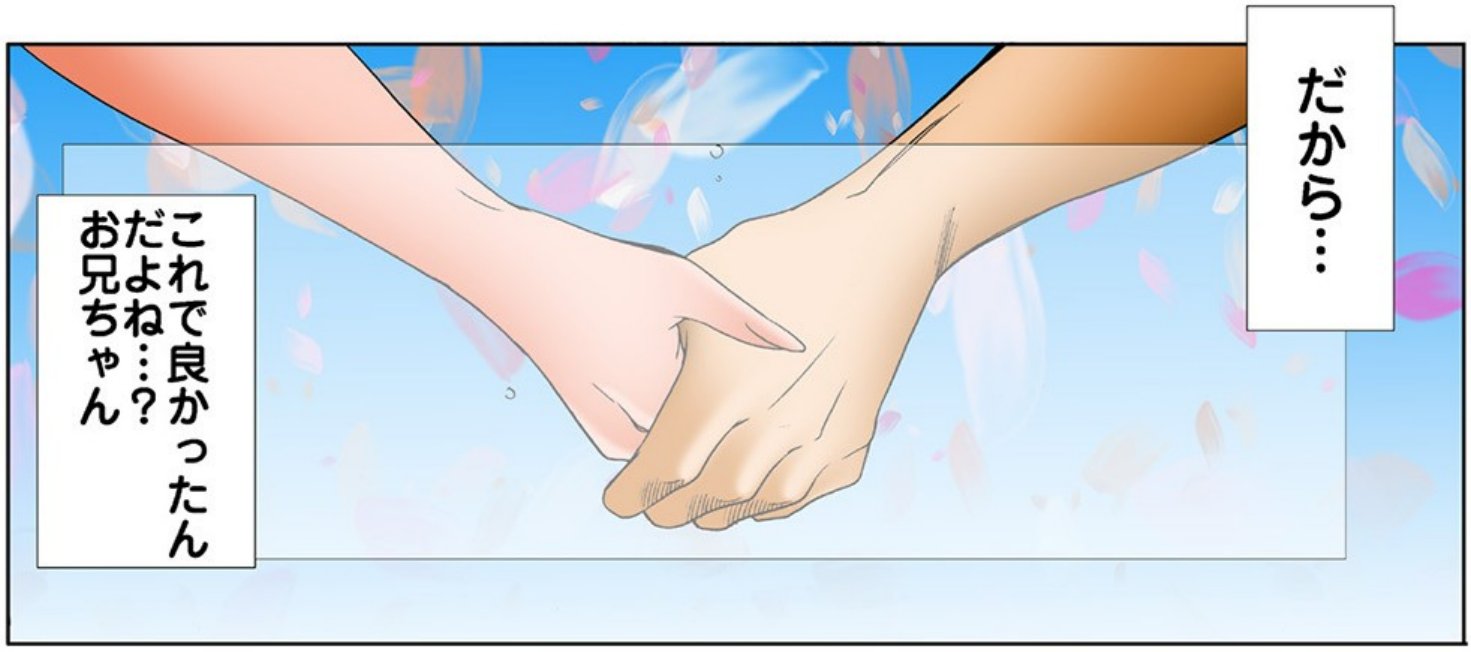


私…
この人とならもしかして
戻せるかも
しれない

失った兄妹の絆も失った恋心も

イチからスタートできるかもしれない


ま…待って
私にまだチャンスがあるなら
付き合ってくれませんか!?
もっと知りたい先輩の事!!ちゃんと


だから…
これで良かったんだよね…？お兄ちゃん

木上蘭子

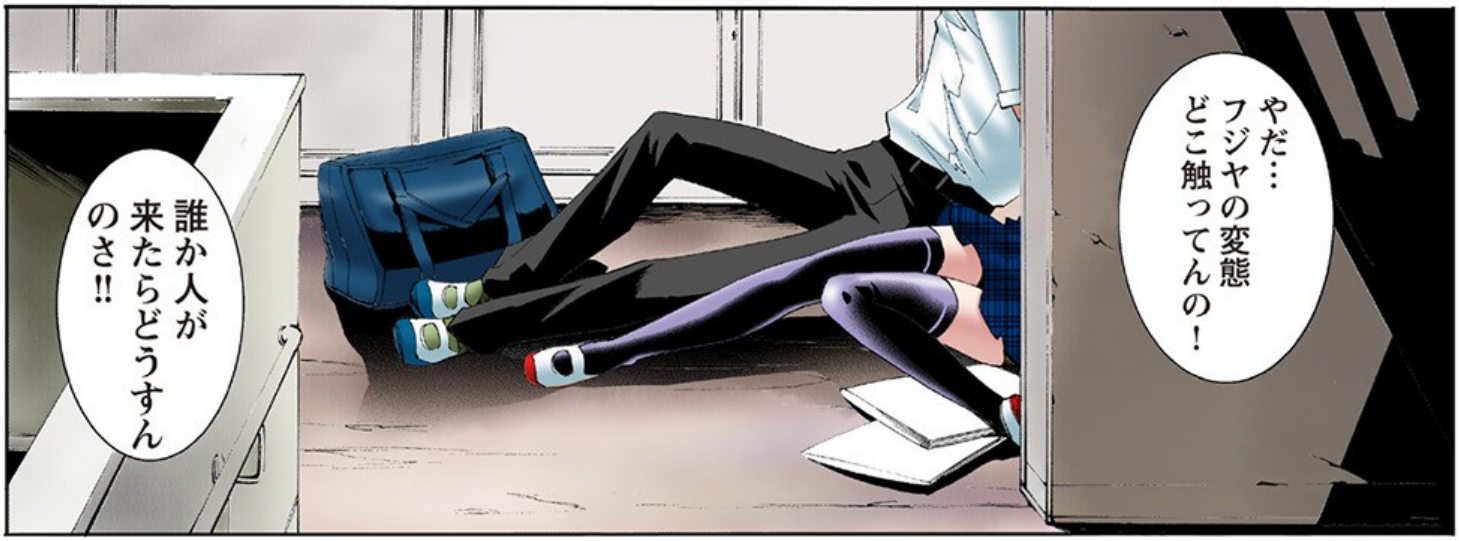
おねだり姉

おすめ

第３話






やだ…
フジヤの変態
どこ触ってんの！
誰か人が
来たらどうすん
のさ!!

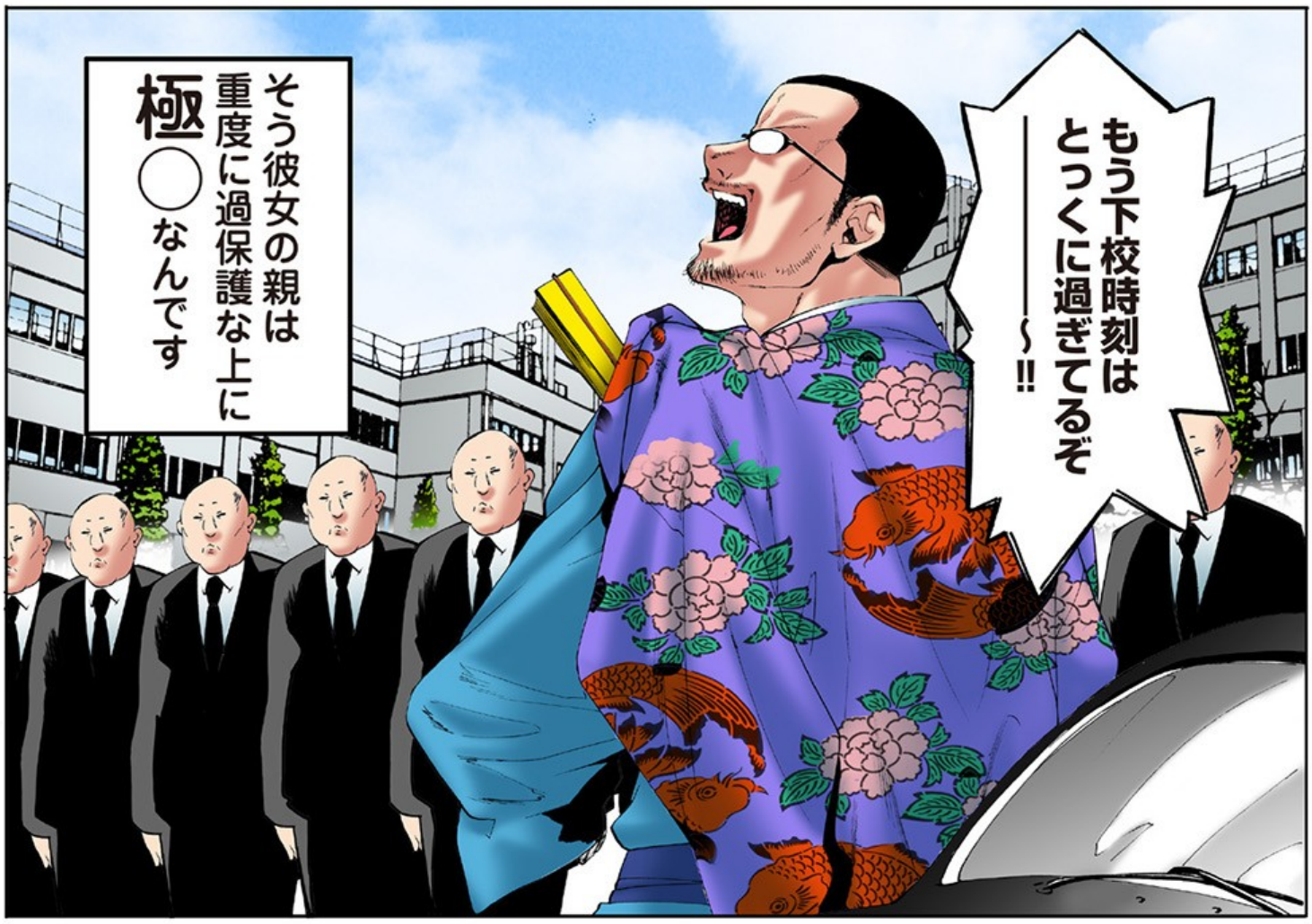

それに勉強
教えて欲しいって
いうから僕は…！
こうでもしねえと
二人っきりの時間なんて
作れねぇだろ

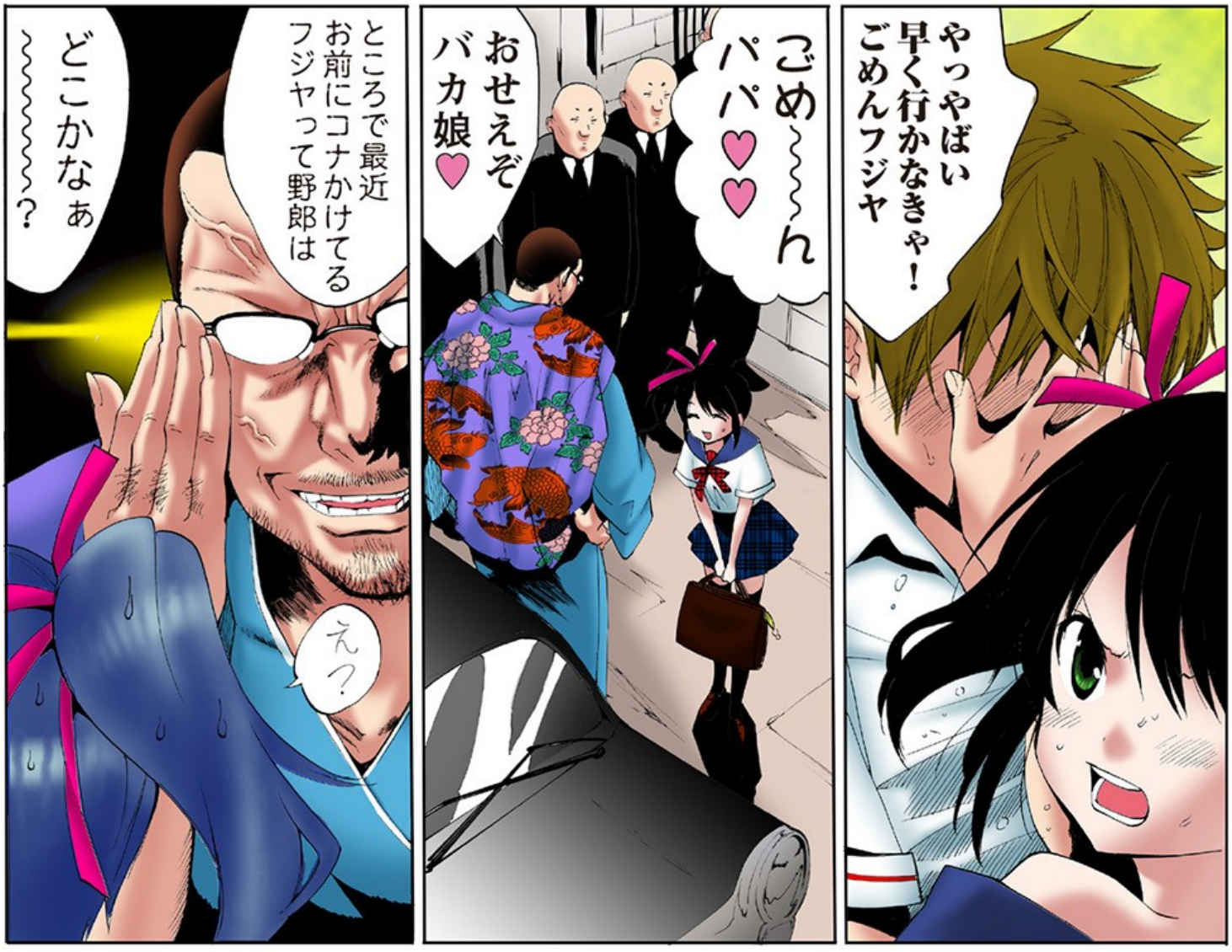

それは…
まあそうなん
だけど…

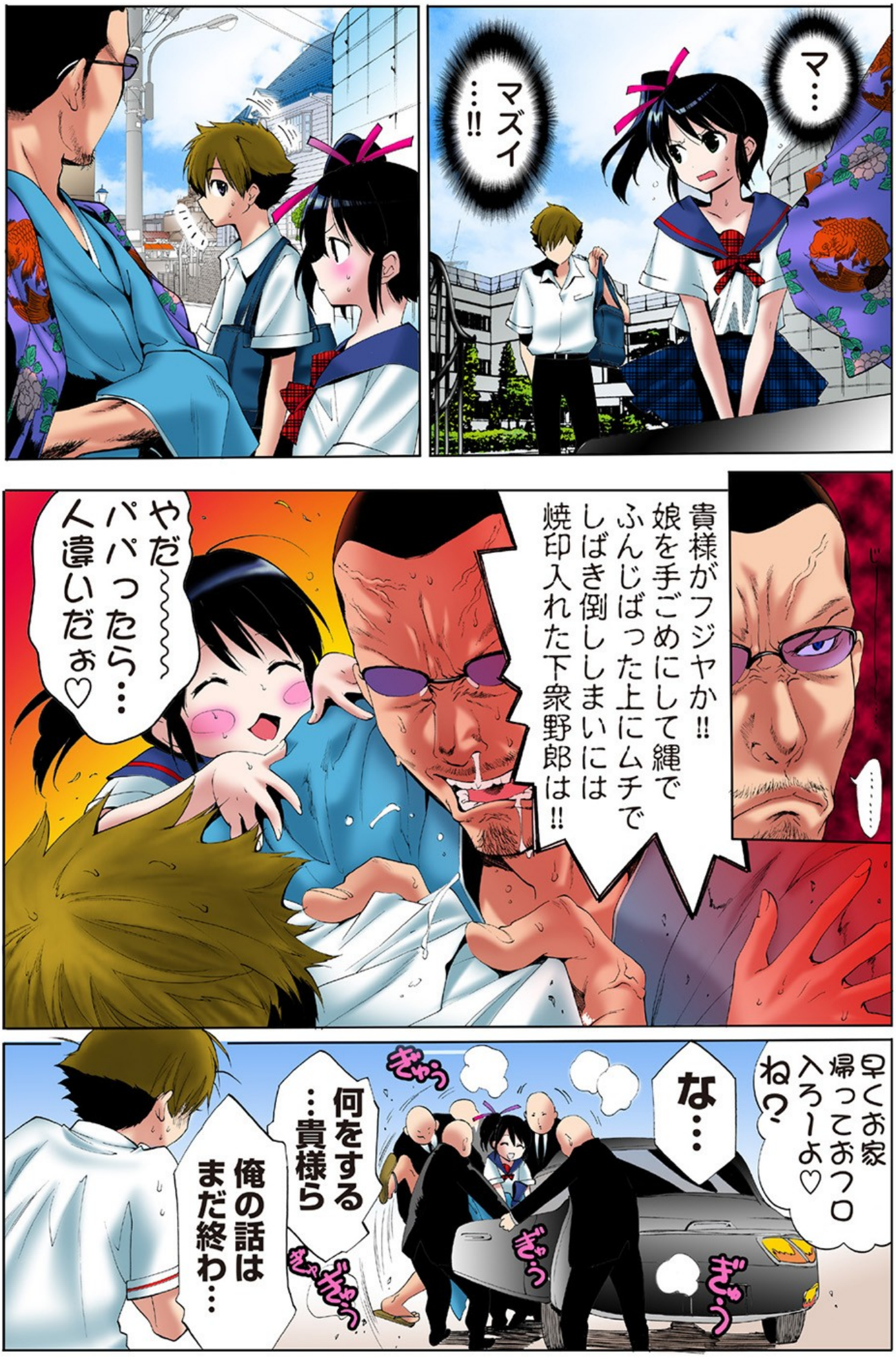

全部脱がしちゃダメだからな！後が大変なんだから
最近付き合い始めた同じクラスのいちこでも彼女と僕の間には重大な問題を抱えている
ぷりん
きゃん♥
あい変わらず洗濯板だなぁ
むに
せっかく顔は可愛いのにおっぱいがいつまでたってもAカップとか――…
むに
うっうるさい!!フジヤのもみ方が下手なんだろ!?
いや重大な問題とはそんなところではなく


乳首だけビンビンで余計いやらしいけど
乳首だけはちゃんと感じるんだろ？この貧乳
そ…そんなんじゃ…ないもっ
こっちの方だってエッチするたんびに感じやすくなってるし
もうじゅるじゅるだよ
いちこのおまんまんは馬鹿正直だな


彼女と僕が抱える重大な問題とは…
じゃ…入れるよ…
うん…
問題とは…
ピンポーン
いちこおおお
迎えに来たぜい


もう下校時刻はとっくに過ぎてるぞ――～!!
そう彼女の親は重度に過保護な上に極○なんです


やっやばい早く行かなきゃ！ごめんフジヤ
ごめ～～～んパパ♥♥
おせえぞバカ娘♥
ところで最近お前にコナかけてるフジヤって野郎はどこかなぁ～～～～～？
え？


マ…
マズイ…!!
貴様がフジヤか!!
娘を手ごめにして縄でふんじばった上にムチでしばき倒ししまいには焼印入れた下衆野郎は!!
……
やだ～～～パパったら…人違いだぉ♡
早くお家帰っておフロ入ろーよ♡ね?
な…
ぎゅう
何をする…貴様ら
俺の話はまだ終わ…


公園
も～
まったく


いつまでこうやって
コソコソ会わなきゃ
いけねぇんだよ
俺ら
ご…
ごめん


……
……


さっきは
殺されるかと
思ったし…
それも
ごめん…


もういいや…
怒ってる訳じゃ
ないから…
さっきの
続きしようぜ
また時間が
なくなっちゃう


毎回毎回外でしなきゃいけないなんてサ…
しょうがないだろ他に行くトコも無いし…
あっ
さっきからお預けされてたんだからその分奉仕しろよなぁ
なんだよ…僕のせいじゃないだろォ…
パパが…ア
くちゅ…
ドクン
んふ
あっふ


もう充分濡れてるから入れるよ
ぐりゅりゅりゅ
あっあっあっあっ
いちこの腔(なか)一気に奥までささるようになったね…
じゃっ
じゃっ
じゃっ
ち○こ気持ちよすぎるよ
カサ…
カサカサ…


フフフフ…
現場を押えたぞ…やっとな！
え…なんか今パパの声が聞こえたような…
――え？
!!?
ごご
そろ
俺はここだ！バカ娘！それと娘をたぶらかす糞虫野郎！
さあ――～そういう事か説明してもらおうか！娘を傷モノにしやっがって


貴様よくもいけシャアシャアと…
一歩前へ出ろ修正してやる
いちこお前もだ！
フジヤ!?
!!

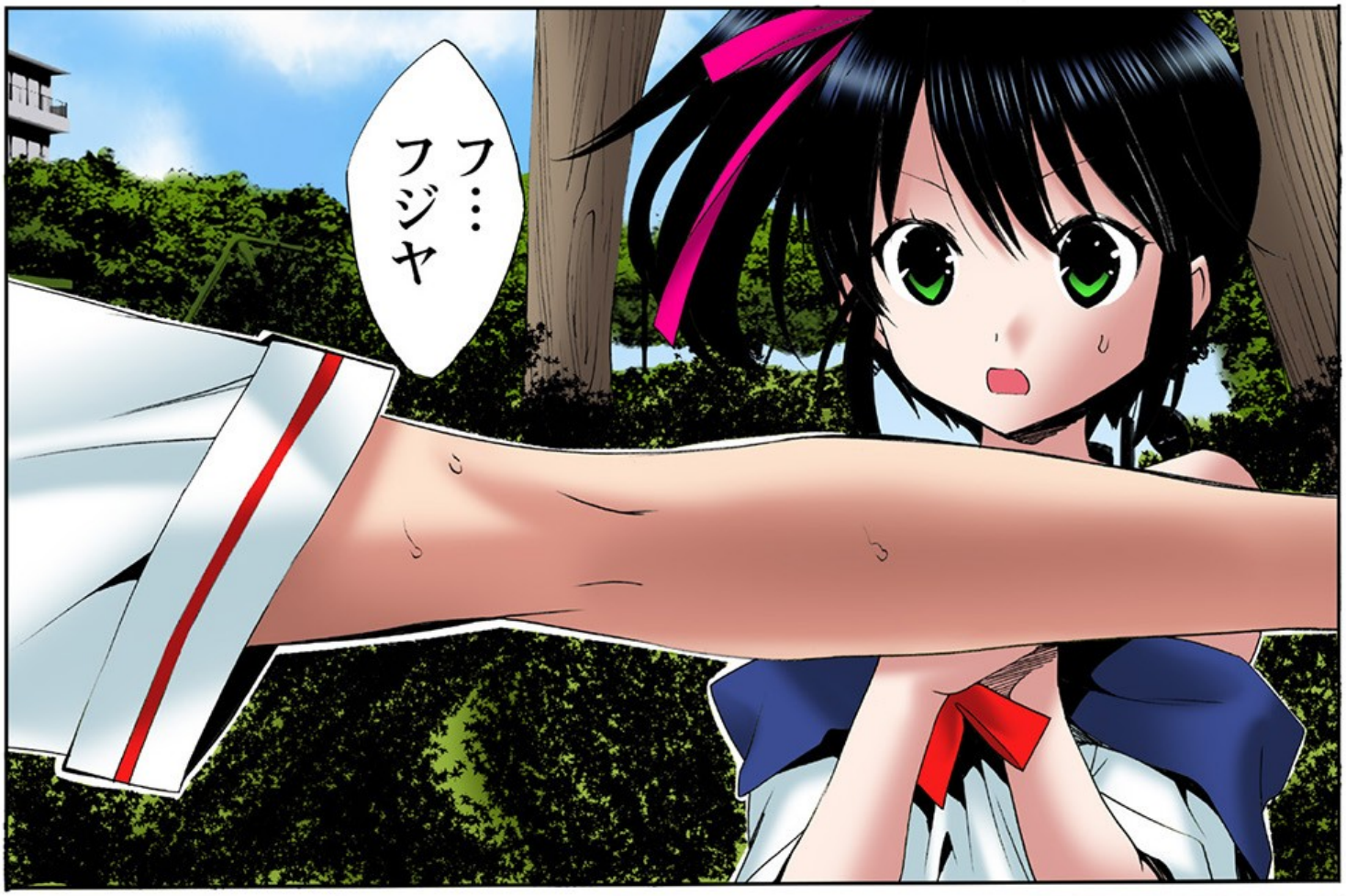
木上蘭子



おねだり

娘おすめ

第４話


フ…
フジヤ


俺は別にどうだっていいけど…いちこには
いちこには例え父親だって手を出させません


殴るんなら俺をボコボコにして下さい!!
フジヤ…いつもスケベの事で頭がいっぱいでチャランポランで
僕のことといっつもからかってばっかいたくせに…


どうしちゃったの!?
かっこいいよ
フジヤ!!
うるせー!!
スケベとか関係
ねェから!!!
と…
とにかく俺は
真剣に娘さんと
お…お付き合い
を
好きなんです
いちこが


ほう…
では本当に娘に
ふさわしいかどうか
確かめ
なくてはな
俺の目の前で
娘を抱いてみろ
……
えぇ――――!!?
こんな事くらいで
おじけづくようでは
娘をやれんな
やだよ!!
絶対やだ!!
馬鹿じゃないの?
ハゲジジイ!!


コラ!!
パパに向かってなんだ
バカハゲエロガッパ
とは!!
きゃ!?
ガッ
いつまでたっても
ちっとも女らしく
ならないで
そんなだから乳が
出てこないんだぞ
やあ…
パパァ…


恥ずかしいよォ〜〜
この娘の小っぱいを
大きくできるくらいの男
でなければ交際してる
意味もない
貴様も日本
男児なら
やってみせろ!!


こ…こんな状況で…しかも後ろには野獣のような生き物…
でも…でもここでやらなきゃ男がすたる
ふにゃ
——あ！
やだ!!フジヤ本気!?
ぷにぷに


しょ…
しょうがないだろ…
俺の事認めて
欲しいし…
パパの前なんて
絶対やだあぁ
くいっ
どうしよう…
パパの前なのに
感じてきゃう！


ぱか♡
うわわ!!
何するのォ エロゴリラ眼鏡 パパにこんな姿…
大丈夫だもん 父の位置からは見えないもん
ほうううぅ 一人前に感じているようだな
ズキン


こ…こんな目の前でいちこのおま○こ見たことないかも…
ズキン!
ズキン!
女の子のおま○こって意外と小さかったんだな…
ズキン!
ええい!!もうなるようになれだ!!!
ぐぐん
いちこ…もう待てない…!

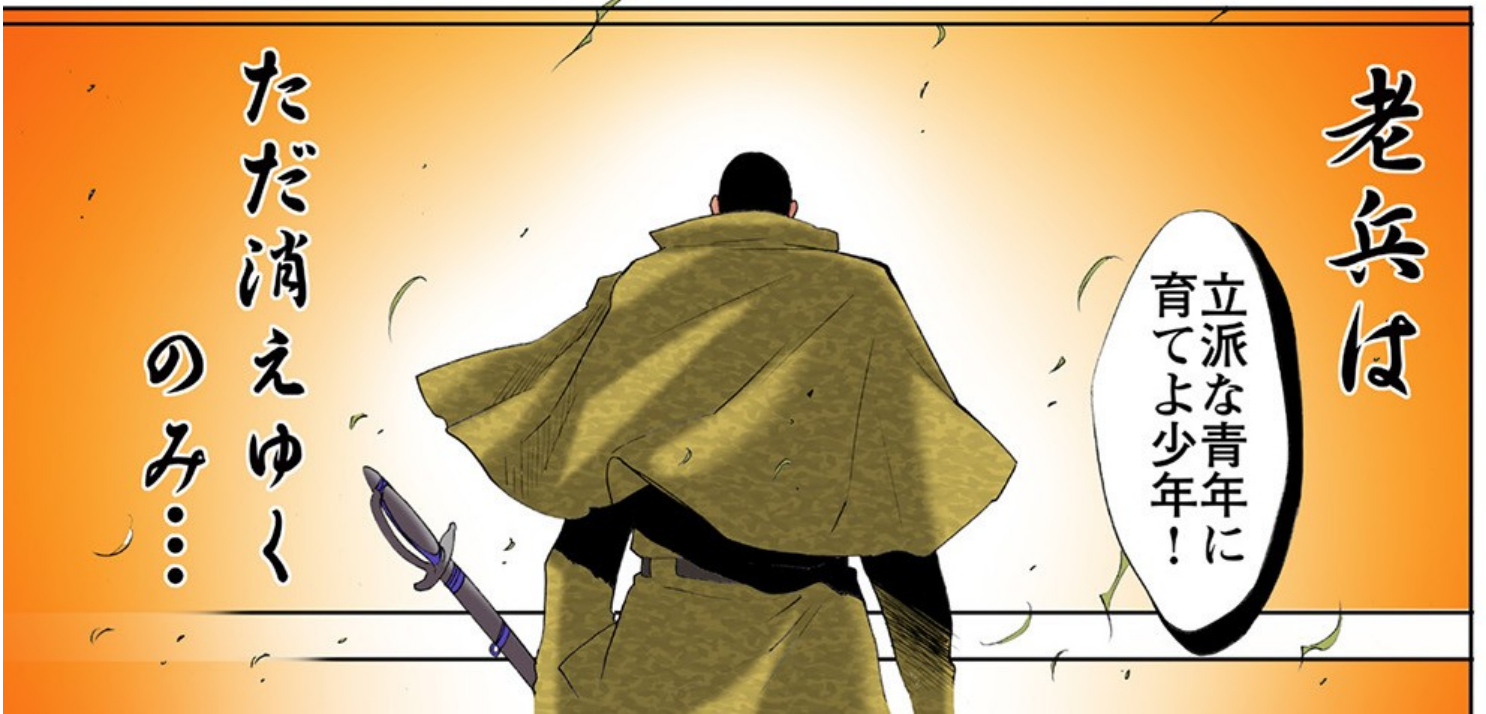

指でしたりしなくても充分濡れてるからいいよね?
!
くぁっっっ
ぬぶぶぶ
ぶ
あああああ

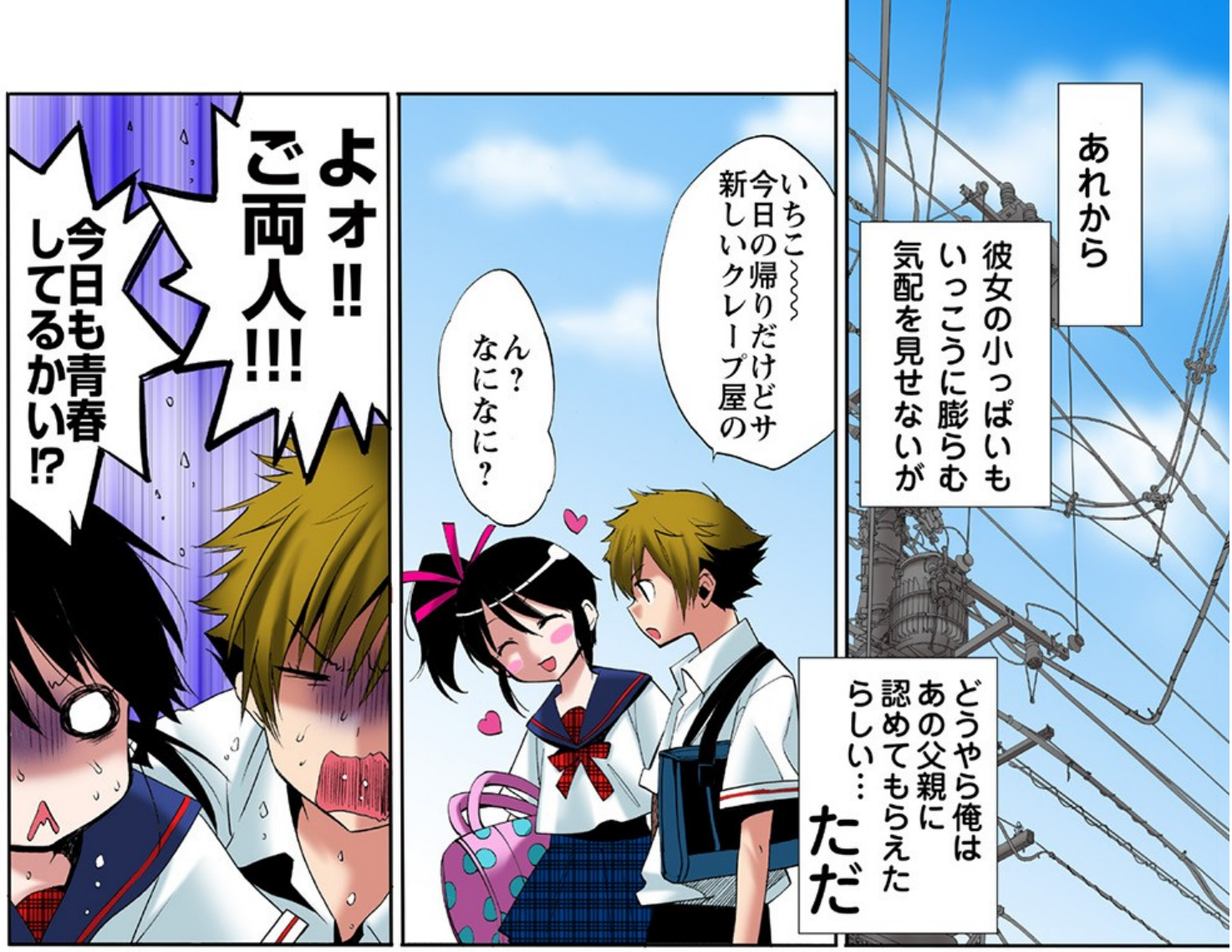

いちこの中
いつもよりも
ビクンビクン動いてて
やばいよ…
へ…あっ
アー…あふ
ち○こが吸引
されてる…！
ブプ
ブジュ
ブプッ
ブプ
あっ
アー…あう
……
……
娘がこんなにも
もだえるとは…
なかなかやるな
少年
ああ…
どうしようこのまま
すぐイッちゃいそう…
今日ずっと
寸止めで我慢
してたし…
にちゅうう…
にちゅる…
俺ー…


男ならその熱くたぎったモノをぶちまけてみろ！
さあ！
ビックン
!?
ビックン
ビクン
やだあ赤ちゃんでき…
いちこ孕んで俺のミルクで！
んんんんんんーーー
おま○こ孕ませてあげる
ドピュ…
ゴプッ
ゴポ…


いちこ！ 俺はいつも確かにエロイ事で頭がいっぱいで貧乳なお前には悪いけどパイズリが夢だ！
でも
いちこの事真剣に好きだから


だからお父さん
あれ…お父さん？
パパ？


老兵は
立派な青年に育てよ少年！
ただ消えゆくのみ…


あれから
彼女の小っぱいも
いっこうに膨らむ
気配を見せないが
どうやら俺は
あの父親に
認めてもらえた
らしい…
ただ
いちこ～～～
今日の帰りだけどサ
新しいクレープ屋の
ん？
なになに？
よオ!!
ご両人!!!
今日も青春
してるかい!?


ただ前よりも
状況は更に悪化
したような…
おお～～～♡
この甘い食い物
うまいなあああ
ガブ
ガブ
ガブ
やだ～～～
パパそれ
クレープっていうの
紅食ってるよ♡
クレープ
彼女とのデートに
毎回毎回ついてくる
この迷惑行為
なんとかしてくれ～～～

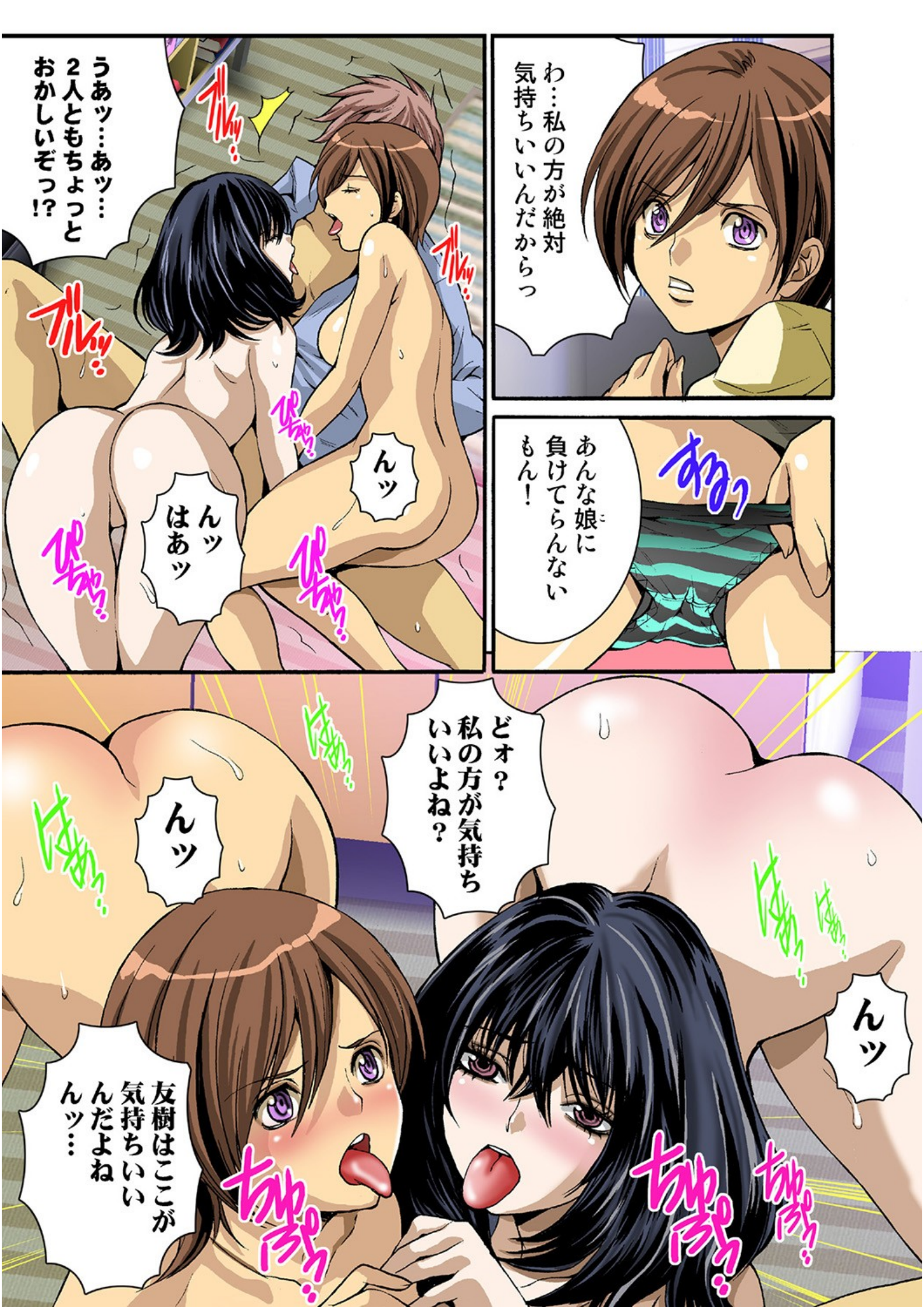

尾山泰永
第49話
イケない初体験


友樹っ
その娘と
何してたのッ!?
ヒカル…っ
これは…っ
何してたかは
大体想像つく
けどね!
これにはワケがあるんだって


この様子を見れば
誰だってすぐ
わかるでしょ?
友樹はあなた
なんかじゃなくて
私の方を
選んだって事!
ちょっ…
何なのォ!
その娘と友樹は一体
どういう関係なのよ!
今まで見た事もない
んだけど!
この娘は密花ちゃんって
いって近所の子だよ
小さい頃から
知ってて昔は
よく遊んでたんだ
そ…だから
私の方が付き合いは
長いんだから


子供の頃の付き合いなんて関係ないでしょ
もしかして自信が揺らいじゃった？
くっ…
そんな怒るなってヒカル…なっ
何そんなに動揺してんの？
あーマジちょームカツクゥッ
ふふっ…
あんたなんかに負けるなんて思ってないから！
あっそ！


じゃあ友樹に決めてもらおうよ！ね…いいでしょ？
ザッ
えっ…!? どうやって!?
ちゅぱっ ちゅぱっ
んッ
どっちとHすると気持ちがいいかですぐわかるでしょ？
はぁっ はぁっ はぁっ
ええっ…!? そんなんでエっ!?
もう答えは…出てるんじゃない？こんなになってるし
ぎゅ
うあっ
あぁっ!? 何勝手に決めて始めちゃってんのォっ!?
ちょ…っ 密花ちゃんっ
ガクッ
んッ


わ…私の方が絶対気持ちいいんだからっ
あんな娘に負けてらんないもん！
うあッ…あッ…2人ともちょっとおかしいぞっ!?
ブルッ
ブルッ
ブルッ
んッ
んッはあッ
ぴちゃっ
ぴちゃっ
ぴちゃっ
どオ？私の方が気持ちいいよね？
んッ
友樹はここが気持ちいいんだよねんッ…
んッ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ


私だって気持ちいい場所わかるもんっ…ここでしょ
ここだよねっ友樹ィッ…
どっちがしてるのかわかんないってば…
じゃあ2人で違う事すればわかるわよね
あ！それ名案!!
うわぁ勝手に2人で決めてるしィ…っ
はぁっ…はぁっ…
んッ…ヒカルッもうこんなに熱く…
だってエッ…友樹の…欲しくてたまんないんだもんんあッ…
はあっ…あッいつもより感じるの何でエッ…
ねエッ…私の中の方が気持ちいいよね…っんんッ…
うあッ


うぁッ…あッ
すごいイイッ…
ちゅぱっ
ちゅぱっ
んッあッ
…何よもォっ
見せつけてくれる
じゃない！
あッ
ビクッ
私の方がイイに
決まってるん
だから
うあッ
ああッ…
友樹のが中で
大きくなった…
もォっ!!
ビクッ
んッ
んくッ
友樹の事を
考えると
こんなにいっぱい
濡れちゃうん
だからッ
ビクッ
ビクッ
密花ちゃんのも
こんなに熱く
なってるッ
ブチュッ
ブチュッ
ブチュッ


私の方がイイでしょねェッ…あッ
ああッ
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ブギュルッ
ブギュルッ
私の方がイイわよね！
ブギュルッ
ブギュルッ
んあッ


とか言って私のク○すごい激しく舐めてるじゃない…友樹ッ!!
はあんッ
ずぬっ
ずぬっ
ずぬっ
私のなんて奥まで激しく突き上げてるもんねッ!!
ヒカルが腰を動かしてるじゃん
こうなったら…交互に味わってもらうしかないわね！
また勝手に何でも決める〜〜〜ッ!!


交互って…利き酒とかじゃないんだから…
あッ
あぁんっ早く試してみてよォっ…
はぁ…
はぁ…
うあッ…あッ…さっきより熱くて気持ちいいっ
ブルッ…
ブルッ…
はあ…っあッ…やっぱり私の中は…気持ちいいでしょ？んッ
グッ…
グッ…
あッ
グッ…
グッ…
はあんッ次は…私に入れてよオっ…
ずぶ
ずぶ
うあッ…あッヒカルの中すごい締めつけてくるウッ
ひあッ
グリ…
あッ
ヒクッ…
ヒクッ…
はあんッもっとしてエッ


どっちもすごい気持ちいいっ
あっ
はあんッ
ああっ…気持ち良すぎてまたワケわかんなくなってるよォっ…
あはあッ
はあんッイイッ…
友樹のビクビク脈打ってて…っ気持ち良すぎるゥッああッ
オ…オレもォイキそうッ
はあんッ
気持ち良かった方の中に出してエッあッ…
私の中に…ッ出してエッ

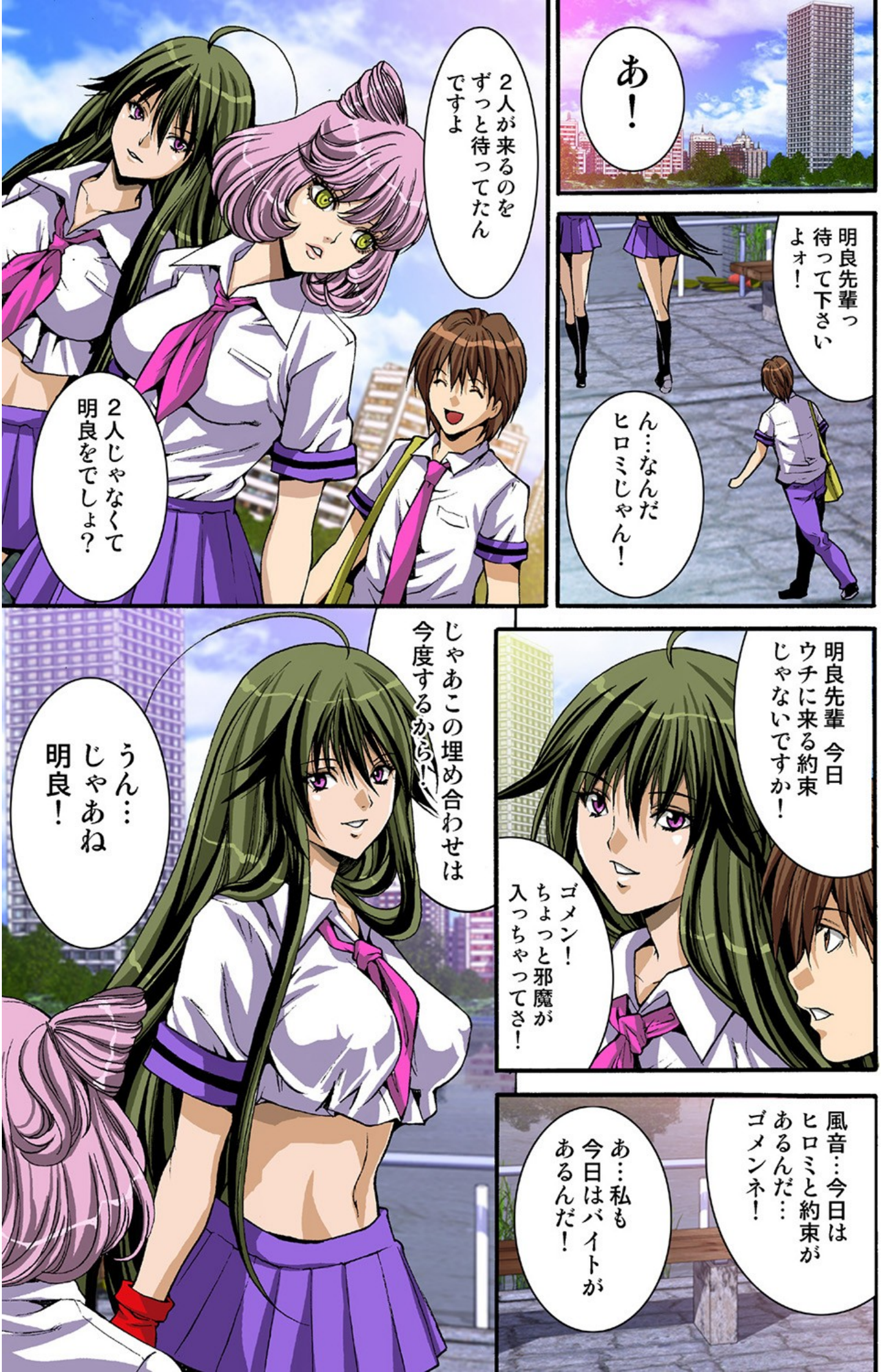

あはあッ
はあぁんッ
いっぱい
出してエッ
あはあッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はぁ…
はぁ…

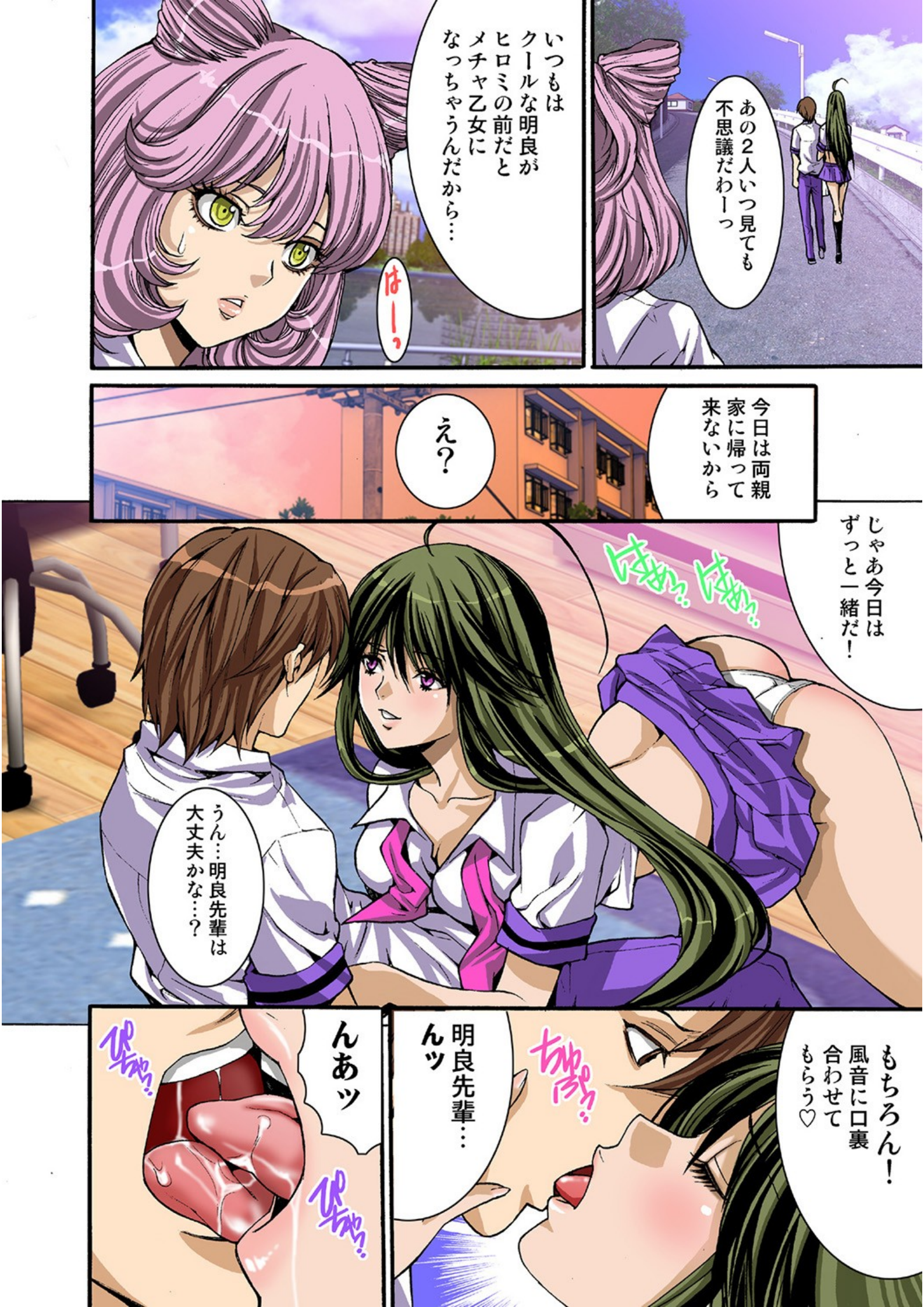

ごめん…結局
外に出し
ちゃった…
もォ～っ
じゃあ今度は
ちゃんと中に出して
早くもう一回
しよーよ！


もォ2人ともオレを解放してくれエッ
あっ…!?
ひーーっ
…何だあの男チャラい奴だな!
最近ヘンなの多いよねェっ
最近あんなのばっかで困ったもんだ!
あ…男子からこんなの預かったよ!ラブレターとか?
今時(いまどき)そんなのあんのォ?
何だコレ…果たし状!?

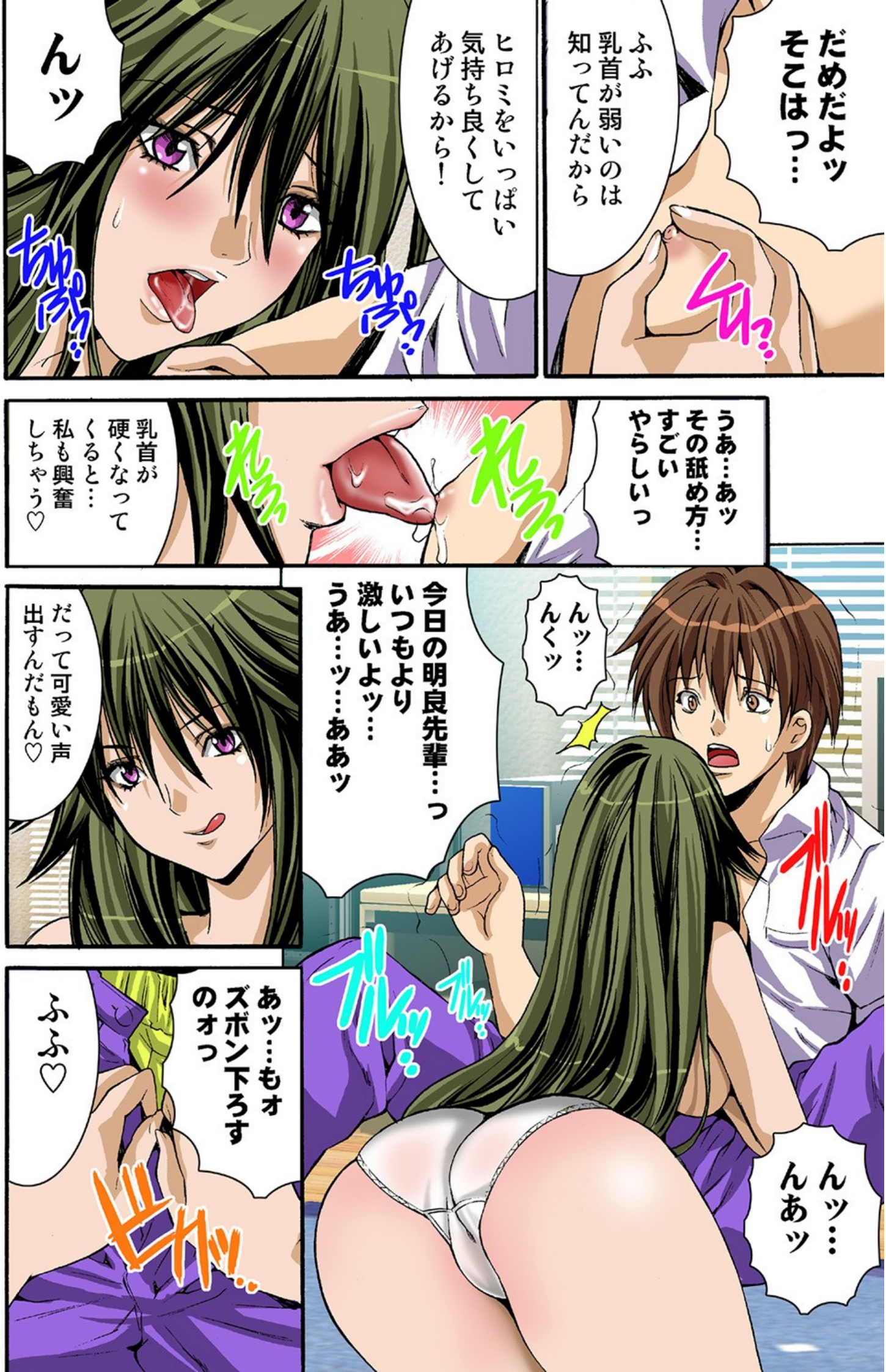

尾山泰永
初イケない体験
第50話


こんだけであたしとやろうっての？
ああ？
上等だ！らあっめエっ…そだらあっ
うっだら…おらあンのかンめエーったらぁーっ
ンぞ…！オラぁっ！
あ——っ何言ってっか全然わかんないしっ
本当にもぉっあんたらウザすぎっ
ゲシッ
らあっ!?
はぁーっ…またつまんないもの蹴っちゃったし…
ヨロ…
お礼参りはいつでも受けつけてるから♡じゃ行こっか風音！
また伝説作っちゃったね明良強すぎぃ♡


あ！
明良先輩っ
待って下さい
よォ！
ん…なんだ
ヒロミじゃん！
2人が来るのを
ずっと待ってたん
ですよ
2人じゃなくて
明良をでしょ？
明良先輩 今日
ウチに来る約束
じゃないですか！
ゴメン！
ちょっと邪魔が
入っちゃってさ！
風音…今日は
ヒロミと約束が
あるんだ…
ゴメンネ！
あ…私も
今日はバイトが
あるんだ！
じゃあこの埋め合わせは
今度するから!!
うん…
じゃあね
明良！


あの2人いつ見ても不思議だわーっ
いつもはクールな明良がヒロミの前だとメチャ乙女になっちゃうんだから…
はーっ
今日は両親家に帰って来ないから
え？
じゃあ今日はずっと一緒だ！
はぁ…はぁ…
うん…明良先輩は大丈夫かな…？
もちろん！風音に口裏合わせてもらう♡
ちゅぱっ
明良先輩…んッ
んあッ
ぴちゃっ
ぴちゃっ


今日は長い夜になるわよ♡
はぁ…はぁ…
ね…今日は大丈夫だったの？
明良先輩いつも無茶ばっかりしてるから心配だよ…
心配してくれてありがと!!でも全然問題ないって！
明良先輩は昔から僕を守ってくれてるから強いのは知ってるけどさ…
剣禅一致
わかってんじゃん！じゃあ恩人の言う事はちゃんと聞かないとね♡
はぁ…はぁ…
あっ…また自分が攻めになるのォ!?


だめだよッ
そこはっ…
ふふ
乳首が弱いのは
知ってんだから
ヒロミをいっぱい
気持ち良くして
あげるから！
んッ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
うあ…あッ
その舐め方…
すごい
やらしいっ
乳首が
硬くなって
くると…
私も興奮
しちゃう♡
れろっ
れろっ
今日の明良先輩…っ
いつもより
激しいよッ…
うあ…ッ…ああッ
んッ…
んくッ
だって可愛い声
出すんだもん♡
ブルッ
ブルッ
ブルッ
んッ…
んあッ
あッ…もォ
ズボン下ろす
のォっ
ふふ♡
ビンッ


子供の頃に比べるとかなり大きくなったわよねェっ
んあッ
ブルルッ
ブルルッ
ねっ…一緒に気持ち良くなろ♡私のも舐めてへエッ
んッ
うあッ
ああッ
ブルルッ
ブルルッ
ブルルッ
んッ
んあッ
明良先輩のすごく濡れて…パンツが透けてるッ
はあんッ…早く口でしてよォっ…
ブルルッ
んッ
んくッ
んッ
はぁあんッそこッ…すごく気持ちいいのォっ
ブルルッ
あッ


んッ
はあッ
んあッ…すごい
奥からいっぱい
溢れてくるッ
だってエッ
すごくイイ
んだもんッ


もォ…ヒロミの
欲しくて…
仕方ないのォっ
んッ
うあッ…熱くて
先がとろけそう
んッ…


はああんッ…
私の中に
入ってくるウ
ああッ…
先輩の締めつけて
くるよオっ
あんッ…中でビクビク
してるのオッ…♡
あはああッ…
はあんッ
あッ


んッ
うあッ…奥で絡みつくウッ
はあんッ
ああんッもっと下からいっぱい突き上げてエッ
その腰使いッいつもより激しくてヤバイよォっ
うあッ…
あッイイッ
だってエッヒロミのが欲しくて…腰が…勝手に動いちゃうんだもんっ


あんッ
こんなに激しいと僕…イッちゃいそォっ
だめェッ今イッたら絶対許さないからぁっ
で…でもオっうあッ…あッ…
私も…もうすぐイキそうなのォっあはあッ
イク時は一緒がイイのォッ…
んッんくッ
気丈な先輩が…僕の前だと…こんなに可愛い声出すなんて…
あッ…あッも…もオッ


うあああッ
もオ
イクウッ
はぁあんッ
私も
イッちゃううッ

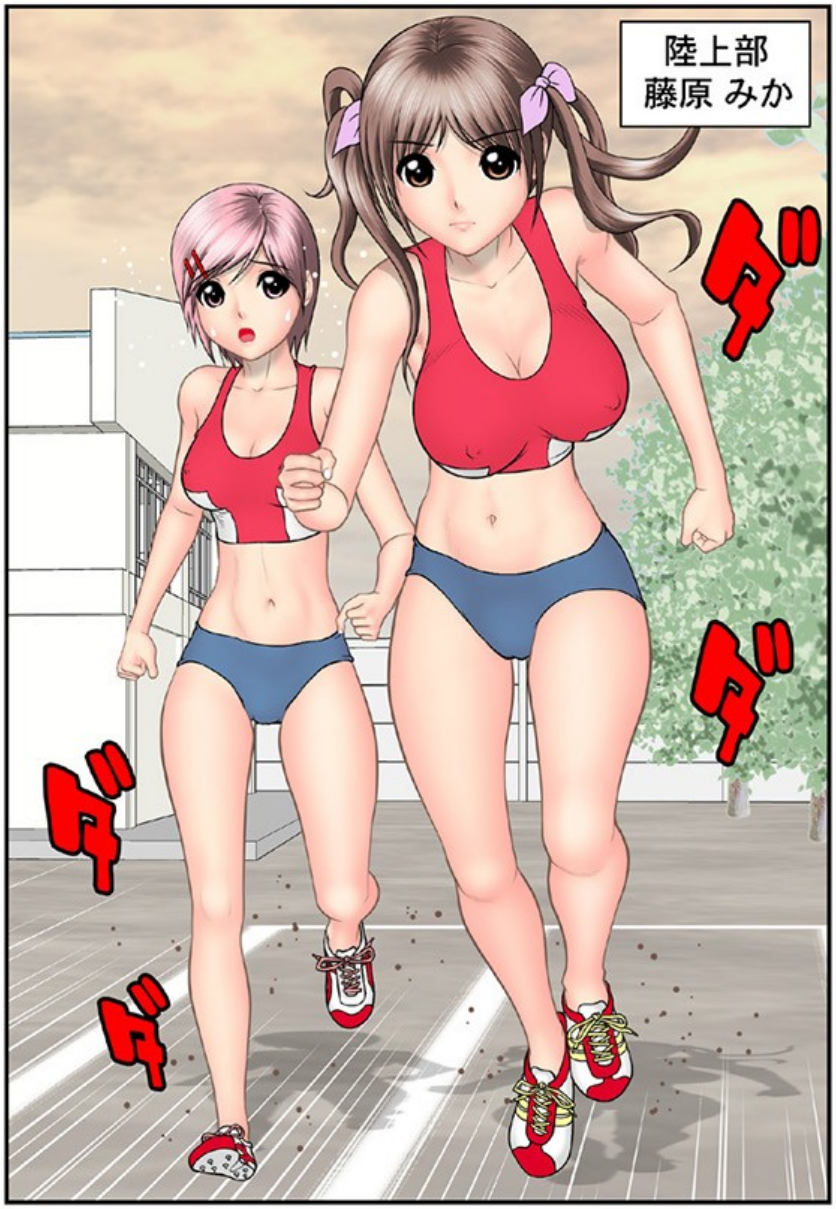

はあーっ
一緒にイケて
よかった♡
先輩…


生意気言っちゃって！
ハンパだったら許さない
から♡
もちろん！


今度は
僕が攻めです
からね！

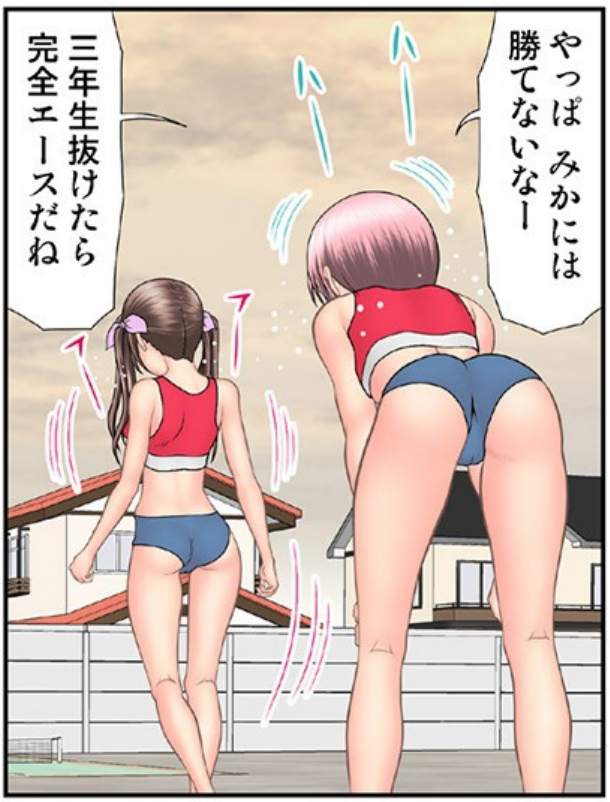

いらっしゃいませニャ
ご主人様♡
ご注文は何にするかニャ？
……
決めらんニャいかニャ？
今日のオススメはまたたびセットですニャ♡
ボクのオススメはコレなんだけど…
ええっ…これってもしかして私の!?


ヴァージンあげちゃう
第41話
栗本重治

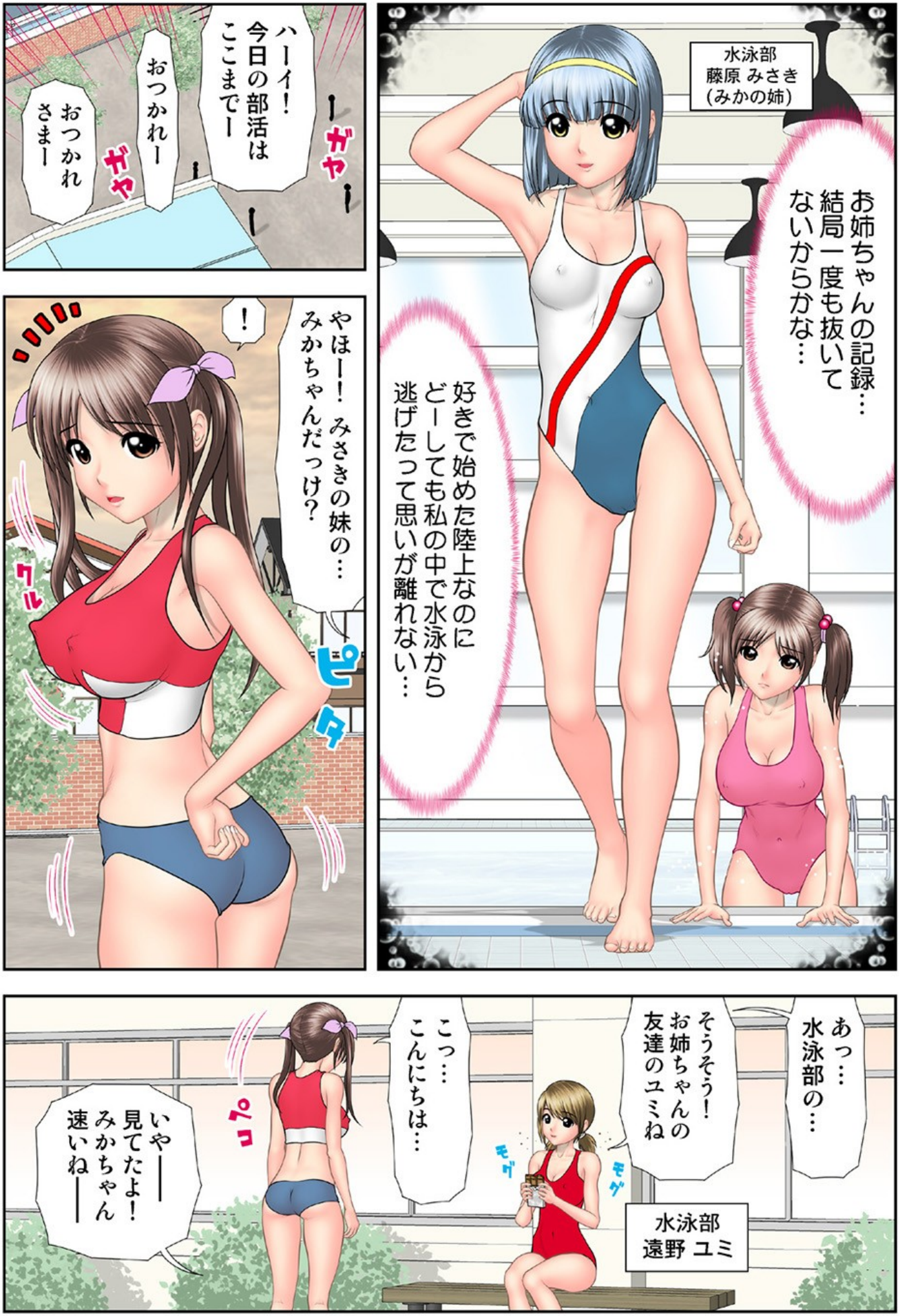

陸上部
藤原 みか
ダ
ダ
ダ
ダ

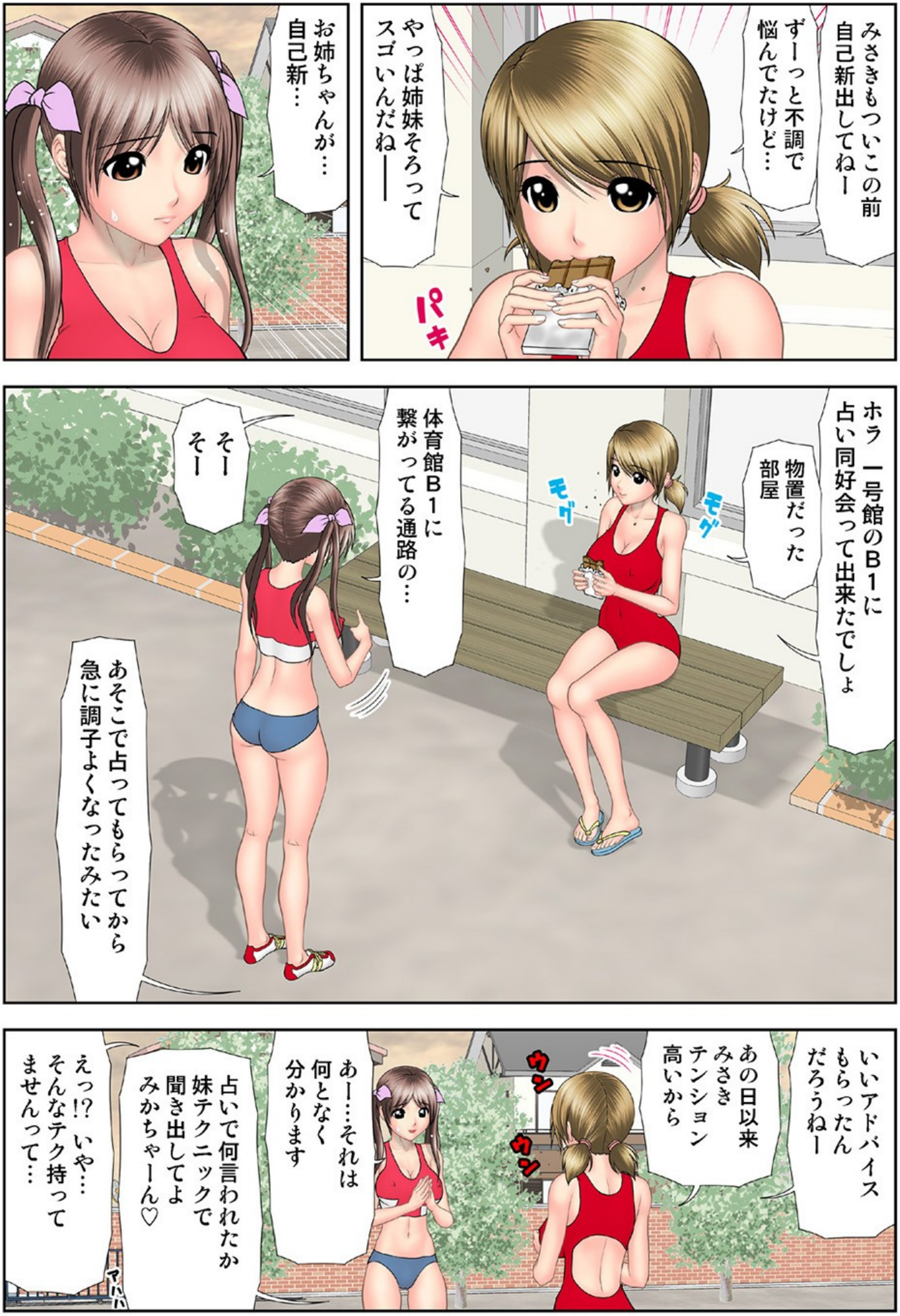



ヨーイ…
ピィッ!!


やっぱ みかには
勝てないなー
三年生抜けたら
完全エースだね


なんでだろう?…
陸上部で一番
速いって言われても…
心から素直に
喜べないのは…


水泳部
藤原 みさき
(みかの姉)
お姉ちゃんの記録…
結局一度も抜いて
ないからかな…
好きで始めた陸上なのに
どーしても私の中で水泳から
逃げたって思いが離れない…
ハーイ！
今日の部活は
ここまでー
ガヤ
おつかれー
ガヤ
おつかれ
さまー
やほー！ みさきの妹の…
みかちゃんだっけ？
！
ピタ
クル
あっ…
水泳部の…
そうそう！
お姉ちゃんの
友達のユミね
こっ…
こんにちは…
モグ
モグ
水泳部
遠野 ユミ
いや――
見てたよ！
みかちゃん
速いね――
ペロ


みさきもついこの前
自己新出してねー
ずーっと不調で
悩んでたけど…
やっぱ姉妹そろって
スゴいんだね――
パキ
お姉ちゃんが…
自己新…
ホラ 一号館のB1に
占い同好会って出来たでしょ
物置だった
部屋
モグ
モグ
体育館B1に
繋がってる通路の…
そー
そー
あそこで占ってもらってから
急に調子よくなったみたい
いいアドバイス
もらったん
だろうねー
あの日以来
みさき
テンション
高いから
ウン
ウン
あー…それは
何となく
分かります
占いで何言われたか
妹テクニックで
聞き出してよ
みかちゃーん♡
えっ!? いや…
そんなテク持って
ませんって…
アハハ

あ――
藤原さんの
妹なんだ

占い同好会

やっぱお姉ちゃんが
何言われたのか…

お姉ちゃんと
同じ占いを？

占い同好会
部長
白河 ゆう

O・K
O・K

それなりに
気になるし…

オレらの世代で
向上線がここまで
ハッキリ出てる人
めずらしいね…

これけっこう
リアルタイム系の
線でね…

そーなん
ですか…

変化しやすい
んだ…

ウン

ウン

太陽丘に向かってるし
今の感じで努力していけば
成功する線の伸び方だね

最近自分で
選択した事が
以前のものより
向いてたって
事かな

まっ…まさに…

言われた
かった
一言…

その
ものっ！

ドキ

トクン

トクン

向上線の変化
見たいから
たまに手を見せに
きてねー

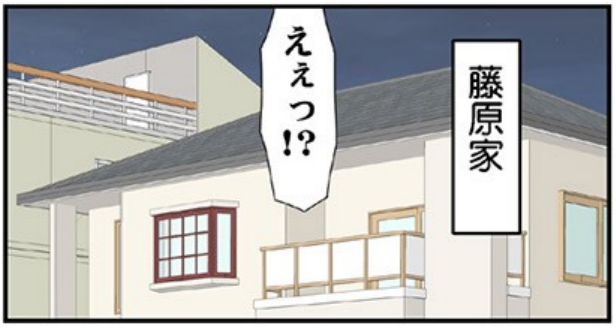
コクッ

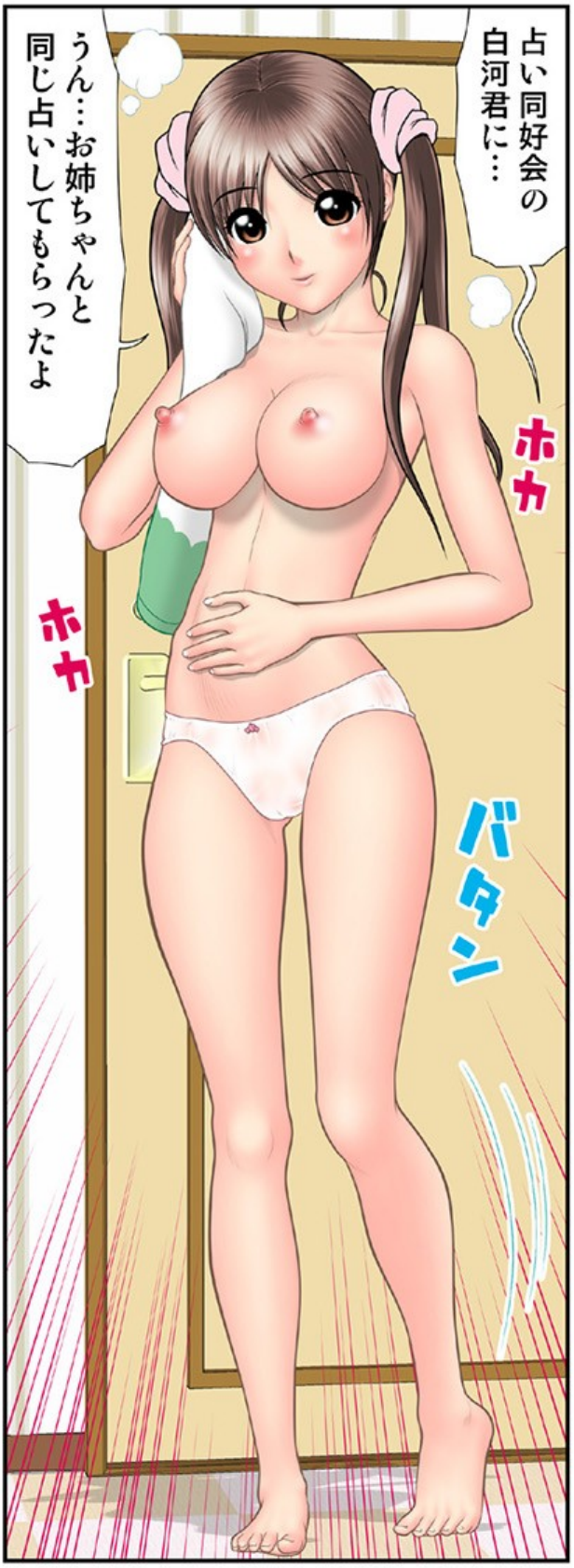
バイバーイ

あっ…はい
またお願い
しますっ

お姉ちゃんの事
聞くのすっかり
忘れてたけど…
気分がよすぎて
どうでもいい
――！

キーーン

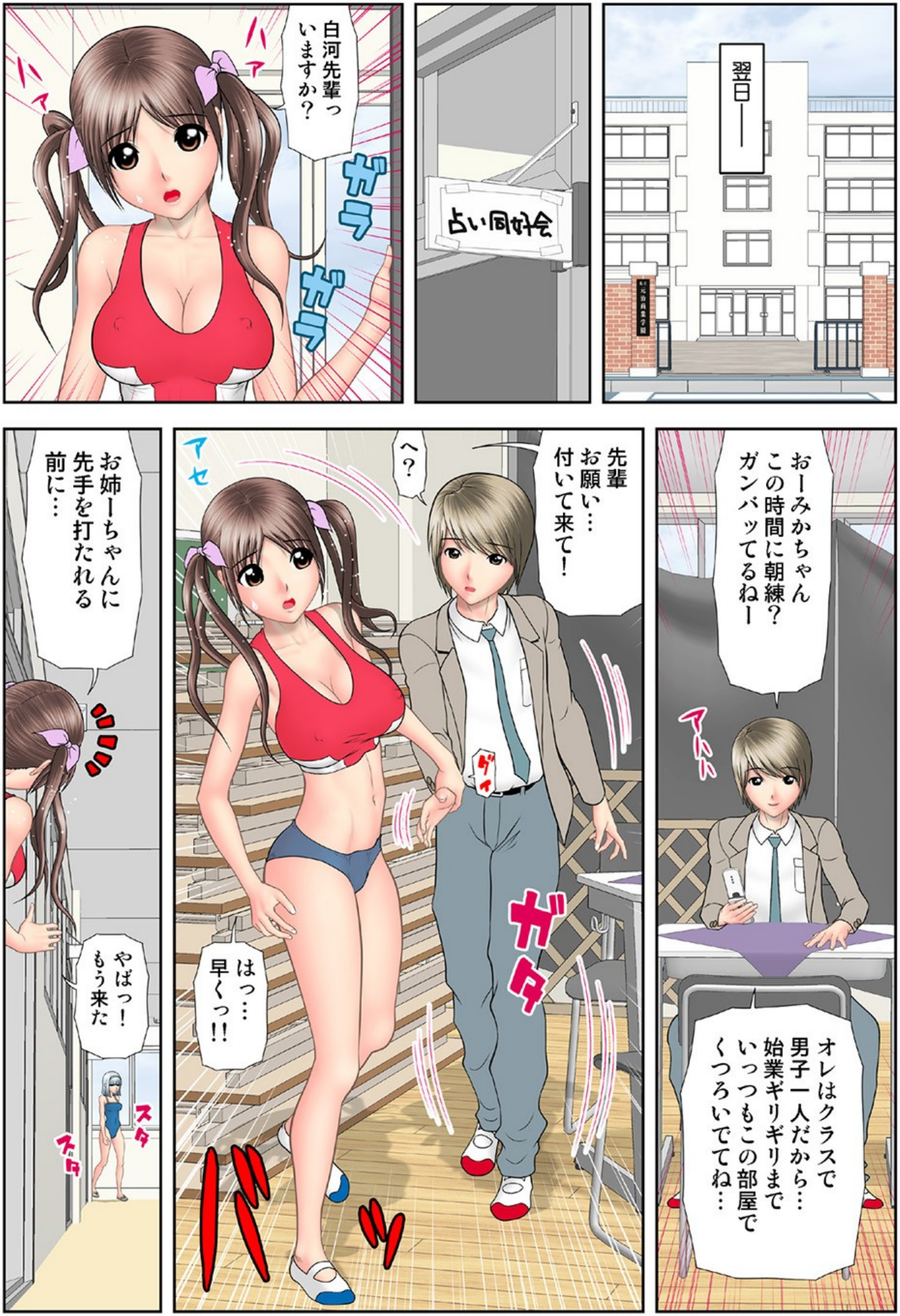

藤原家
えぇっ!?

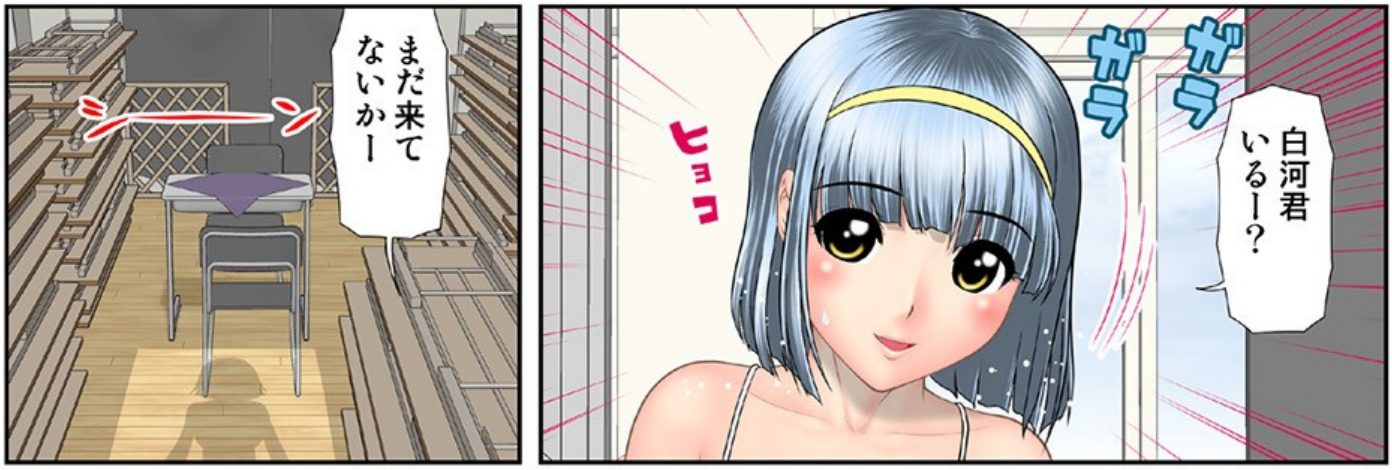

占い同好会の白河君に…
うん…お姉ちゃんと同じ占いしてもらったよ
ホカ
ホカ
バタン


あーうれしー…何度も思い出しちゃうよ…
『自分で選択した事が以前のものより向いてたって事かな』だって♡
ウットリ
ドキ
ドキ

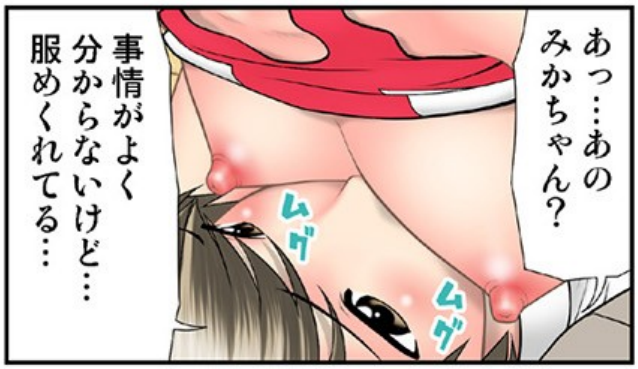

同じ占いって…みかっ!?
みかもその…白河君と…その…関係しちゃったの?
バッ
シ
ガ


関係って?…そりゃ占いはしたけど…
あっ…あれー
カァアアア
?
何なの? お姉ちゃん…何を言ってるの?…


翌日――
占い同好会
ガラ
ガラ
白河先輩っ
いますか？
ハア
ハア
オレはクラスで
男子一人だから…
始業ギリギリまで
いっつもこの部屋で
くつろいでてね…
アトト
おーみかちゃん
この時間に朝練？
ガンバッてるねー
アセ
へ？
先輩
お願い…
付いて来て！
ガタ
はっ…
早くっ!!
バッ
お姉ーちゃんに
先手を打たれる
前に…
シーン
やばっ！
もう来た
スタ
スタ

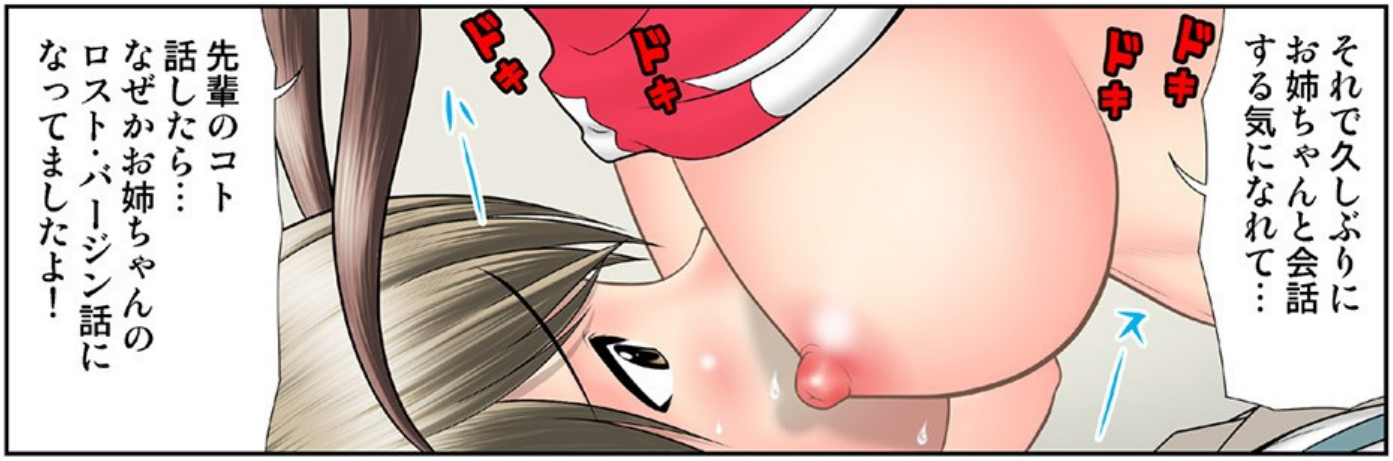

白河君いるー？
ガラ
ガラ
ヒョコ
まだ来てないかー
ミーーーン

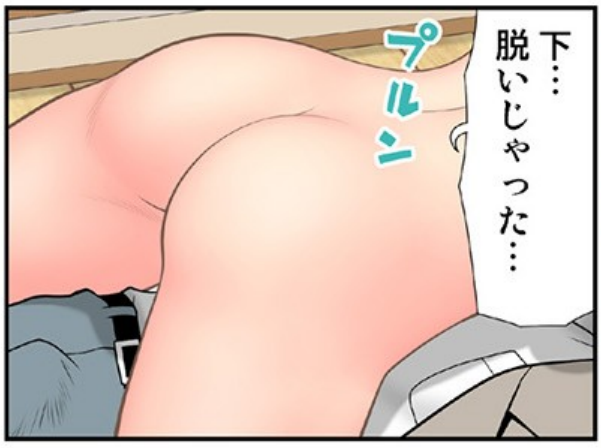

ガラ
ガラ
失礼しましたー
パタン
ドキ
ドキ
ミーーーン

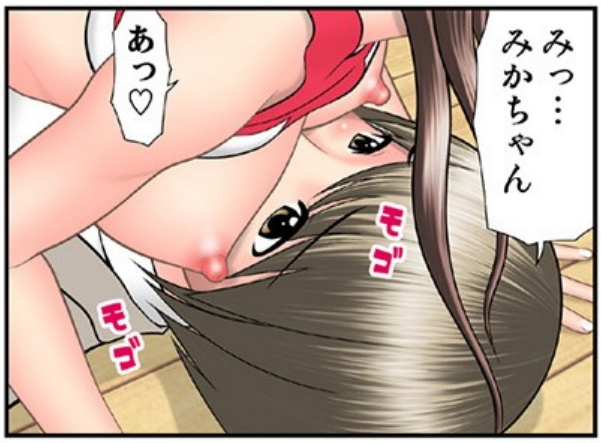

あっ…あのみかちゃん？
事情がよく分からないけど…服めくれてる…
ムグ
ムグ


聞きましたよ先輩…
お姉ーちゃんとエッチなコトしたでしょ…
ハァ
ハァ
ムク
ムク


私…水泳やめて陸上選んだ自分にどーしても逃げたんだって思いが消せなかったんだけど…
昨日の先輩の言葉でモヤモヤしてた気持ちがパァーって…スッキリしたの
ハァ
ハァ

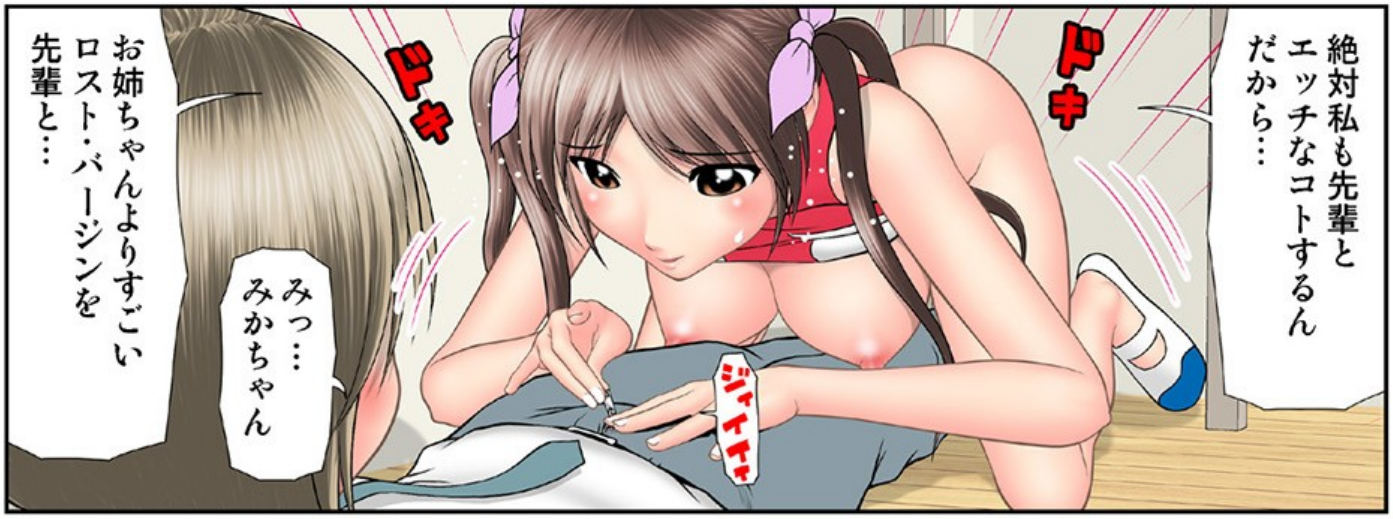

それで久しぶりにお姉ちゃんと会話する気になれて…
ドキ
ドキ
ドキ
ハー
先輩のコト話したら…なぜかお姉ちゃんのロスト・バージン話になってましたよ！


下…脱いじゃった…
プルン


みっ…みかちゃん
あっ♡
モゴ
モゴ


私…お姉ちゃんと差を付けられるの…すごく嫌なんです
ドキ
ドキ
シュル
シュル


お姉ちゃんは…私がどういう行動に出るか分かってるから…
ハァ
ハァ
ドキ
ドキ
今朝はお姉ちゃんが忠告に来るより先に先輩に会う必要があったの…


絶対私も先輩とエッチなコトするんだから…
ドキ
ドキ
ジィィィ
みっ…みかちゃん
お姉ちゃんよりすごいロスト・バージンを先輩と…


お姉ちゃん…先輩のさすったって言ってました…
キュッ
うっ!…


そこまで話してるんだ…
アハハ
ホントだ!?熱い…ここ
ハァ
ハァ


チュッ

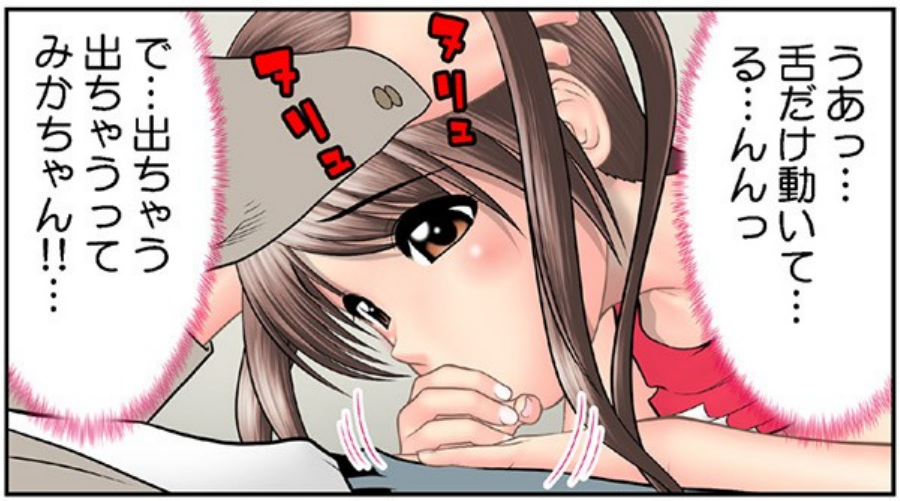

お姉ちゃんが手なら…私は口
チュブ
チュブ
ンク
ンク
うわっ
みかちゃん…


パタ
パタ
パタ


あの…やり方
ググっただけなので
変なトコあったら…
チュプ


うっ…動いちゃ
ダメだ…
みかちゃん…
シク…
チュプ


占い同好会
副部長
佐藤 景子
白河ァ君！
あれェ…
ガラ
ガラ
いない…


うあっ…
舌だけ動いて…
る…んんっ
クリュ
クリュ
で…出ちゃう
出ちゃうって
みかちゃん!!…


今日は
もう教室
行ってるの
かな？

そろそろホームルーム始まるし

ガラガラ

パタン

ビク

!?

ビュク

シュー

シュー

シュク

ビュク

ビュク

ビュク

パタ パタ パタ

あっ…

あ――

ゴメン…

出ちゃってる

こんなタイミングで

……

気持ち…

よすぎる…

ハー

ハー

ビク

ビク

先輩…

ホームルームどうします？

ハァハァ

チュパ

みかちゃんがよければ続けたい…

キーン

コーン

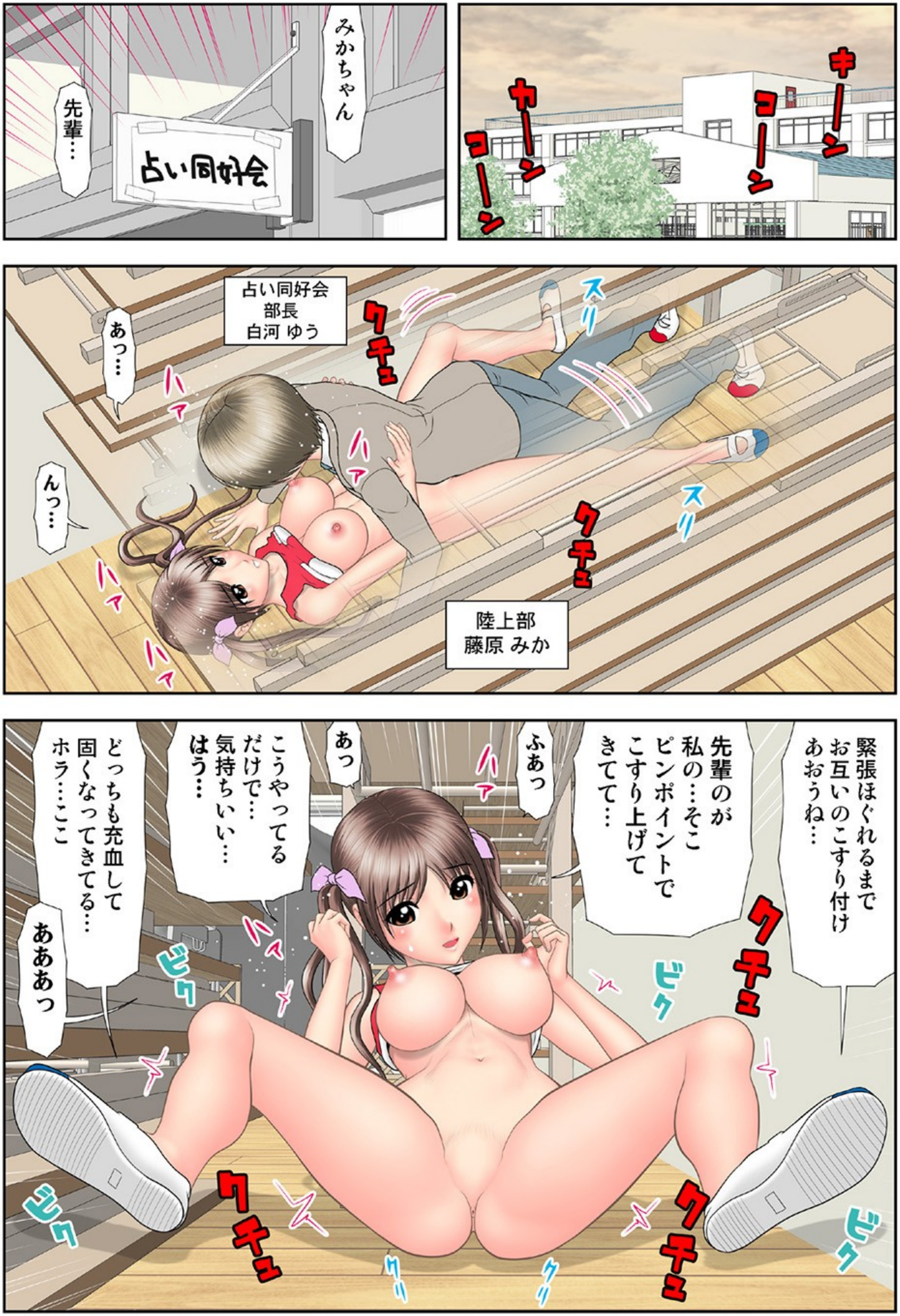
カーン

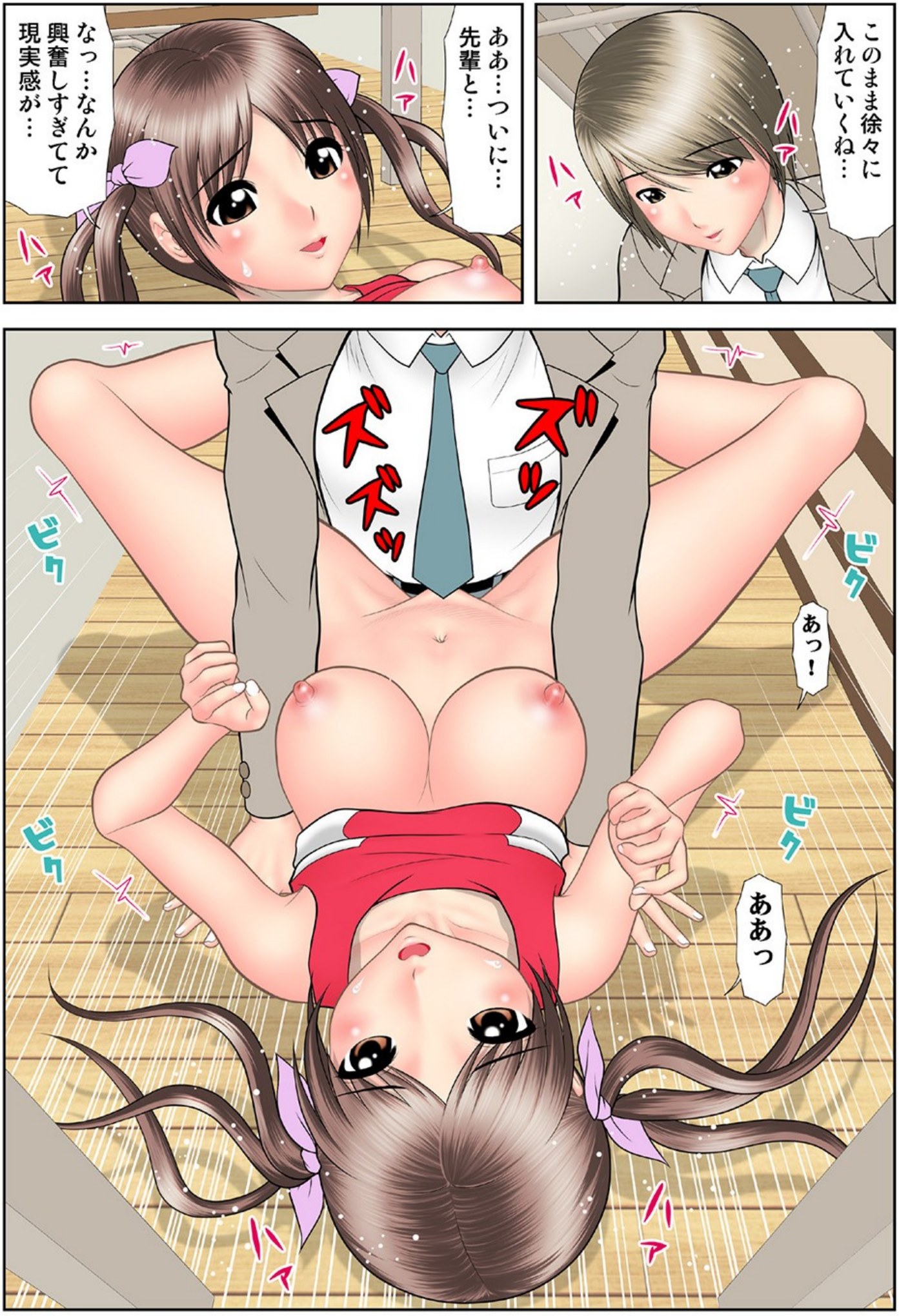
コーン

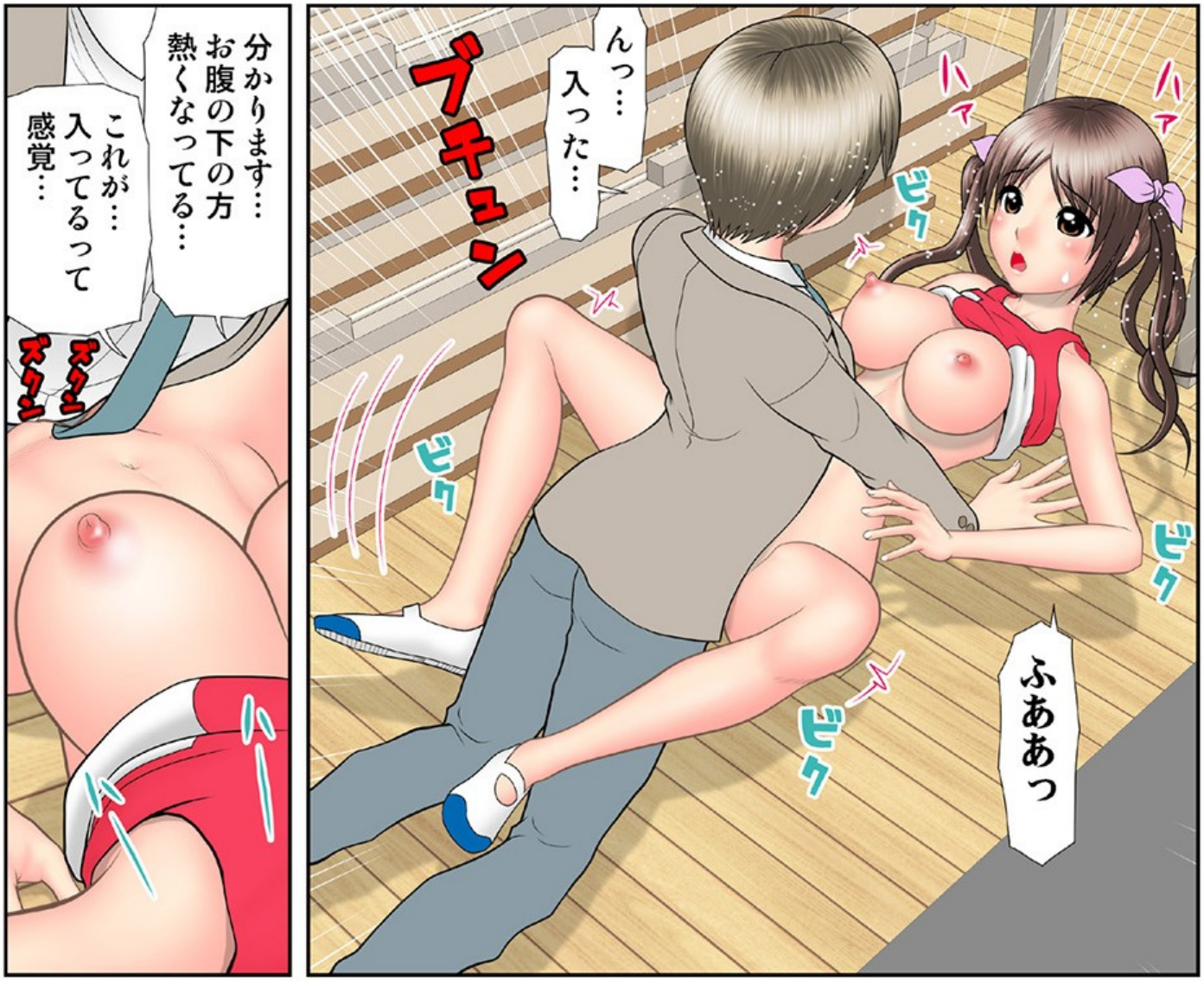
よかった…

私は当然先輩とお姉ちゃんの関係以上になれるまで…

やめる気なんか無いですよ♡


キーン
コーン
カーン
コーン
みかちゃん
先輩…
占い同好会
占い同好会
部長
白河 ゆう
陸上部
藤原 みか
あっ…
んっ…
スリ
クチュ
ハァ
緊張ほぐれるまで
お互いのこすり付け
あおうね…
先輩のが
私の…そこ
ピンポイントで
こすり上げて
きてて…
ふあっ
あっ
こうやってる
だけで…
気持ちいい…
はう…
どっちも充血して
固くなってきてる…
ホラ…ここ
あああっ
ビク
クリ


このまま徐々に入れていくね…
ハァ
ハァ
ああ…ついに…先輩と…
ハァ
なっ…なんか興奮しすぎてて現実感が…
ハァ
ズッ
ズズッ
ビク
ビク
あっ！
ビク
ビク
ああっ
ハァ
ハァ


ふああっ
ハァ
ハァ
ビク
ビク
ビク
ビク
んっ…
入った…
ブチュン
分かります…
お腹の下の方
熱くなってる…
これが…
入ってるって
感覚…
ズクン
ズクン


あの…先輩が
気持ちいいように
動いて下さい…
ハァ
ハァ
ビク
ビク
ニュブブ
私が初めてだからとか
そーゆーコト気にせず
ガンガンと…


みかちゃんはそれで痛みとか大丈夫？
あの…私…人に気を遣われると…集中できなくなるタイプで…その
ブチュ
ブチュ


オレのペースで動いた方がいいわけね…
それでもあまりに痛かったら言ってね


私…痛みにはけっこー強いですよ


あっ
ふあっ
あああ
パン
パン
パン

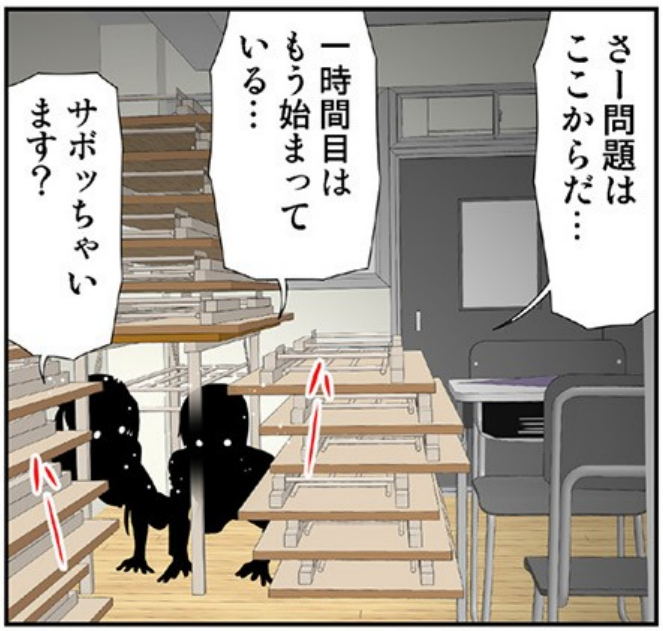

圧迫感はあるけど…痛くないっ
ああっ
先輩が突く度に…頭の中…真っ白に……あああ
あっ…
パン
パン
パン
パン
ビク
ビク
ハァ
ハァ
いいっ…


先輩…私…初めて…
なのに…あっ変なんですっ…これ…自分でいじってイク時と…
うあっ
ビク
ビク
ハァ
ハァ

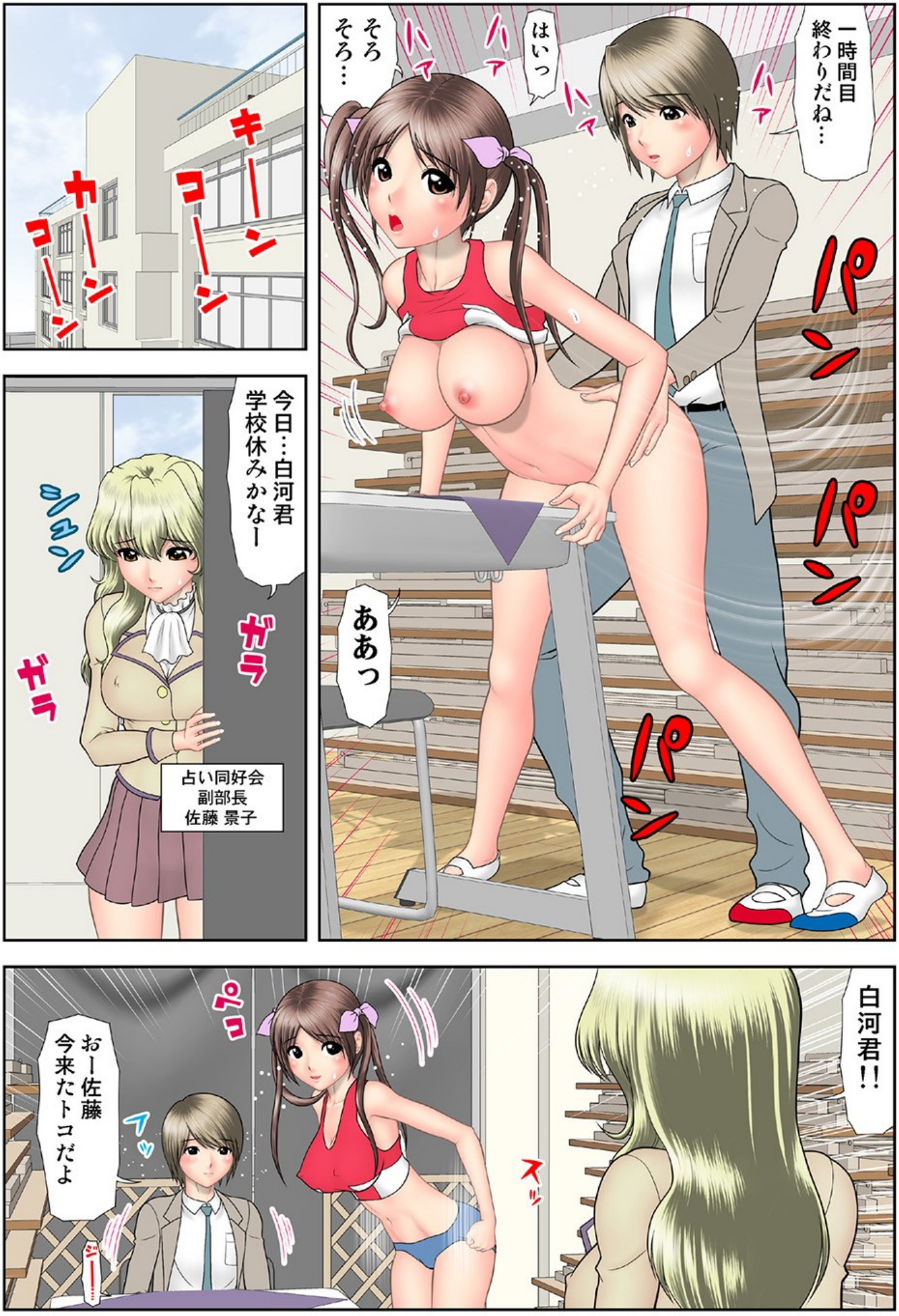

あっ…
やっ…ダメ…
パン
パン
パン

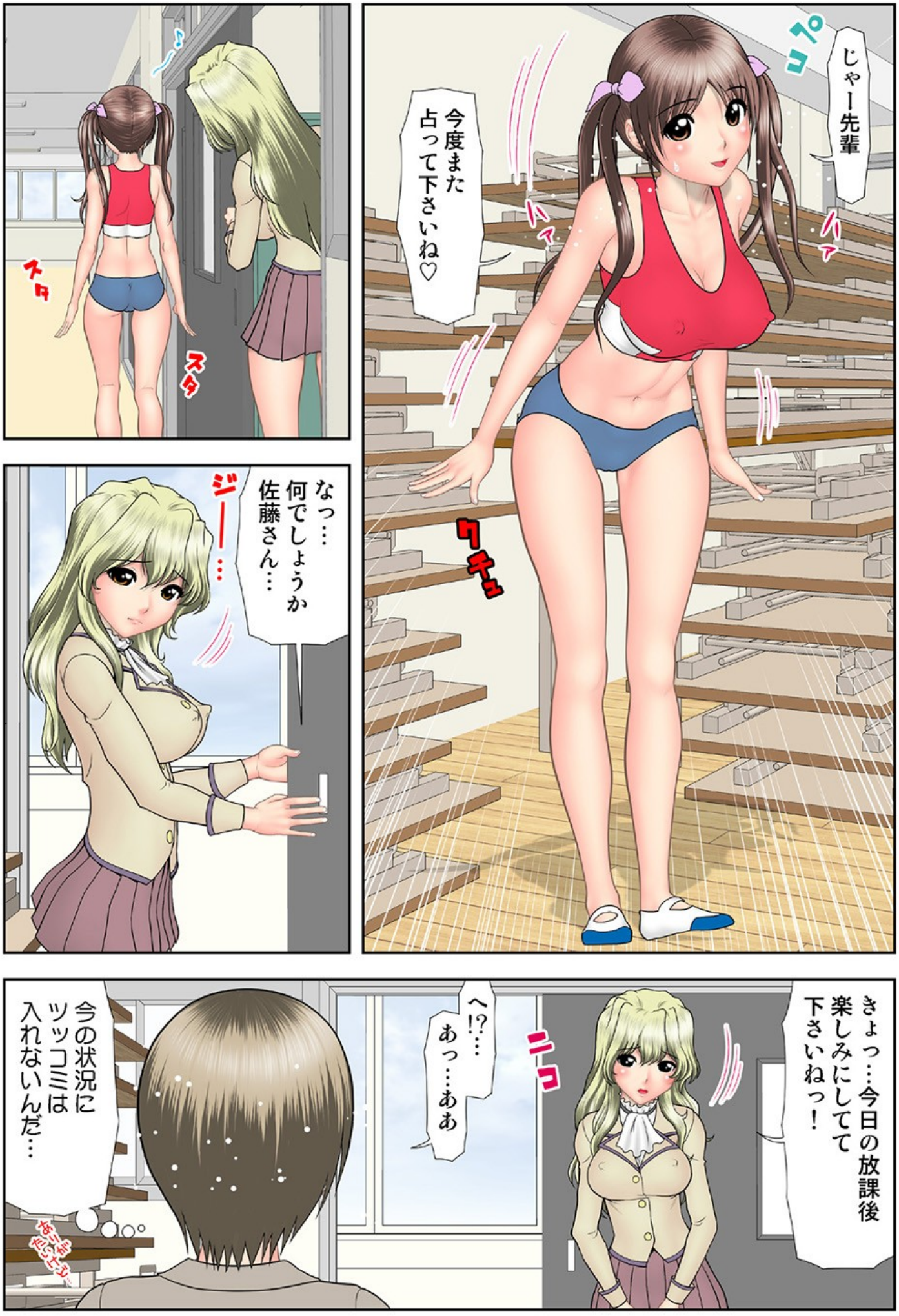

一緒の感じ…
やっ…コレ…
イッ…
イク…
先輩っ…私…
イッちゃいます
〜〜〜!!
あああ〜
ビク
ビク
ビク
ビク
ビュク
ビュク
ドピュ

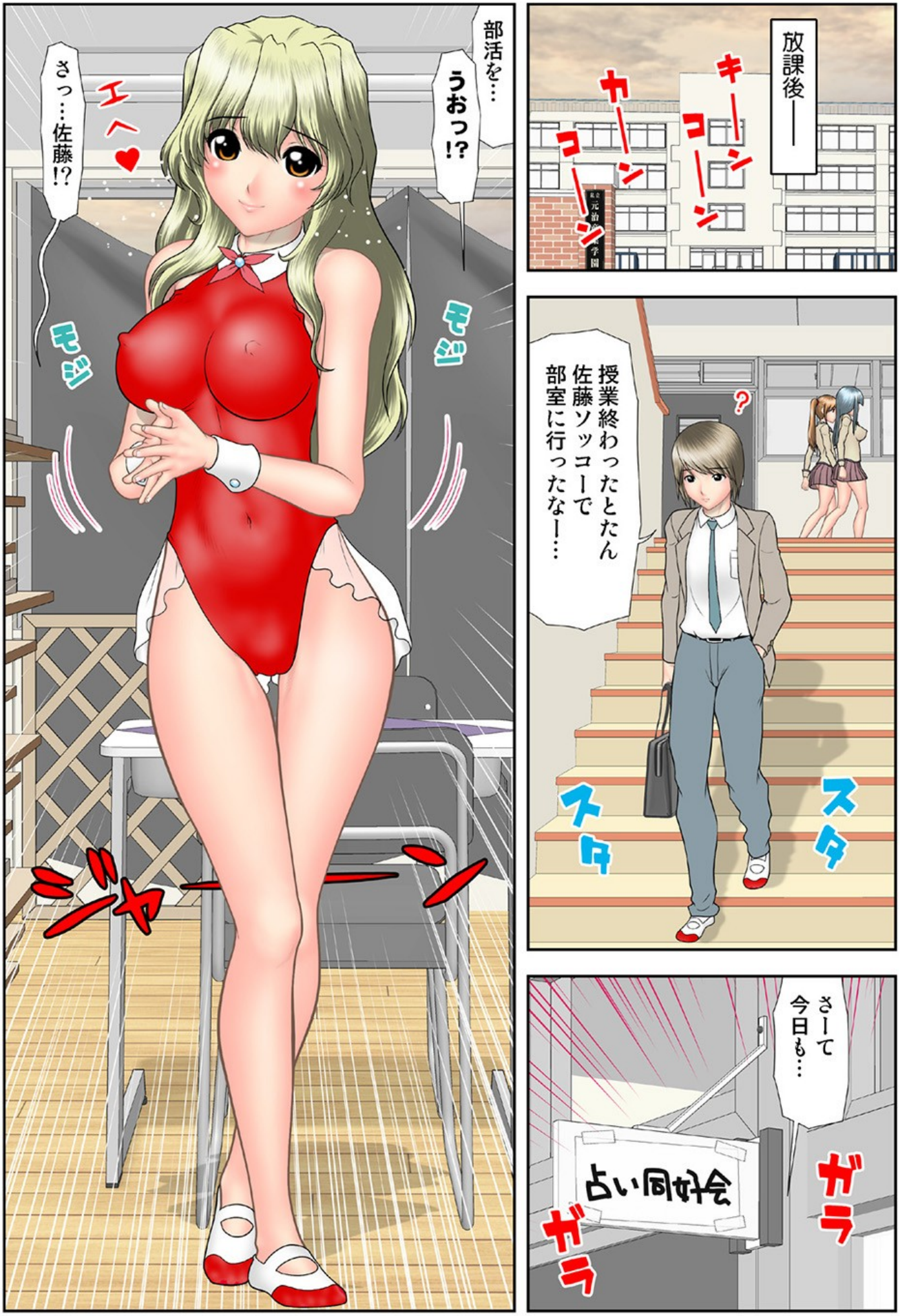

ピク
ピク

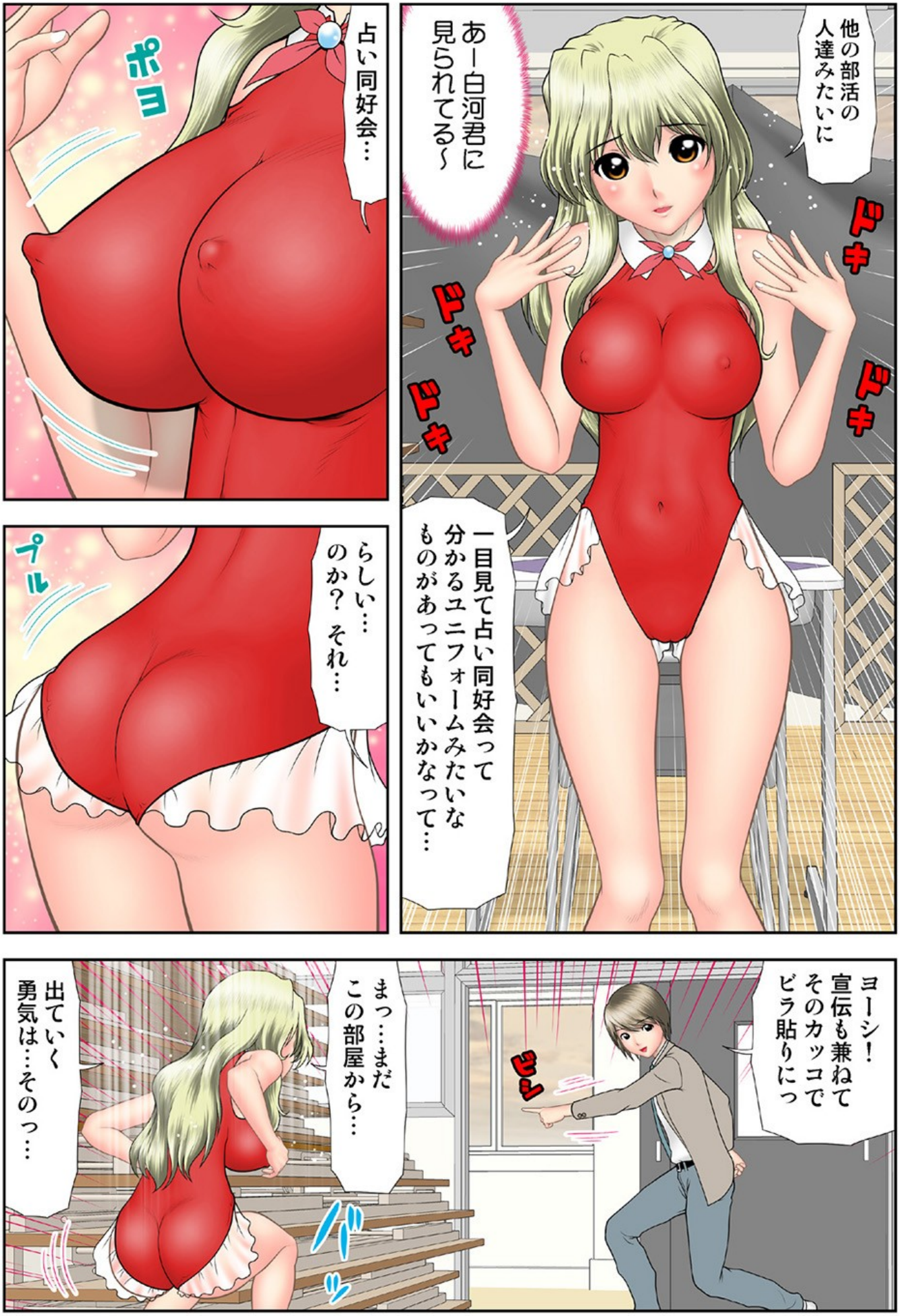

さー問題はここからだ…
一時間目はもう始まっている…
サボッちゃいます？


占い同好会

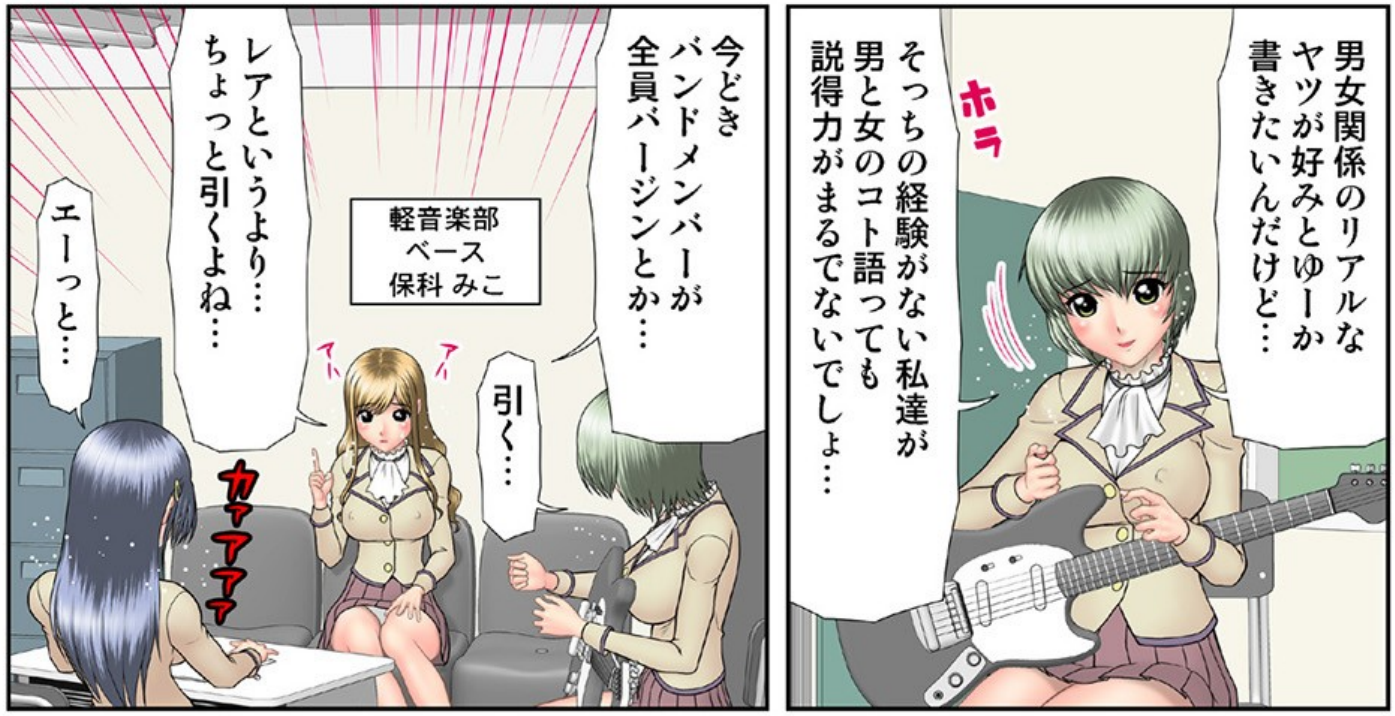

キーンコーンカーンコーン
今日…白河君学校休みかなー
ガラ
ガラ
シュン
占い同好会
副部長
佐藤 景子
一時間目終わりだね…
はいっ
そろそろ…
ハァ
ハァ
ハァ
パン
パン
パン
パン
ああっ
白河君!!
スッ
ピク
フッ
お一佐藤今来たトコだよ
ジー


じゃー先輩
今度また占って下さいね♡
ペコ
ハァ
クチュ
♪～
スタ
スタ
なっ…何でしょうか佐藤さん…
ジー…
きょっ…今日の放課後楽しみにしてて下さいねっ！
ニコ
へ!?…あっ…ああ
今の状況にツッコミは入れないんだ…
あーぎゃだいじょ…


放課後――
キーンコーンカーンコーン
授業終わったとたん
佐藤ソッコーで
部室に行ったなー…
スタスタ
さーて
今日も…
占い同好会
ガラガラ
部活を…
うおっ!?
さっ…佐藤!?
エヘ♥
モジモジ
ミッヤーーーン


他の部活の人達みたいに
あー白河君に見られてる～
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
一目見て占い同好会って分かるユニフォームみたいなものがあってもいいかなって…
占い同好会…
ポヨ
らしい…のか？それ…
プル
ヨーシ！宣伝も兼ねてそのカッコでビラ貼りにっ
ビシ
まっ…まだこの部屋から…
出ていく勇気は…そのっ…
バッ


音楽準備室
軽音楽部
シンセ
雨宮 まほ
うゥ〜〜〜っ
全然浮かばない…
新しい詞…
ギシ
ギシ
軽音楽部
ギター
田辺 ユミ
ガンバレー！
私にはそーゆー
才能ないから…
まほが
頼りよん♡
シャカ
シャカ
曲はともかく
詞はユミにも
書けると
思うけど…
えっ!? いやー
まほみたいに
ファンタジーっぽいの
書けないしさ…
ん〜
何か…
タイトル
決定〜
そこまで言って〜…


男女関係のリアルなヤツが好みとゆーか書きたいんだけど…
ホラ
そっちの経験がない私達が男と女のコト語っても説得力がまるでないでしょ…
今どきバンドメンバーが全員バージンとか…
軽音楽部
ベース
保科 みこ
引く…
カァアアア
レアというより…ちょっと引くよね…
エーっと…


ヨーシ！
ウン♥
ビシ
ウチのバンドの作詞・作曲担当にして一番男受けのイイまほに…
ガ
バ
処女を卒業してもらって…
エー
リアルでエロいバンドの新曲作ってもらおう！
無茶言わないでよ～～～!!